

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [法律・地行]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Student Photos, Unit 0: Useful Phrases, Countable Nouns, the verb 'to Be'	Read p2+3
	2	Grammar: There is/are, p.4 Yes/No ex., p.7 illustration together with teacher	Do p 5+6, practice p7
	3	HW p. 5+6 - Questions, p.7 illustration ex. In pairs, Grammar take-home test in class	G-t-h- test, Rev p4+7
	4	p.8+10 in pairs, p.11+12, review p.7	In Class Test 1 for Unit 0
	5	HW In Class Test for Unit 0 - Questions, p.11+12 again in pairs, p.13+14, p.5 in pairs	p15+16
	6	HW p.15+16 - Questions, Test for Unit 0 + Correct in class	Listen to Unit 1 song
	7	Unit 1 Grammar - p.7-8 Pres. Cont., General verbs, Helping Verbs, Verbs of emotion	Do p12+13, review handout
	8	HW - Questions, p.2 Song, p.3 pron, p.5 Vocab, p.10 in pairs	p.4,6, Song, Q.F. 1+2
	9	HW - Questions, p.11 in class, p.14 pairs, p.15 pairs, p.16	p11, G-t-h-test
	10	p.14,15,16,17,18 in pairs	p19+20, I-C-T-1
	11	HW p.19+20 - Questions, In Class Test 1 U.1 Questions, Test for Unit 1 + Correct in class	Listen to Unit 2 song
	12	Unit 2 Grammar - 27-29 Uncountable Nouns, Want + Would like, Some + Any, p.22 Song	p.32,33
	13	HW p.32,33 - Questions, p.22 song, p.23 pron, p.25 Vocab, p.30 ex	Grammar take-home test, song
	14	HW - Questions, p.31 in class, p.34 pairs, p.35 pairs, p.36	practice song, p.39+40
	15	HW p.39+40 - Questions, p.37,38 in pairs, p.34 again, p.35 again	In Class Test 1 U.2
	16	HW In Class Test 1 U.2 - Questions, Test for Unit 2 + Correct in class	Listen to Unit 3 song
	17	Unit 3 Grammar - p.47-49 Adjectives, Comparative + Superlative	p.51,52,53
	18	HW p.51,52,53 - Questions, p.42 song, p.43 pron, p.45 Vocab, p.50 ex	p.44,46, Grammar take-home test
	19	p.51 yes/no ex, p.54 ex, p.55, p.56	p.59+60
	20	HW p.59+60 - Questions, p.54 again, p.57+58 pairs, review p.55,56	In Class test 1 U.3
	21	HW In Class test 1 U.3 - Questions, Test for Unit 3 + Correct in Class	Listen to Unit 4 song
	22	Unit 4 Grammar p.67-69 Past Tense, p.62 song	p.71,72,73
	23	HW p.71,72,73 - Questions, p.62 song, p.63 pron, p.65 Vocab, p.70 Yes/No ex	Grammar take-home test
	24	HW Grammar take-home test - Questions, p.71, p.74, p.75, p.76 (in pairs)	p.79+80
	25	HW p.79+80 - Questions, p.74 again, p.77+78, p.75 again	In Class test 1 U.4
	26	HW In Class test 1 U.4 - Questions, Test for Unit 4 + Correct in class	Listen to Unit 5 song
	27	Unit 5 Grammar p.87-89 Verb combos, prepositions, pronouns, p.82 song	p.91,92,93
	28	HW p.91,92,93 - Questions, p.82 song, p.83 pron, p.85 Vocab, p.90 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p.91, p.94., p.95, p.96 (in pairs)	p.99+100
	30	HW p.99+100 - Questions, p.94 again, p.97+98, p.95 again	In Class test 1 U.5
	31	HW In Class test 1 U.5 - Questions, Test for Unit 5 + Correct in class	Enjoy the summer break!!

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2315 yen + tax  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Homework and Take-Home Tests: 40%  Tests: 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II  Please listen to the recordings on the website to keep English fresh in your head.</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [企業システム]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	9	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	16	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て          「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。          「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価          ①課題：25%、②クイズ：25%、③中間テスト：25%、④期末テスト：25%          最終成績 = (①+②+③+④) × 出席率</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目          「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気が付きますよ。          「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [企業システム]	1年	学内のE-mailや、授業の前後に教室にて受けつける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを目指す。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>クラスにおいては、ペアを組んで練習をする等の積極的な参加が期待されることを心してほしい。語学（英語）の学習の場であることを常に念頭に置いて、他の受講者との語らいを楽しんでほしい。すなわち、無気力・無関心・しらけた態度を謹んでクラスに臨むことが期待される。英語が得意な学生も、苦手な学生も更なる前進を目指してほしい。</p>
到達目標	<p>1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤英米の文化的側面について学ぶ。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解し、実生活に役立てることができる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの読み合わせ
	2	『出会いの場面』の会話：聞き取り・ペア練習	『出会いの場面』の会話の音読
	3	Unit 1：自己紹介、名前の由来のスピーチの準備	スピーチの原稿を英語で書く
	4	Unit 1：自己紹介	スピーチの準備（音読する）
	5	スピーチ：1分間スピーチ	自分の家族について英語で記す
	6	San Francisco : Chapter 1	Getting information
	7	Unit 2：家族・ペット!	ペットにまつわる英語表現
	8	San Francisco : Chapter 2	Checking in at a hotel
	9	Unit3: 趣味	趣味にまつわる英語表現
	10	San Francisco : Chapter 3	Asking for direction
	11	Unit 4：大学生活	アルバイト・クラブ活動について
	12	San Francisco : Chapter 4	Renting a car
	13	Unit 5：食べ物	食べ物にまつわる英語表現
	14	San Francisco : Chapter 5	Ordering a meal
	15	Unit 6：コンサート	コンサートにまつわる英語表現
	16	San Francisco 1~5 および 配布課題Unit 1~6のまとめ	前期前半まとめ
	17	中間試験	前期前半まとめ
	18	San Francisco : Chapter 6	Shopping for clothes
	19	Unit 7：道案内	行き方や道を尋ねる・教える
	20	San Francisco : Chapter 7	Asking for a favor
	21	Unit 8：日本文化紹介	観光にまつわる英語表現
	22	San Francisco : Chapter 8	Meeting a friend
	23	Unit 9：ジェスチャー	夏休みの計画をたてる
	24	San Francisco : Chapter 9	Checking out of a hotel
	25	Unit 10：観光案内	外国人観光客をサポートする
	26	San Francisco : Chapter 10	Expressing preference
	27	Unit 11：航空券をNetでGet	旅行にまつわる英語表現
	28	Unit 12：E-mailを送る	e-mailを英語で記す
29	San Francisco 6~10 および 配布課題Unit 7~12のまとめ	前期後半のまとめ	
30	期末試験	前期後半のまとめ	
31	Unit 7~Unit 12のまとめ	試験の解答&前期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>参考文献：英語便利辞典（小学館外国語辞典編集部）          テキスト：Call管理室教材Viva! San Franciscoおよびハンドアウト資料・教材</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①3分の1以上欠席すると、単位を取得することはできない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。②授業中は他の学生の学習を妨げるような行為を慎む。③ペア・グループを組んでの活動では、積極的に取りくむよう心がける。④授業中、スマホや携帯電話などを使用することを禁じる。⑤辞書を活用する習慣を身につける。⑥質問はおおいに歓迎する。</p>
	<p>評価</p> <p>1) Unitごとの、ミニ・クイズ（①語彙 ②表現 ③聴き取りなど）・課題：30%          2) 中間・期末テスト：60%          3) クラス・ラボ室での活動、およびレポートなど：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなど、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行 [法律・地行]	1年	講義終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの目的です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって大学生としての教養と英語力を高めます。	マルチメディア教材を利用し、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。積極的に授業に取り組み、英語に親しむようにしてください。外国語学習は継続が重要です。毎回予習をし、遅刻、欠席がないよう努力することも重要です。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。</li> <li>2. 英語の語彙力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。</li> <li>3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション 普通教室での講義について、英語によるクラスメート紹介	シラバスを事前に読むこと
	2	CALL教室教材の紹介および学習	CALLやLSM教材の学習
	3	[Pathway] Living for Work, Day 1	Unit 1の予習
	4	[Viva!] Chapter 1	Chapter 1の予習
	5	[Pathway] Living for Work, Day 2	Unit 1の予習
	6	[Viva!] Chapter 2	Chapter 2の予習
	7	[Pathway] Living for Work, Day 3	Unit 1の予習
	8	[Viva!] Chapter 3	Chapter 3の予習
	9	[Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 1	Unit 2の予習
	10	[Viva!] Chapter 4	Chapter 4の予習
	11	[Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 2	Unit 2の予習
	12	[Viva!] Chapter 5	Chapter 5の予習
	13	[Pathway] Good Times, Good Feelings, Day 3	Unit 2の予習
	14	まとめと復習 : [Viva!] Chapter 1 ~ 5, [Pathway] Units 1 ~ 2	既習教材の復習・試験準備
	15	中間テスト	既習教材の復習・試験準備
	16	[Viva!] Chapter 6	Chapter 6の予習
	17	[Pathway] Treasures from the Past, Day 1	Unit 3の予習
	18	[Viva!] Chapter 7	Chapter 7の予習
	19	[Pathway] Treasures from the Past, Day 2	Unit 3の予習
	20	[Viva!] Chapter 8	Chapter 8の予習
	21	[Pathway] Treasures from the Past, Day 3	Unit 3の予習
	22	[Viva!] Chapter 9	Chapter 9の予習
	23	[Pathway] Weather and Climate, Day 1	Unit 4の予習
	24	[Viva!] Chapter 10	Chapter 10の予習
	25	[Pathway] Weather and Climate, Day 2	Unit 4の予習
	26	[Pathway] Weather and Climate, Day 3	Unit 4の予習
	27	[Pathway] Focus and Food, Day 1	Unit 5の予習
	28	[Pathway] Focus and Food, Day 2	Unit 5の予習
	29	[Pathway] Focus and Food, Day 3	Unit 5の予習
30	まとめと復習 : Viva!] Chapter 6 ~ 10, [Pathway] Units 3 ~ 5	既習教材の復習・試験準備	
31	期末テスト	既習教材の復習・試験準備	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Ohyagi, Hiroto &amp; Timothy Kiggell. (1998). Viva! San Francisco. MacMillan. (CALL教材として利用できるので購入不要)</li> <li>2. Chase, Becky, T. (2013). Pathways 1: Listening, speaking, and critical thinking. Heinle-Cengage ELT.</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。</li> <li>2. 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点(100点)から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。</li> <li>3. 予習(特にオンライン学習)を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てましょう。</li> <li>4. 学期中、1/3(10回)以上授業を欠席した場合は、学則により自動的に「不可」の成績となります。</li> <li>5. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられ</li> </ol>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語彙力とリスニング力養成のためのquizを実施します。(5~7回, 20%)</li> <li>2. 中間テスト(30%)</li> <li>3. 期末テスト(30%)</li> <li>4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します(20%)</li> </ol>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講する「英語II」の講義で更に英語のリスニングとスピーキング力を強化します。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [経済]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	ガイダンス	
	2	*Unit1(1) : Lifestyles(現在形)	U1 Grammar Ref.
	3	DVD教材1 : Campus Life(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit1(2) : Lifestyles	U1 Digibook
	5	DVD : Campus Life(2)	DVD Vocabulary
	6	U2(1) : Leisure(現在進行形)	U2 Grammar Ref.
	7	DVD : Campus Life(3)	DVD Vocabulary
	8	U2(2) : Leisure	U2 Digibook
	9	DVD2 : Native Americans(1)	DVD Vocabulary
	10	U3(1) : Getting along(依頼/許可)	U3 Grammar Ref.
	11	DVD : Native Americans(2)	DVD Vocabulary
	12	U3(2) : Getting along	U3 Digibook
	13	DVD : Native Americans(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Colonial Life in New England	DVD Vocabulary
	16	U4(1) : Interests(過去形)	U4 Grammar Ref.
	17	DVD4 : American Court System(1)	DVD Vocabulary
	18	U4(2) : Interests	U4 Digibook
	19	DVD : American Court System(2)	DVD Vocabulary
	20	U5(1) : Telling a story(過去進行形)	U5 Grammar Ref.
	21	DVD : American Court System(3)	DVD Vocabulary
	22	U5(2) : Telling a story	U5 Digibook
	23	DVD5 : Group Therapy(1)	DVD Vocabulary
	24	U8(1) : Rules(Possibility/Obligation)	U8 Grammar Ref.
	25	DVD5 : Group Therapy(2)	DVD Vocabulary
	26	U8(2) : Rules(Possibility/Obligation)	U8 Digibook
	27	DVD5 : Group Therapy(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD6 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Breakthrough Plus 2nd Edition Level 2 (Macmillan LanguageHouse, 2016年) 2, 916円(税込)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。  (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価  中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [法律・地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し、“発音”、“音読”に力を入れ「使える」英語を身につける。英語の基本的事項の振り返りを行い、語彙力を高め、書き取りを行ない、ペアやグループワークを通して英語を音読する、話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を育みショートスピーチができるようになる。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>言語を学ぶということは、とても基本的な事—その言語を「聴く」「話す」「書く」「読む」—を具体的に身体を使って繰り返す事が大切です。それらの活動ができる場が教室で行れる授業です。授業を大いに活用し、クラスメートと英語を多用する機会を大切にしてください。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように、英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。</li> <li>4. ペアやグループワークで仲間と協力して作業ができる。</li> <li>5. 2分程度のスピーチができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション、自己紹介等	授業の内容、進度、約束事等の確認
	2	Call 教室オリエンテーション、Listening activities	Call 機器利用等の確認
	3	*Text : Unit 1	語彙、文法テストに備える
	4	Viva San Francisco 1	語彙調べ、基本文確認
	5	Text : Unit 1 ~ Unit 2	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	6	Viva San Francisco 2	語彙調べ、基本文確認
	7	Text : Unit 2	語彙、文法テストに備える
	8	Text : Unit 2 ~ Unit 3	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	9	World Heritage Site 1	語彙調べ、基本文確認
	10	Text : Unit 3	語彙、文法テストに備える
	11	World Heritage Site 1	語彙調べ、基本文確認
	12	Text : Unit 3	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	13	Unit 1~2とCALL教材の復習、スピーチ発表準備	テストに向け復習、スピーチ練習
	14	第1回スピーチ	スピーチ練習
	15	中間テスト	テストに向け復習
	16	テストとスピーチ評価の返却、復習・Text : Unit 3	語彙と文法事項予習
	17	Viva San Francisco 3	語彙調べ、基本文確認
	18	Text : Unit 3	語彙、文法テストに備える
	19	Viva San Francisco 4	語彙調べ、基本文確認
	20	Text : Unit 3 ~ Unit 4	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	21	BBC documentary 1	語彙調べ、基本文確認
	22	Text : Unit 4	語彙、文法テストに備える
	23	BBC documentary 1	語彙調べ、基本文確認
	24	Text : Unit 4 ~ Unit 5	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	25	Viva San Francisco 5	語彙調べ、基本文確認
	26	Text : Unit 5	語彙、文法テストに備える
	27	DVD鑑賞	日常的な英語表現確認
	28	Text : Unit 5	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	29	Unit 3 ~ 5 とCALL教材の復習、スピーチ発表準備	テストに向け復習、スピーチ練習
30	第2回スピーチ	スピーチ練習	
31	期末テスト	テストに向け復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. 適宜配布教材ありますので、ファイルを準備すること。</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと（詳しい約束事はオリエンテーションでお知らせします）。</li> <li>② 授業には必ず辞書（電子辞書でも良い）を準備すること。</li> <li>③ 課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>④ 授業には前向きな積極的態で臨むこと。</li> <li>⑤ ペア、グループワークは協力して行うこと。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間、期末考査（50%）</li> <li>・ 確認、復習クイズ等（10%）</li> <li>・ スピーチ発表（20%）</li> <li>・ 提出物、平常点等（20%）</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	現代の日本事情に関する英語ニュースを視聴しながら、「読む」「書く」「聴く」「話す」の英語の四技能をバランスよく伸ばしていく。	NHKの海外向け英語ニュースを編集した視聴覚教材をテキストとして使用します。 News StoryやExerciseを利用して英語の語彙を増やしていきます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】

到達目標	①日本事情に関する英語ニュースを視聴してその内容を理解することができる。 ②関心のあるトピックについて、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③短い和文を英文で表現することができる。 ④英文のNews Storyを読んで、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	*Unit1: Sprouting New Sushi Ideas	U1 Exercises
	3	DVD教材1: Campus Life(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit2: In the Pole Position	U2 Exercises
	5	DVD : Campus Life(2)	DVD Vocabulary
	6	Unit3&4: Easing Off/In Memory of Monty	U3&4 Exercises
	7	DVD : Campus Life(3)	DVD Vocabulary
	8	Unit5: Dating the AI Way	U5 Exercises
	9	DVD2 : Native Americans(1)	DVD Vocabulary
	10	Unit6&7: Floating on a Dream/Japan Adventurer Completes Grand Slam	U6&7 Exercises
	11	DVD : Native Americans(2)	DVD Vocabulary
	12	Unit8: Sorting It Out	U8 Exercises
	13	DVD : Native Americans(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Colonial Life in New England	DVD Vocabulary
	16	Unit9: Haircuts for Charity	U9 Exercises
	17	DVD4 : American Court System(1)	DVD Vocabulary
	18	Unit10: Peer Group Consumption	U10 Exercises
	19	DVD : American Court System(2)	DVD Vocabulary
	20	Unit11&12: Taste of Temple Life/New Take on Tatami	U11&12 Exercises
	21	DVD : American Court System(3)	DVD Vocabulary
	22	Unit13: Traveling with Confidence	U13 Exercises
	23	DVD5 : Group Therapy(1)	DVD Vocabulary
	24	Unit14: Tanzanian Students Discover Japan	U14 Exercises
	25	DVD5 : Group Therapy(2)	DVD Vocabulary
	26	Unit15: Back to Basics	U15 Exercises
	27	DVD5 : Group Therapy(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD6 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

	<p>テキスト・参考文献・資料など NHK NEWSLINE 2 映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本2（金星堂、2019年）2300円（税別）</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。</li> <li>(2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。</li> <li>(3) 毎回辞書を持参すること。（電子辞書でもよい。）</li> <li>(4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</li> <li>(5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中間・期末テスト・・・60%（上記の到達目標の①、④を評価）</li> <li>英会話テスト・・・20%（上記の到達目標の②、③を評価）</li> <li>授業への参加度・・・20%（上記の到達目標の①、②、③、④を評価）</li> </ul>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [日文・社文・人福 (2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し、“発音”、“音読”に力を入れ「使える」英語を身につける。英語の基本的事項の振り返りを行い、語彙力を高め、書き取りを行ない、ペアやグループワークを通して英語を音読する、話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を育みショートスピーチができるようになる。</p>	<p>言語を学ぶということは、とても基本的な事—その言語を「聴く」「話す」「書く」「読む」—を具体的に身体を使って繰り返す事が大切です。それらの活動ができる場が教室で行れる授業です。授業を大いに活用し、クラスメートと英語を多用する機会を大切にしてください。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように、英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。</li> <li>4. ペアやグループワークで仲間と協力して作業ができる。</li> <li>5. 2分程度のスピーチができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション, 自己紹介等	授業の内容、進度、約束事等の確認
	2	Unit 1	語彙と文法事項予習
	3	Unit 1	語彙復習テスト
	4	Unit 1 ~ Unit 2	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	5	Unit 2	語彙復習テスト
	6	Unit 2 ~ Unit 3	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	7	Unit 3	語彙復習テスト
	8	Unit 3 ~ Unit 4	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	9	Unit 4	語彙復習テスト
	10	Unit 4 ~ Unit 5	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	11	Unit 5	語彙復習テスト
	12	Unit 5	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	13	Unit 1 ~ Unit 5 復習、スピーチ発表準備	テストに向け復習、スピーチ練習
	14	第1回スピーチ	スピーチ練習
	15	中間テスト	テストへ向け復習
	16	テスト・スピーチ評価返却、振り返り、Unit 6	語彙と文法事項予習
	17	Unit 6	語彙復習テスト
	18	Unit 6 ~ Unit 7	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	19	Unit 7	語彙復習テスト
	20	Unit 7 ~ Unit 8	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	21	Unit 8	語彙復習テスト
	22	Unit 8 ~ Unit 9	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	23	Unit 9	語彙復習テスト
	24	Unit 9 ~ Unit 10	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	25	Unit 10	語彙復習テスト
	26	Unit 10 ~ Unit 11	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	27	Unit 11	語彙復習テスト
	28	Unit 11, スピーチ発表準備	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	29	Unit 6 ~ Unit 11 復習、スピーチ発表準備	テストに向け復習、スピーチ練習
30	第2回スピーチ	スピーチ練習	
31	期末テスト	テストに向け復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. 適宜配布教材ありますので、ファイルを準備すること。</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと（詳しい約束事はオリエンテーションでお知らせします）。</li> <li>② 授業には必ず辞書（電子辞書でも良い）を準備すること。</li> <li>③ 課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>④ 授業には前向きな積極的態で臨むこと。</li> <li>⑤ ペア、グループワークは協力して行うこと。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間、期末考査（50%）</li> <li>・ 確認、復習クイズ等（10%）</li> <li>・ スピーチ発表（20%）</li> <li>・ 提出物、平常点等（20%）</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数ジェニョールデビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English la</p>
	到達目標	
	<p>Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for your
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr.Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p> <p>Grading system*Attendance: 25%, Test: 25% Homework:25% Class Partocopation; 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>“普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室では、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。”</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サバイバルから英検2級程度までの英語力を身につけることができる。</li> <li>・ 海外に出かけても、いろんな場面で困らない英語表現が身につく。</li> <li>・ 日本人の苦手な発音を克服する。</li> <li>・ 英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。</li> <li>・ e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。</li> </ul>	<p>必要な教材はLearning Management System(LMS)に掲載し、準備する。そのアクセスや使い方などの詳細は、初回のガイダンスで説明する。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また、欠席したり教材プリントを紛失したりした場合には、そこから自分で印刷してテストなどに備えること。プレースメントテスト結果によるクラス分けを行う</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンス I _ 普通教室での講義について	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンス II _ CALL教室での講義について	CALLやLMSの活用
	3	つぶやきS4を演習	LMSを使って学習する
	4	**Viva Ch. 1、洋楽 #01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS6を演習。S4を小テスト。	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch. 2、洋楽 #02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS7を演習。S6を小テスト。	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch. 3、洋楽 #03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS10を演習。S7を小テスト。	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch. 4、洋楽 #04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS13を演習。S10を小テスト。	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch. 5、洋楽 #05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義 I @普通教室 S13を小テスト。	LMSを使って学習する
	14	特別講義 I @CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	15	追試セッション I : 前半つぶやきテスト5回分・・・S4, S6, S7, S10, S13	LMSを使って学習する
	16	追試セッション I : 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽 #01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	17	つぶやきS14を演習	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch. 6、洋楽 #06	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS17を演習。S14を小テスト。	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch. 7、洋楽 #07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS18を演習。S17を小テスト。	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch. 8、洋楽 #08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS20を演習。S18を小テスト。	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch. 9、洋楽 #09	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	つぶやきS22を演習。S20を小テスト。	LMSを使って学習する
	26	Viva Ch. 10、洋楽 #10	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	特別講義 II @普通教室。S22を小テスト。	LMSを使って学習する
	28	特別講義 II @CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	29	追試セッション II : 後半つぶやきテスト5回分・S14, S17, S18, S20, S22	LMSを使って学習する
30	追試セッション II : 後半洋楽テスト5回分・・・洋楽 #06～#10	Vivaの練習問題をLMSで解く	
31	特別講義 III : 総合演習 + 追試調整 + 最終成績確認	LMSを使って学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材プリントを配布する。さらにそれらの教材すべてをLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>”e-learning教材を学習する際には、必ず”microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。”Viva Sanfrancisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の”Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。”</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、授業参加度10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースで扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語を意識して復習し、また好きな人はカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、楽しく英語を学んでほしい。さらに英文法も知識が欠けたところは、よく復習してほしい。本学の豊富なe-learning教材也大いに活用し、最後の実力テストを意識して学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュエヨル デビット [企業システム]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	Learning English as a second language will give students a tremendous advantage in terms of personal growth and career opportunity. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
到達目標	Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr.Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p> <p>Grading system*Attendance: 25%, Test: 25% Homework:25% Class Partocopation; 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
また、サブテキストを用いて法律に関連のある用語をまなぶ。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月 2・木 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1 年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サブテキストの基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】

到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 法律関連の基礎的な用語を英語で認知できる。3. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	*Funny Laws : Chapter 1	予習テストの準備 1 課
	3	Viva! SF : Chapter 1	1 課の復習
	4	Funny Laws : Chapter 1	ディスカッションの準備
	5	Viva! SF : Chapter 2	2 課の復習
	6	Funny Laws : Chapter 2	予習テストの準備 2 課
	7	Viva! SF : Chapter 3	3 課の復習
	8	Funny Laws : Chapter 2	ディスカッションの準備
	9	Viva! SF : Chapter 4	4 課の復習
	10	Funny Laws : Chapter 3	予習テストの準備 3 課
	11	Viva! SF : Chapter 5	5 課の復習
	12	Funny Laws : Chapter 3	ディスカッションの準備
	13	Viva! SF : Review Chapter 1-5	1 - 5 課の復習
	14	Mid-term Examination : Viva SF Chapter 1-5	中間試験の準備
	15	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	16	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	17	Funny Laws : Chapter 4	予習テストの準備 4 課
	18	Viva! SF : Chapter 6	6 課の復習
	19	Funny Laws : Chapter 4	ディスカッションの準備
	20	Viva! SF : Chapter 7	7 課の復習
	21	Funny Laws : Chapter 5	予習テストの準備 5 課
	22	Viva! SF : Chapter 8	8 課の復習
	23	Funny Laws : Chapter 5	ディスカッションの準備
	24	Viva! SF : Chapter 9	9 課の復習
	25	Funny Laws : Chapter 6	予習テストの準備 6 課
	26	Viva! SF : Chapter 10	10課の復習
	27	Funny Laws : Chapter 6	ディスカッションの準備
	28	Viva! SF : Review Chapter 6-10	6 - 10 課の復習
	29	Funny Laws : Review	1 - 6 課の重要事項確認
30	Memorization : Viva!SF	会話の暗記	
31	Final Examination : Viva!Chapter 6-10		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>副教材用教科書：Funny Laws in the World（南雲堂）2015 1700円 主教材のViva! San Franciscoについては、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。Funny Lawsの予習テストは各チャプター毎に行うので、準備をすること。Vivaについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>Mid-term and Final Examination：25% × 2 = 50%      3-minute speech：20%      Prep Quiz：30%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
また、BBCの映像教材を使用して世界各地の地域事情を学ぶ。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [経済・地環・企シ・産情(2年以上)]	2年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、英語学習の基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。

到達目標
1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 大勢の人の前で英語で自己表現できる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	BBC WPD: Unit 1 Laughter	単語予習 1 課
	3	BBC WPD: Unit 1 Laughter	1 課の復習・単語テスト準備
	4	Movie: Patch Adams	関連事項のリサーチ
	5	Movie: Patch Adams	関連事項のリサーチ
	6	BBC WPD: Unit 2 Hats	単語予習 2 課
	7	BBC WPD: Unit 2 Hats	2 課の復習・単語テスト準備
	8	Test: Unit 1, 2	1, 2 課テストの準備
	9	BBC WPD: Unit 3 Sphinx's Nose	単語予習 3 課
	10	BBC WPD: Unit 3 Sphinx's Nose	3 課の復習・単語テスト準備
	11	BBC WPD: Unit 4 Terracotta Warriors	単語予習 4 課
	12	BBC WPD: Unit 4 Terracotta Warriors	4 課の復習・単語テスト準備
	13	Test: Unit 3, 4	3, 4 課テストの準備
	14	BBC WPD: Unit 6 Athens	単語予習 6 課
	15	BBC WPD: Unit 6 Athens	6 課の復習・単語テスト準備
	16	BBC WPD: Unit 7 Skydiving	単語予習 7 課
	17	BBC WPD: Unit 7 Skydiving	7 課の復習・単語テスト準備
	18	Test: Unit 6, 7	6, 7 課のテスト準備
	19	BBC WPD: Unit 8 Food and Society	単語予習 8 課
	20	BBC WPD: Unit 8 Food and Society	8 課の復習・単語テスト準備
	21	Movie: "Food Inc."	関連事項のリサーチ
	22	Movie: "Food Inc."	関連事項のリサーチ
	23	Test: Unit 8, "Food Inc."	8 課のテスト準備、コメントを作成
	24	BBC WPD: Unit 9 Shinjuku Station	単語予習 9 課
	25	BBC WPD: Unit 9 Shinjuku Station	9 課の復習・単語テスト準備
	26	Test: Unit 9	9 課のテスト準備
	27	Memorization: Dialogues	会話の暗記の練習
	28	Memorization: Dialogues	会話の暗記の練習
	29	Review	総復習
30	Review	総復習	
31	Conclusion	コメントのまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：「BBC World Profile on DVD」(南雲堂) 2014年 2500円</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。単語テストが各課毎にあるので、準備をすること。特別課題の映画に関しては、映画評と関連事項の Recherche、及びコメントを必須とする。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価 Tests:50% Vocabulary Quiz:20% 3-minute Speech:10% Comments on the Movies:20%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目 英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, definition game, listening comprehension, spot the differences 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。	メッセージ 4技能の中の listening & speaking 及び異文化理解に焦点を当てます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 sentence-level の意味処理を確実に出来る。 日常生活に根差した言語表現の幅を広げる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (self-introduction を含む)	syllabus の熟読
	2	Worksheet 1	quiz予習, 課題学習
	3	Worksheet 2	quiz予習, 課題学習
	4	Worksheet 3	quiz予習, 課題学習
	5	Worksheet 4	quiz予習, 課題学習
	6	Worksheet 5	quiz予習, 課題学習
	7	Worksheet 6	quiz予習, 課題学習
	8	Worksheet 7	quiz予習, 課題学習
	9	Worksheet 8	quiz予習, 課題学習
	10	Worksheet 9	quiz予習, 課題学習
	11	Worksheet 10	quiz予習, 課題学習
	12	Worksheet 11	quiz予習, 課題学習
	13	Worksheet 12	quiz予習, 課題学習
	14	Worksheet 13	quiz予習, 課題学習
	15	Review (Worksheets 1-13)	worksheets 総復習
	16	Worksheet 14	quiz予習, 課題学習
	17	Worksheet 15	quiz予習, 課題学習
	18	Worksheet 16	quiz予習, 課題学習
	19	Worksheet 17	quiz予習, 課題学習
	20	Worksheet 18	quiz予習, 課題学習
	21	Worksheet 19	quiz予習, 課題学習
	22	Worksheet 20	quiz予習, 課題学習
	23	Worksheet 21	quiz予習, 課題学習
	24	Worksheet 22	quiz予習, 課題学習
	25	Worksheet 23	quiz予習, 課題学習
	26	Worksheet 24	quiz予習, 課題学習
	27	Worksheet 25	quiz予習, 課題学習
	28	Worksheet 26	quiz予習, 課題学習
	29	Worksheet 27	quiz予習, 課題学習
30	Review (Worksheets 14-27)	worksheets 総復習	
31	Final	packet 提出	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義内で配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て MP3 や smartphone を利用して例文を繰り返し聴く。 Internet や図書館を活用して課題に答える。</p>
	<p>評価 ① 授業参加度 20% ② dictation/homework 30% ③ 期末試験 30% ④ 課題提出 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 Oral Communication I と関連づける。 English II につなげる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をします。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。</li> <li>・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。</li> <li>・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。</li> </ul>	<p>中学校教諭としての現場での経験を活かし、英語の基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介
	3	Viva! San Francisco Ch.1 他	役立つ英語表現 (1)
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2 他	役立つ英語表現 (2)
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3 他	役立つ英語表現 (3)
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4 他	役立つ英語表現 (4)
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5 他	役立つ英語表現 (5)
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1~5総まとめ (テスト)	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6 他	役立つ英語表現 (6)
	16	英語の基礎力養成 1~7 (中間点検)	English Ace Unit 1~6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7 他	役立つ英語表現 (7)
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8 他	役立つ英語表現 (8)
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9 他	役立つ英語表現 (9)
	22	スピーチテスト	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10 他	役立つ英語表現 (10)
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11 他	役立つ英語表現 (11)
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ (1)
	27	Viva! San Francisco 総まとめ(1)	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ (2)
	29	Viva! San Francisco 総まとめ(2)	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1~8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8~12 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出席確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②スピーチテスト (20%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジョーン ターバート [英米]	1年	Joan Tarbert Uezu ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills. Students will learn new vocabulary and how to use the vocabulary they already know in daily conversation. They will also study grammar as it is used in daily conversation.</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally.</li> <li>• You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly.</li> <li>• You will be able to use the vocabulary and grammar you learn in daily conversation.</li> <li>• You will be able to give a short presentation in English.</li> </ul>	<p>As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to practice speaking in English. In general, I will only speak in English in class. Japanese will sometimes be used on quizzes, but I will do what I can to help students who are not Japanese. プレイメントテスト結果によるクラス分けを行う</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Self-introductions	Buy text and supplies
	2	Wh-questions	Wh-questions
	3	Unit 1 (Classroom help language)	Write sentences
	4	Unit 1 (Classroom help language)	Study for quiz
	5	Quiz / Unit 2 (Talking about family)	Study for quiz
	6	Quiz / Unit 2 (Talking about family)	Vocabulary for describing people
	7	Describing people	Vocabulary
	8	Describing people	Study for quiz
	9	Quiz / Unit 3 (Gestures)	Study for quiz
	10	Quiz / Unit 3 (Gestures)	Work on conversation
	11	Unit 4 (Abilities)	p. 23
	12	Unit 4 (Abilities)	Think of jobs
	13	Jobs	p. 30
	14	Jobs	p. 30 handout
	15	Unit 5 (Emotions)	p. 31
	16	Unit 5 (Emotions)	Study for quiz
	17	Quiz / Unit 5 (Emotions)	p. 38
	18	Unit 6 (Prepositions of place)	Review prepositions
	19	Unit 6 (Prepositions of place)	Write sentences about room
	20	Rules	Finish chart
	21	Rules	Study for quiz
	22	Quiz / Unit 7 (Permission)	Health problem handout
	23	Health	Study for quiz
	24	Quiz / Health	Prepare for interview
	25	Prefer / Like better	Prepare for interview
	26	Review	Prepare for interview
	27	Interview test	Prepare for interview / Review
	28	Interview test	Prepare for interview / Review
	29	Interview test	Review for exam
30	Final exam	Review for listening test	
31	Listening test		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English I will cover the first half of the text, On Your Marks! (Intercom Press). In addition, the instructor will provide handouts. Please buy an A4 file for this class. Also, students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 30 minutes late to class= 1 absence / Being late twice= 1 absence</li> <li>• Less than 66% attendance= 不可</li> <li>• Homework must be done on time. Late homework=0</li> <li>• If you are absent when homework is due, please hand it in at the beginning of the next class.</li> <li>• If you are absent when there is a quiz, there will be no makeup quiz.</li> <li>• Students should use English in class as much as possible.</li> <li>• Cell phones cannot be used in class. They should be set to silent mode and put away during class.</li> <li>• Students should be quiet when the instructor is speaking.</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes/homework (60%)  Interview test (20%)  Class participation (10%)  Presentation (10%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in English II, as well as Oral Communication II.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [社文・人福]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。</li> <li>・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。</li> <li>・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。</li> </ul>	<p>中学校教諭としての現場での経験を活かし、英語の基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成 1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Franciscoの総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Franciscoの総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1～8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8～12（期末点検）	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で挑むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②スピーチテスト (20%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [経済]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、英語のリスニング・スピーキングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B 5 サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~6)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Sub text, Unit 1
	3	Unit 1	" "
	4	Chapter 1, Viva! San Francisco	" "
	5	Unit 1	" "
	6	Chapter 2, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 2
	7	Unit 2	" "
	8	Chapter 3, Viva! San Francisco	" "
	9	Unit 2	" "
	10	Chapter 4, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 3
	11	Unit 3	" "
	12	Chapter 5, Viva! San Francisco	" "
	13	Unit 3	" "
	14	Mid-term examination	Mid-term exam 準備
	15	Review mid-term examination	" "
	16	Chapter 6, Viva! San Francisco	
	17	Unit 4	Sub text, Unit 4
	18	Chapter 7, Viva! San Francisco	" "
	19	Unit 4	" "
	20	Chapter 8, Viva! San Francisco	" "
	21	Unit 5	Sub text, Unit 5
	22	Chapter 8, Viva! San Francisco	" "
	23	Unit 5	" "
	24	Chapter 9, Viva! San Francisco	" "
	25	Unit 5,	Sub text, Unit 6
	26	Chapter 10, Viva! San Francisco	" "
	27	Unit 6	" "
	28	Unit 6,	" "
	29	Review Unit 4~6 for Final Examination	Final exam 準備
30	Review Unit 4~6 & Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト： 第一回の講義時に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。          2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</p>
	<p>評価          中間テスト：20%      期末テスト：20%      クイズ：30%          提出物：10%          出席：10%          講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          英語 II 「関連科目」          英語 III 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 4・土 3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、英語のリスニング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B 5 サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~6)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	*Subtext : Lesson 1
	3	Unit 1	"
	4	Chapter 1, Viva! San Francisco	"
	5	Unit 1	Lesson 2
	6	Chapter 2, Viva! San Francisco	"
	7	Unit 1	"
	8	Chapter 3, Viva! San Francisco	Lesson 3
	9	Unit 2	"
	10	Chapter 4, Viva! San Francisco	"
	11	Unit 2	Lesson 4
	12	Chapter 5, Viva! San Francisco	"
	13	Unit 3	"
	14	Unit 3	Mid-term exam 準備
	15	Review Unit 1~3	"
	16	Mid-term Examination	
	17	Review Mid-term exam & Unit 4	Lesson 5
	18	Chapter 6, Viva! San Francisco	"
	19	Unit 4	"
	20	Chapter 7, Viva! San Francisco	Lesson 6
	21	Unit 4	"
	22	Chapter 8, Viva! San Francisco	"
	23	Unit 5	Lesson 7
	24	Chapter 9, Viva! San Francisco	"
	25	Unit 5	"
	26	Chapter 10, Viva! San Francisco	Report 作成
	27	Unit 5 & 6	"
	28	Unit 6	"
	29	Unit 6	Final exam 準備
30	Review Unit 4~6 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト： 第一回の講義時に紹介する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。</li> <li>2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20%      期末テスト：20%      クイズ：20%          提出物：20%          出席： 10%          講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          英語 II'</p>

※ポリシーとの関連性 「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、語彙力や文法力にも力を入れ、総合的な基礎英語力向上を目指す。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・金 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的なトピックやアクティビティを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習する。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語で自己紹介ができる。</li> <li>興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。</li> <li>英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。</li> <li>タスクを行うための情報収集・問題解決方法を自ら考え、実行できる。</li> <li>授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。</li> </ul>	<p>【実務経験】2001年から様々な現場で英語講師をしてきた経験を活かし、今まで英語が得意だった学生が更に英語を好きになるようなそんな授業にしていきたいと思っています。出席は必須なので学ぶ体制を整えて授業に積極的に参加してください。See you in class!</p> <p>【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & Guidance	スラバスを読む。Unit 1 の予習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 1	Unit 1の復習& Viva SF Ch. 1復習
	4	Unit 1: Hello!	Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch. 2	Unit 2の予習& Viva SF Ch. 2復習
	6	Unit 2: Your world	Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 3	Unit 2の復習& Viva SF Ch. 3復習
	8	Unit 2: Your world	Unit 2の復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 4	Unit 3予習& Viva SF Ch. 4復習
	10	Unit 3: All about you	Unit 3の復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 5	Unit 3の復習 Viva SF Ch. 5復習
	12	Unit 3: All about you	Unit 3の復習 Viva SF 1-5復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 1-5	Unit 4の予習
	14	Unit 4: Family and friends	Unit 4の復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 6	Unit 4の復習& Viva SF Ch. 6復習
	16	Unit 4: Family and friends	Unit 4の復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 7	Unit 1-4復習& Viva SF Ch. 7復習
	18	Review Unit 1-4	「英語関連の本を読もう」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 8	Unit 5の予習 & Viva SF Ch. 8復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 9	Unit 5の復習 & Viva SF Ch. 9復習
	22	Unit 5: The way I live	Unit 5の復習
	23	Viva! San Francisco Ch. 10	Unit 6予習& Viva SF Ch. 10復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 6復習& Viva SF Ch. 6-10復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 6-10	Unit 6の復習
	26	Unit 6: Every day	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7の復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 7の復習
30	Unit 7: My favorites	Unit 1-7の復習	
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Third Edition Level Starter Student Book with Oxford Online Skills：Oxford University Press（朝野書房やアマゾンなどで購入可）</p> <p>参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。</li> <li>・ほぼ毎回クイズや小テストを行い、学習経過をチェックするので予習・復習は自主的かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④ 課題（20%） ⑤クイズ・小テスト・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I・IIで学んだことを積極的に活用し、日常生活でも英語を使うことを心がけてほしい。2年次以上が受講可能な「ビジネス英語」を取り、基礎的な英語力と更にビジネスにおいて役に立つ英語を身につけてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [法律・地行 (2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。月曜日3-502教室、木曜日5-202 (CALL) 教室にて	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動 (ペアワークやグループワーク) を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める	メッセージ 互いを尊重し、共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って授業に参加しましょう。出席重視はもちろんですが、積極的に授業へ参加 (発言や会話の練習) できることが最も重要です。事前準備 (音読・暗唱の練習) ができる学生の受講を期待します。
	到達目標 (1) 調べた情報を英語で他者に伝え、自らの問題意識に引き付けて考え英語で自分の考えを発信できる。 (2) クラスメートの発言・発話を聞き、その内容を把握し理解し、英語でリアクション・コミュニケーションできる。 (3) 互いの英語による発話・発言を尊重し、協力して課題に取り組むことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション (授業の進め方の説明と小テスト)	シラバスの確認
	2	イントロダクション (小テスト返却)	自己紹介・他者紹介について
	3	Unit 1 Icebreaking	Section1 を予習
	4	Unit 1 Icebreaking	Section2 "
	5	Unit 1 Icebreaking 発表1	Section3 "
	6	Unit 1 Icebreaking 小テスト1	Section4 "
	7	Unit 2 Describing People (Character)	Section1 を予習
	8	Unit 2 Describing People (Character)	Section2 "
	9	Unit 2 Describing People (Character) 発表2	Section3 "
	10	Unit 2 Describing People (Character) 小テスト2	Section4 "
	11	Unit 3 Describing People (Appearance)	Section1 を予習
	12	Unit 3 Describing People (Appearance)	Section2 "
	13	Unit 3 Describing People (Appearance) 発表3	Section3 "
	14	Unit 3 Describing People (Appearance) 小テスト3	Section4 "
	15	TBA	TBA
	16	中間テスト (Unit 1-3)	
	17	テスト振り返り・音読	音読
	18	Unit 4 Inviting People	Section1 を予習
	19	Unit 4 Inviting People	Section2 "
	20	Unit 4 Inviting People 発表4	Section3 "
	21	Unit 4 Inviting People 小テスト4	Section4 "
	22	Unit 5 Giving Directions	Section1 を予習
	23	Unit 5 Giving Directions	Section2 "
	24	Unit 5 Giving Directions 発表5	Section3 "
	25	Unit 5 Giving Directions 小テスト5	Section4 "
	26	Unit 6 Complaining & Apologizing	Section1 を予習
	27	Unit 6 Complaining & Apologizing	Section2 "
	28	Unit 6 Complaining & Apologizing 発表6	Section3 "
29	Unit 6 Complaining & Apologizing 小テスト6	Section4 "	
30	テスト対策・振り返り	テスト勉強	
31	期末テスト (Unit4-6)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習記録ファイル（ポートフォリオ）を各自で用意してください。</li> <li>・ハンドアウトを一斉に配布しますので、受講の意思を固めた場合、すぐにファイルを用意してください。</li> </ul>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★履修の心構え：ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、共同学習に積極的に参加できること。</li> <li>★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート提出（ペア・グループワークへの参加と貢献、学びのプロセス記録） 40%</li> <li>・中間テスト（スピーキング） 30%</li> <li>・期末テスト（リスニング） 30%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>（1）英語Ⅱ（2）情報のアンテナをはり多様なソースや出会いから文化理解を深めてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[社文・人福]	1年	授業終了後に原則受け付けますが、アポをとってのコンサルテーションも受け付けます。	

学びの準備	ねらい スピーキングとリスニング力を中心とした、実生活で使える英語のコミュニケーション力アップを目指します。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	メッセージ 英語コミュニケーションの基本は、間違いを恐れずに英語を話すことです。私自身の海外生活でのエピソードを交えつつ、皆さんに英語圏でのいろいろな場面で英語を使った仮想体験をしてもらいます。予習復習を含めた積極的な参加が求められます。英語はつまらないものでも難しいものでもなく、楽しいものなんだ！と感じてもらえれば幸いです。
	到達目標 * 自分について・相手について・お互いに興味のあることに関する情報を英語で共有できる * 英語圏に渡航した際に最低限必要なコミュニケーションを図れる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める * グループメンバーとの協働活動を通して、実生活での英語コミュニケーションを図れる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction/	翌週の予習
	2	In My Life (IML) Self-introduction	翌週の予習
	3	[VSF] Chap 1	翌週の予習
	4	[IML] My hobbies...	翌週の予習
	5	[VSF] Chap 2	翌週の予習
	6	[IML] My recent activities	翌週の予習
	7	[VSF] Chap 3	翌週の予習
	8	[IML] My past	翌週の予習
	9	[VSF] Chap 4	翌週の予習
	10	[IML] My family	翌週の予習
	11	[VSF] Chap 5	翌週の予習
	12	[IML] My friends	翌週の予習
	13	[VSF] Chap 6	翌週の予習
	14	VSF review (クイズ1)	クイズ準備
	15	IML review (クイズ2)	クイズ準備
	16	[VSF] Chap 7	翌週の予習
	17	[IML] My weekly schedule	翌週の予習
	18	[VSF] Chap 8	翌週の予習
	19	[IML] My free time	翌週の予習
	20	[VSF] Chap 9	翌週の予習
	21	[IML] My hometown and neighborhood	翌週の予習
	22	[VSF] Chap 10	翌週の予習
	23	[IML] My home	翌週の予習
	24	[IML] My hopes and dreams	翌週の予習
	25	[IML] My upcoming plans	翌週の予習
	26	Group presentation 準備	プレゼン準備
	27	Group presentations 1	プレゼン準備
	28	Group presentations 2	プレゼン準備
	29	Group presentations 3	プレゼン準備
30	Group presentations 4	テスト準備	
31	Wrap up, End-semester exam 準備		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*指定教科書：①In My Life：Strategies for Personal Communication (Macmillan; 学内書店にて購入要; ¥2285)</p> <p>②Viva! San Francisco (Macmillan; ラボ室ソフト教材のため、購入不要)</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 講義への出欠は、評価対象となるとともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。</li> <li>- インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。Q67</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>1. 授業への参加姿勢（出欠、アクティビティなどへの積極的な参加）10% 2. 中間 review クイズ 20% 3. グループプレゼンテーション20% 3. 期末テスト 35% 4. スクラップブック評価 15%</p> <p>詳細については、第1回の講義にてunit outlineを配布して、お知らせします。熟読してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを踏まえ、英語IIを履修し応用しましょう。</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイディアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	9	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	16	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て          「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじる、コンピュータ上で授業とは無関係な事をしている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。          「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価          ①課題＝25％、②クイズ＝25％、③中間テスト＝25％、④期末テスト＝25％          最終成績＝(①＋②＋③＋④)×出席率</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目          「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気が付きますよ。          「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[日文]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「リスニング力」「スピーキング力」を中心に、英語を使った基礎的なコミュニケーション能力の向上を目指します。	メッセージ 英語でのコミュニケーション力アップには、2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 *英語を聞いたり話したりすることの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	Viva! San Francisco オリエンテーション	[VSF] オリエン内容の復習
	3	教科書の Lesson 1	教科書の予習および復習
	4	Viva! San Francisco Chapter 1	[VSF] 授業内容の復習
	5	教科書の Lesson 2	教科書の予習および復習
	6	Viva! San Francisco Chapter 2	[VSF] 授業内容の復習
	7	教科書の Lesson 3	教科書の予習および復習
	8	Viva! San Francisco Chapter 3	[VSF] 授業内容の復習
	9	教科書の Lesson 4	教科書の予習および復習
	10	Viva! San Francisco Chapter 4	[VSF] 授業内容の復習
	11	教科書の Lesson 5	教科書の予習および復習
	12	Viva! San Francisco Chapter 5	[VSF] 授業内容の復習
	13	中間テスト準備	前半の総復習・疑問点抽出
	14	中間テスト	前半の総復習
	15	教科書の Lesson 6	教科書の予習および復習
	16	Viva! San Francisco Chapter 6	[VSF] 授業内容の復習
	17	教科書の Lesson 7	教科書の予習および復習
	18	Viva! San Francisco Chapter 7	[VSF] 授業内容の復習
	19	教科書の Lesson 8	教科書の予習および復習
	20	Viva! San Francisco Chapter 8	[VSF] 授業内容の復習
	21	教科書の Lesson 9	教科書の予習および復習
	22	Viva! San Francisco Chapter 9	[VSF] 授業内容の復習
	23	教科書補足講義	教科書の総復習・疑問点抽出
	24	Viva! San Francisco Chapter 10	[VSF] 授業内容の復習
	25	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	26	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	27	スピーチテスト①	スピーチテスト準備
	28	スピーチテスト②	スピーチテスト準備
	29	スピーチテスト③	スピーチテスト準備
30	期末テスト	後半の総復習	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書を1冊購入してください。最初のオリエンテーションの時に説明します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が多いと単位を取得できません（オリエンテーション時に詳細を説明）。  ②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。  ③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①平常点 20%  ②中間テスト 20%  ③スピーチテスト 20%  ④期末テスト 20%  ⑤単語帳作成 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業は、後期、英語Ⅱに続きます。また、英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 2・土 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[地域環境]	1 年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「リスニング力」「スピーキング力」を中心に、英語を使った基礎的なコミュニケーション能力の向上を目指します。	メッセージ 英語でのコミュニケーション力アップには、2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 *英語を聞いたり話したりすることの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	Viva! San Francisco オリエンテーション	[VSF] オリエン内容の復習
	3	教科書の Lesson 1	教科書の予習および復習
	4	Viva! San Francisco Chapter 1	[VSF] 授業内容の復習
	5	教科書の Lesson 2	教科書の予習および復習
	6	Viva! San Francisco Chapter 2	[VSF] 授業内容の復習
	7	教科書の Lesson 3	教科書の予習および復習
	8	Viva! San Francisco Chapter 3	[VSF] 授業内容の復習
	9	教科書の Lesson 4	教科書の予習および復習
	10	Viva! San Francisco Chapter 4	[VSF] 授業内容の復習
	11	教科書の Lesson 5	教科書の予習および復習
	12	Viva! San Francisco Chapter 5	[VSF] 授業内容の復習
	13	中間テスト準備	前半の総復習・疑問点抽出
	14	中間テスト	前半の総復習
	15	教科書の Lesson 6	教科書の予習および復習
	16	Viva! San Francisco Chapter 6	[VSF] 授業内容の復習
	17	教科書の Lesson 7	教科書の予習および復習
	18	Viva! San Francisco Chapter 7	[VSF] 授業内容の復習
	19	教科書の Lesson 8	教科書の予習および復習
	20	Viva! San Francisco Chapter 8	[VSF] 授業内容の復習
	21	教科書の Lesson 9	教科書の予習および復習
	22	Viva! San Francisco Chapter 9	[VSF] 授業内容の復習
	23	教科書補足講義	教科書の総復習・疑問点抽出
	24	Viva! San Francisco Chapter 10	[VSF] 授業内容の復習
	25	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	26	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	27	スピーチテスト①	スピーチテスト準備
	28	スピーチテスト②	スピーチテスト準備
	29	スピーチテスト③	スピーチテスト準備
30	期末テスト	後半の総復習	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書を1冊購入してください。最初のオリエンテーションの時に説明します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が多いと単位を取得できません（オリエンテーション時に詳細を説明）。 ②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。 ③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①平常点 20% ②中間テスト 20% ③スピーチテスト 20% ④期末テスト 20% ⑤単語帳作成 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業は、後期、英語Ⅱに続きます。また、英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡慶次 マーガレット有子[経済]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語のリスニング力とスピーキング力を重視し、グローバル化に対応した発信型の英語能力を鍛える。学生が、自発的に授業に参加し、互いの価値観を分かち合い、理解を深める。大学生の知的興味に合うような、トピックのダイアログやナレーションを聴き、自分の意見をエッセイにまとめたり、プレゼンテーションしたりして、英語力を高める。リスニングとスピーキングをうまく連動させる。	英語はグローバル言語ともいわれています。間違いを恐れず、積極的に英語を使い、授業に参加してください。リスニング演習では、DVD教材を活用し、英語の発音や、表現を、学習・練習します。グループワークでは、リスニング演習で学んだ見本表現を参考に聴き、互いの考えをアウトプットし、コミュニケーションスキルを磨きます。インプットした知識を効果的にアウトプットする。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ユニットのテーマについて、グループワークやディスカッションを通し、自分の意見を発信したり、エッセイや、レポートを書いたりすることができる。</li> <li>② 身近なこと（身の回りの関心事）について、英語で発表することができる。</li> <li>③ 文字情報に頼らず、音声情報だけで英語を聞き取り、リスニング問題に答えることができる。</li> <li>④ グループワークを通して自発性、積極性、協調性を高め、相互の理解を深める。</li> </ol> <p>【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (コースの説明)	シラバスを確認する
	2	Unit1 (1)Lifestyles Grammar + Group work	Listeningの予習
	3	Unit1 (2) DVD教材 Listening activities	Readingの予習
	4	Unit1 (3) Group Discussion (Lifestyles)	クイズの準備
	5	Unit1 (4) Quiz1, Listening activities	Unit2の予習
	6	Unit2 (1)Leisure Grammar + Group work	Readingの予習
	7	Unit2 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	8	Unit2 (3) Group Discussion (Leisure)	クイズの準備
	9	Unit2 (4) Quiz2, Listening activities	Unit3の予習
	10	Unit3 (1)Getting along Grammar + Group work	Listeningの予習
	11	Unit3 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	12	Unit3 (3) Group discussion (Getting along)	クイズの準備
	13	Unit3 (4) Quiz3, Listening activities	Unit4の予習
	14	Unit4 (1)Interests Grammar + Group work	Discussionの準備
	15	Unit4 (2) DVD教材 Listening activities	Listeningの予習
	16	Unit4 (3) Group discussion (Interests)	クイズの準備
	17	Unit4 (4) Quiz4, Listening activities	Unit5の予習
	18	Unit5 (1)Telling a story Grammar + Group work	Readingの予習
	19	Unit5 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	20	Unit5 (3) Group discussion (Telling a story)	クイズの準備
	21	Unit5 (4) Quiz5, Listening activities	Unit6の予習
	22	Unit6 (1)Celebrations Grammar + Group work	Readingの予習
	23	Unit6 (2) DVD教材 Listening activities	Discussionの準備
	24	Unit6 (3) Group discussion (Celebrations)	クイズの準備
	25	Unit6 (4) Quiz6, Listening activities	Presentationの準備
	26	Presentation	Feedbackを確認する
	27	Presentation	Feedbackを確認する
	28	DVD (educational movie)	Presentationの準備
29	Presentation	Feedbackを確認する	
30	復習レッスン	Unit1-6の復習	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：Breakthrough PLUS 2 (Macmillan Language House, 2012)  参考文献や資料などは授業で紹介する。  必要なハンドアウトは授業で配布する。</p>																									
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①出席は毎回授業のはじめに取る。遅刻した場合は確認すること。全体の1/3以上欠席した場合、単位は与えられない。  ②3回遅刻=1回欠席とみなす。遅刻・欠席は成績に大きく影響するので、授業時間に間に合うように心がける。  ③予習・復習は欠かさず行い、積極的に、授業に貢献することを求める。わからないところは、事前に調べ、予備知識を持って授業に参加すると、学習した内容が定着し、理解しやすい。  ④計画を立てて学習し、アサイメントの提出期日は守るようにする。  ⑤辞書を持参する。(紙・電子・スマホなど形態は問わない。)  【シラバス】 状況によって変更することがある。</p>																									
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>① 授業参加度、貢献度</td> <td>20%</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1, 2, 3, 4</td> <td>を評価</td> </tr> <tr> <td>② クイズ (6回)</td> <td>30%</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1, 3</td> <td>を評価</td> </tr> <tr> <td>③ プレゼンテーション</td> <td>20%</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1, 2, 3</td> <td>を評価</td> </tr> <tr> <td>④ 期末テスト</td> <td>30%</td> <td>上記の到達目標</td> <td>1, 3</td> <td>を評価</td> </tr> <tr> <td colspan="5">⑤ 以上の割合で、総合的に判定する。</td> </tr> </table>	① 授業参加度、貢献度	20%	上記の到達目標	1, 2, 3, 4	を評価	② クイズ (6回)	30%	上記の到達目標	1, 3	を評価	③ プレゼンテーション	20%	上記の到達目標	1, 2, 3	を評価	④ 期末テスト	30%	上記の到達目標	1, 3	を評価	⑤ 以上の割合で、総合的に判定する。				
① 授業参加度、貢献度	20%	上記の到達目標	1, 2, 3, 4	を評価																						
② クイズ (6回)	30%	上記の到達目標	1, 3	を評価																						
③ プレゼンテーション	20%	上記の到達目標	1, 2, 3	を評価																						
④ 期末テスト	30%	上記の到達目標	1, 3	を評価																						
⑤ 以上の割合で、総合的に判定する。																										
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 I で学んだレッスンを復習し、英語 II を履修してください。  英語の雑誌やインターネットなどを活用して、国内・国際情勢を英語で学ぶことにもチャレンジしてみましょう。</p>																									

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学生として必須な英語コミュニケーションを養成する。そのねらいをもとに、英文法、語彙力、リスニング、スピーキング等あらゆる活動を行う。	メッセージ 英語 I 学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう 英語を理解したらそれを使う（練習問題やActivityを通じて）の積極的な活動で英語を自分のツールにぜひしてください！ 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 英語において他人との基本的なコミュニケーションができるようになる（自分にことを的確に伝える、相手のことをきちんと理解する。日常についての簡単なやり取りができる等となる）	

学びの準備	到達目標 英語において他人との基本的なコミュニケーションができるようになる（自分にことを的確に伝える、相手のことをきちんと理解する。日常についての簡単なやり取りができる等となる）
-------	--

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語 I オリエンテーション CALL室オリエンテーション テキスト導入	英語 I、テキスト概要を把握する
	2	英語基礎力養成1とCALL教材学習1	ワークシート等での復習1と予習1
	3	英語基礎力養成2とCALL教材学習2	ワークシート等での復習2と予習2
	4	英語基礎力養成3とCALL教材学習3	ワークシート等での復習3と予習3
	5	自己紹介準備 1 とCALL教材学習4	ワークシート等での復習4と予習4
	6	自己紹介準備2 と CALL教材学習5	自己紹介練習とワークシート復習5
	7	自己紹介発表 と 中間テスト範囲の振り返り学習	定期テスト準備
	8	中間テスト と 振り返り	テキスト予習
	9	英語基礎力養成4とCALL教材学習6	ワークシート等での復習6と予習6
	10	英語基礎力養成 5 とCALL教材学習7	ワークシート等での復習7と予習7
	11	英語基礎力養成6とCALL教材学習8	ワークシート等での復習8と予習8
	12	英語基礎力養成 7 とCALL教材学習9	ワークシート等での復習9と予習9
	13	英語基礎力養成8とCALL教材学習10	ワークシート等での復10と予習10
	14	英語基礎力養成9 と 英語Activity	ワークシート等での復習10
	15	期末テスト範囲の振り返り学習 と 英語Activity	期末テスト準備
16	期末テストと英語 I 学習内容振り返り	期末テストと英語 I の振り返り	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 講義オリエンテーションで指定テキストを紹介します。購入してください。また英語を自分で調べる活動が多くあります。英語辞書（電子辞書でもよい）を活用してください。なお、必要に応じて講師が参考資料やワークシートを配布し講義で用います。なくさないようにしてください。
-------	---

学びの実践	学びの手立て 英語 I は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。
-------	--

学びの実践	評価 定期テスト40%、CALL教材学習30%、Acitivity20%、自己紹介スピーチ10% 欠席や遅刻、態度不良、提出物おくれ等は減点対象となります。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 次のステップは後期開講の英語 II です。さらに、より実践的に話す聞くを中心とした英語でのコミュニケーションがとれるように力をつけていきます。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[産業情報]	1年	*Phone : 080-3968-8867 E-mail : l-shimamura@hotmail.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	文法にとらわれず、比較的優しい英語を使って世界の人々とのコミュニケーションをとれるように学習する。英語圏での留学を希望する学生の生活体験英語や、日常的に英語で対話できるようになることを目的とする。また、将来外国旅行や外国での生活に役立てるように映像を利用して諸外国の事情を理解する。	中学・高校を通して、学校ではあまり英語を話すチャンスを与えられていないので、この授業では、英語を聞く事・話すことを中心に進めていきたい。ペアワークやグループワーク、スキット等も多く取り入れて活気のある授業を展開していきたい。 【プレイズメントテスト結果によるクラス分けを行う】

到達目標	この授業を通年に渡り履修することによって、基礎的な英語から学習し、自己アピールや外国人とのコミュニケーションの方法を身に付けていく。卒業後の就職にも役に立つような実践的な英語習得を目標とする。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (授業形態・テキスト紹介) / 講師自己紹介	特になし
	2	Viva San Francisco Chap1 / Globe Trotters Unit1	Practice Mini conversations
	3	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 2
	4	Viva San Francisco Chap2 / Globe Trotters Unit2	Practice Mini conversations
	5	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 3
	6	Viva San Francisco Chap3 / Globe Trotters Unit3	Practice Mini conversations
	7	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 4
	8	Viva San Francisco Chap4 / Globe Trotters Unit4	Practice Mini conversations
	9	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 5
	10	Viva San Francisco Chap5 / Globe Trotters Unit5	Practice Mini conversations
	11	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 6
	12	Viva San Francisco Chap6 / Globe Trotters Unit6	Practice Mini conversations
	13	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 7
	14	Viva San Francisco Chap7 / Globe Trotters Unit7	Practice Mini conversations
	15	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 8
	16	Viva San Francisco Chap8 / Globe Trotters Unit8	Practice Mini conversations
	17	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 9
	18	Viva San Francisco Chap9 / Globe Trotters Unit9	Practice Mini conversations
	19	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 10
	20	Viva San Francisco Chap10/ Globe Trotters Unit10	Practice Mini conversations
	21	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 11
	22	Viva San Francisco Chap11/ Globe Trotters Unit11	Practice Mini conversations
	23	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 12
	24	Viva San Francisco Chap12/ Globe Trotters Unit12	Practice Mini conversations
	25	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Unit 13
	26	Viva San Francisco Chap13/ Globe Trotters Unit13	Practice Mini conversations
	27	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Read Globe Trotters Review Game
	28	Viva San Francisco Chap14/ Globe Trotters Review Game	Practice Mini conversations
	29	Review : Mini Test / conversation Practice ( pair work)	Prepare for the presentaion
30	Exam Preparation : Pair / Group work	Prepare for the presentation	
31	Exam : Presentation( indivisual, pair or group )	Review Presentation	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Text : Globe Trotters-Practical English with Video</p>
	<p>学びの手立て テキストを中心に、予習・復習をすること。テキストには授業で使用するDVDが付属されているので、PCを利用して事前に授業内容を把握して、質問等を準備して授業に臨むことで、英語で聞くこと、英語で考える力を養う。また、miniconversation の部分は暗記するくらいくり返し練習することが望ましい。</p>
	<p>評価 (1) 平常点 (10%)      (2) 各 unit の Review Mini Test (20%) (3) mini conversation ( pair work) (20%)      (4) presentation (50%) *以上、(1)～(4)を総合して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この授業では、外国の諸事情を英語を通して学び、実践的な英語を身につけることを目標とするが、次への関連科目としては、自己や、自国の諸事情を英語を通して他に伝えることができるような学習を目標とする。</p>

※ポリシーとの関連性 大学教育においては、各専門分野の研究において英語コミュニケーション力が求められる。講義を通して英語での対話力を高める。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[社文・人福]	1年	メールアドレスを初日配布シラバスに記載	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育では、英語の文献を理解し、多様なバックグラウンドの研究や調査の幅が広がる。意見交換に必要な英語力を身につけるには、英文の基本構造やスタイルを理解し、様々なコンテンツを聴き自分の考えを述べる訓練が必要。テーマや重要なポイントを読み取り、論理的思考、クリティカル思考を鍛え自らの考えを発話する力を養う。</p>	<p>特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、実用的な会話表現を学びながらコミュニケーションに必要な英文法の基本を学び、次年度必修のessay writingに求められる英語力を養成する。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>
到達目標	<p>コンテンツを英語で理解し発信する力を養成する事を主目的とする。英語のコンテンツを聴き、理解の確認を行い、グループメンバーと意見交換できるようになることを目指す。授業で扱うコンテンツの大意を理解し、テーマなどについて分析する力を身につけ、ディスカッションやプレゼンテーションを通して英語によるOUTPUT力を磨く。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	CALL 授業1	CALL教室課題
	3	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 1	(文法テキスト) エクササイズ
	4	CALL 授業2	CALL教室課題
	5	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 2	エクササイズ
	6	CALL 授業3	CALL教室課題
	7	CALL 授業4	CALL教室課題
	8	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 3	エクササイズ
	9	CALL 授業5	CALL教室課題
	10	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 4	エクササイズ
	11	CALL 授業6	CALL教室課題
	12	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 5	エクササイズ
	13	CALL 授業7	CALL教室課題
	14	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 6	エクササイズ
	15	中間テスト (プレゼンテーション)	CALL教室課題
	16	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 7	エクササイズ
	17	CALL 授業9&10	CALL教室課題
	18	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 8	エクササイズ
	19	CALL 授業	CALL教室課題
	20	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 9	エクササイズ
	21	CALL 授業10	CALL教室課題
	22	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 10	エクササイズ
	23	CALL 授業11	CALL教室課題
	24	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 11	エクササイズ
	25	CALL 授業12	CALL教室課題
	26	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 12	エクササイズ
	27	CALL 授業13	CALL教室課題
	28	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 13	エクササイズ
	29	CALL 授業14	CALL教室課題
30	期末テスト(プレゼンテーション)		
31	解説		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 第3版 (ISBN 978-4-88996-765-4) (購入必要)</li> <li>2. (CALL教室ではソフト教材のため購入必要なテキストはありません)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります (やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する)</li> <li>2 目標: 全員が英検準2級~英検2級取得を目指す。(英語でのやり取りが基本)</li> <li>3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事 (ディスカッションなど参加型の授業なので休みが多い学生は評価が低くなります)</li> <li>4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション (1~2回) 予定</li> <li>5 頻繁な遅刻、授業態度 (私語やいねむり) の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>Call教室視聴覚教材の課題20%、ミニテスト 20%、中間プレゼンテーション20%、期末プレゼンテーション20%、教科書のエクササイズからの課題10%、グループワークの際の貢献、態度10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>基本的な文法や語彙力、表現力を身に着け、来年必修となるessay writingに備える。</p>

※ポリシーとの関連性

本学の社会の人材を育成するポリシーに適うための英語基礎力の養成とコミュニケーション活動で実践力を培う。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[産業情報]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 大学生として必須な英語コミュニケーションを養成する。そのねらいをもとに、英文法、語彙力、リスニング、スピーキング等あらゆる活動を行う。	メッセージ 英語 I 学習を通して、言葉と考える力を一緒に磨いていきましょう！ 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 他人との基本的なコミュニケーションができるようになる（自分にことを的確に伝える、相手のことをきちんと理解する。日常についての簡単なやり取りができる等となる）	

学びの準備	到達目標 他人との基本的なコミュニケーションができるようになる（自分にことを的確に伝える、相手のことをきちんと理解する。日常についての簡単なやり取りができる等となる）
-------	--

学びの実践	学びのヒント 授業計画	
	回	テーマ
	1	英語 I オリエンテーション CALL室オリエンテーション テキスト導入
	2	英語基礎力養成1とCALL教材学習1
	3	英語基礎力養成2とCALL教材学習2
	4	英語基礎力養成3とCALL教材学習3
	5	自己紹介準備 1 とCALL教材学習4
	6	自己紹介準備2 と CALL教材学習5
	7	自己紹介発表 と 中間テスト範囲の振り返り学習
	8	定期テスト と 振り返り
	9	英語基礎力養成4とCALL教材学習6
	10	英語基礎力養成 5 とCALL教材学習7
	11	英語基礎力養成6とCALL教材学習8
	12	英語基礎力養成 7 とCALL教材学習9
	13	英語基礎力養成8とCALL教材学習10
	14	英語基礎力養成9 と 英語Activity
	15	期末テスト範囲の振り返り学習 と 英語Activity
16	定期テストと英語 I 学習内容振り返り	
	時間外学習の内容	
	テキストの概要を把握する	
	ワークシート等での復習1と予習1	
	ワークシート等での復習2と予習2	
	ワークシート等での復習3と予習3	
	ワークシート等での復習4と予習4	
	自己紹介練習とワークシート復習5	
	定期テスト準備	
	予習5	
	ワークシート等での復習6と予習6	
	ワークシート等での復習7と予習7	
	ワークシート等での復習8と予習8	
	ワークシート等での復習9と予習9	
	ワークシート等での復10と予習10	
	ワークシート等での復習10	
	期末テスト準備	
	定期テストの振り返り	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 講義オリエンテーションで指定テキストを紹介します。購入してください。また英語を自分で調べる活動が多くあります。英語辞書（電子辞書でもよい）を活用してください。なお、必要に応じて講師が参考資料やワークシートを配布し講義で用います。なくさないようにしてください。
-------	---

学びの実践	学びの手立て 英語 I は講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。
-------	--

学びの実践	評価 定期テスト40%、CALL教材学習30%、Acitivity20%、自己紹介スピーチ10% 欠席や遅刻、態度不良、提出物おくれ等は減点対象となります。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 次のステップは後期開講の英語 II です。さらに、より実践的に話す聞くを中心とした英語でのコミュニケーションがとれるように力をつけていきます。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美[地域環境]	1年	*E-mail: ptt016@okiu.ac.jp もしくは授業終了後、教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	ペアを組んで英語でquestion & answerの練習を多く行い、「聞く」「話す」を中心に、基礎英会話程度の使える英語を身につける。また基礎的な文法と発音、語彙力にも力を入れる。さらにDVDを観て米国の文化に触れる機会を持つ。学期最後に二人ペアで英語によるshort conversationをクラスの前でやってもらう。	語学学習では反復練習と、自ら考えて話す練習が必要です。ペアの会話練習では恥ずかしがらずに必ず声を出して練習すること！予習→授業でのペアレッスン→練習問題などの反復練習で単語や文法などを覚え英語を身につける→unit毎の小テストで理解度を確認。復習と予習を欠かさず行えば成績に反映されるでしょう。 【プレイメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	基礎的な日常会話のやり取りや自分の言いたいことを英語で表現できる。発音がよくなり語彙力も増え、基礎的な文法も身につけ、主語、動詞のある完全な英文で質問したり、答えたりすることができる。二人ペアで英語のShort conversationを覚えてクラスの前で発表できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	Introduction, Unit 0 (プリント配布) [文法: 可算名詞 part 1・be動詞の現在形 part 1]	復習と予習 (単語調べ、練習問題)
	2	Unit 0 文法、会話演習問題、挿絵を見て、	復習と予習 (単語調べ、練習問題)
	3	Unit 0 文法演習問題	復習と予習 (単語調べ、練習問題)
	4	Unit 0 文章理解問題、疑問文	復習と予習 (単語調べ、練習問題)
	5	Unit 0 復習、summary test	U0復習とU1予習 教科書 pp. 2-9
	6	Unit 1 発音 (se)、 [文法: 可算名詞 part 2・be動詞の現在形 part 2]、 English song	pp. 10-11, 12-13
	7	Unit 1 質問文作成、文法問題、	pp. 10, 14-15
	8	Unit 1 会話練習問題、挿絵を見て、文章理解問題	pp. 16-17
	9	Unit 1 疑問文、Listening Comprehension	pp. 18-20,
	10	Unit 1 読解、 Unit 1 練習問題	文法の復習、pp. 19-20
	11	Unit 1 復習、 Summary Test	G T-H Test問題、U1復習とU2予習
	12	Unit 1 小テスト、 Unit 2 発音 (r)、語彙、 English song	pp. 27-29, 31
	13	Unit 2 [文法: 不可算名詞]、 質問文、	pp. 30, 34, 37
	14	Unit 2 会話練習問題、挿絵を見て、 Listening Comprehension	pp. 32-33, 38
	15	Unit 2 文法問題、読解、	pp. 35-36
	16	Unit 2 文章理解問題、 疑問文	文法の復習、pp. 39-40
	17	Unit 2 復習、Summary Test	G T-H Test 問題、U2 復習とU3予習
	18	Unit 2 小テスト、 Unit 3 発音 (th)、 語彙、 English song	pp. 47-49, 51
	19	Unit 3 [文法: 比較級]、 質問文作成	pp. 50, 54, 57
	20	Unit 3 会話練習問題、挿絵を見て、 Listening Comprehension	文法の復習
	21	"American Culture: "American Youth Culture""	pp. 52-53, 55
	22	Unit 3 文法問題、文章理解問題	pp. 56, 58
	23	Unit 3 疑問文、読解	文法の復習、pp. 59-60
	24	Unit 3 復習、 Summary Test	G T-H Test 問題、U2 復習とU3予習
	25	Unit 3 小テスト、 Unit 4 発音 (v)、 語彙、 English song	pp. 67-69, 71
	26	Unit 4 [文法: 過去形、助動詞]、 質問文作成	pp. 72-73, 75
	27	Unit 4 文法問題、文章理解問題	pp. 70, 74, 77
	28	Unit 4 会話練習問題、挿絵を見て、 Listening Comprehension	pp. 76, 78-80、 会話発表準備
	29	Unit 4 疑問文、読解、 Summary Test	U4 復習、 会話発表準備
	30	Unit 4 小テスト、 Short Conversation 発表(1)	発表本番
31	Short Conversation 発表(2)	発表本番	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers (Red Bird Books Publishing. Beni Fogel, Dr. Cary Rasof)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>&lt;履修の心構え&gt;講義中の私語・携帯/スマホの使用を堅く禁ずる。電子辞書はOK。毎回、出席を確認し、遅刻3回で1回の欠課とみなします。欠席が10回になると単位は与えません。&lt;学びを深めるために&gt;講義前に単語や基本的な表現などは調べて、練習問題もやっておくこと(予習)。英語は毎日少しずつ学習することが言語能力を高めることにつながるので、宿題(復習)も必ずやること。それが成績に反映します。理解度を確認するためユニット毎に小テストを実施する。学期最後に二人一組で行うshort conversationの発表があります。スクリプトを覚えて英語らしく話せるよう練習して本番に臨んで下さい。*上記の授業計画は進捗状況により変更する場合があります。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト(ユニット毎): 60% Short Conversation 発表: 30% 授業への貢献度: 10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらにステップアップするために後期の英語IIでも頑張りましょう。目標を高く掲げて英検やTOEICなどを受験するのもよいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [地域環境政策]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Student Photos, Unit 0: Useful Phrases, Countable Nouns, the verb 'to Be'	Read p2+3
	2	Grammar: There is/are, p.4 Yes/No ex., p.7 illustration together with teacher	Do p 5+6, practice p7
	3	HW p. 5+6 - Questions, p.7 illustration ex. In pairs, Grammar take-home test in class	G-t-h- test, Rev p4+7
	4	p.8+10 in pairs, p.11+12, review p.7	In Class Test 1 for Unit 0
	5	HW In Class Test for Unit 0 - Questions, p.11+12 again in pairs, p.13+14, p.5 in pairs	p15+16
	6	HW p.15+16 - Questions, Test for Unit 0 + Correct in class	Listen to Unit 1 song
	7	Unit 1 Grammar - p.7-8 Pres. Cont., General verbs, Helping Verbs, Verbs of emotion	Do p12+13, review handout
	8	HW - Questions, p.2 Song, p.3 pron, p.5 Vocab, p.10 in pairs	p.4,6, Song, Q.F. 1+2
	9	HW - Questions, p.11 in class, p.14 pairs, p.15 pairs, p.16	p11, G-t-h-test
	10	p.14,15,16,17,18 in pairs	p19+20, I-C-T-1
	11	HW p.19+20 - Questions, In Class Test 1 U.1 Questions, Test for Unit 1 + Correct in class	Listen to Unit 2 song
	12	Unit 2 Grammar - 27-29 Uncountable Nouns, Want + Would like, Some + Any, p.22 Song	p.32,33
	13	HW p.32,33 - Questions, p.22 song, p.23 pron, p.25 Vocab, p.30 ex	Grammar take-home test, song
	14	HW - Questions, p.31 in class, p.34 pairs, p.35 pairs, p.36	practice song, p.39+40
	15	HW p.39+40 - Questions, p.37,38 in pairs, p.34 again, p.35 again	In Class Test 1 U.2
	16	HW In Class Test 1 U.2 - Questions, Test for Unit 2 + Correct in class	Listen to Unit 3 song
	17	Unit 3 Grammar - p.47-49 Adjectives, Comparative + Superlative	p.51,52,53
	18	HW p.51,52,53 - Questions, p.42 song, p.43 pron, p.45 Vocab, p.50 ex	p.44,46, Grammar take-home test
	19	p.51 yes/no ex, p.54 ex, p.55, p.56	p.59+60
	20	HW p.59+60 - Questions, p.54 again, p.57+58 pairs, review p.55,56	In Class test 1 U.3
	21	HW In Class test 1 U.3 - Questions, Test for Unit 3 + Correct in Class	Listen to Unit 4 song
	22	Unit 4 Grammar p.67-69 Past Tense, p.62 song	p.71,72,73
	23	HW p.71,72,73 - Questions, p.62 song, p.63 pron, p.65 Vocab, p.70 Yes/No ex	Grammar take-home test
	24	HW Grammar take-home test - Questions, p.71, p.74, p.75, p.76 (in pairs)	p.79+80
	25	HW p.79+80 - Questions, p.74 again, p.77+78, p.75 again	In Class test 1 U.4
	26	HW In Class test 1 U.4 - Questions, Test for Unit 4 + Correct in class	Listen to Unit 5 song
	27	Unit 5 Grammar p.87-89 Verb combos, prepositions, pronouns, p.82 song	p.91,92,93
	28	HW p.91,92,93 - Questions, p.82 song, p.83 pron, p.85 Vocab, p.90 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p.91, p.94., p.95, p.96 (in pairs)	p.99+100
	30	HW p.99+100 - Questions, p.94 again, p.97+98, p.95 again	In Class test 1 U.5
31	HW In Class test 1 U.5 - Questions, Test for Unit 5 + Correct in class	Enjoy the summer break!!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2315 yen + tax  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Homework and Take-Home Tests: 40%  Tests: 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II  Please listen to the recordings on the website to keep English fresh in your head.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [法律・地行]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 6 Grammar p.107, 108, 109 Adj + Prepositions, Adverbs, p.102 song	p.111, 112, 113
	2	HW p.111, 112, 113 - Questions, p.102 song, p103 pron, p.105 Vocab, p.110 Yes/No ex	Grammar take-home test
	3	HW Grammar take-home test - Questions, p. 111, p.114, p.115+116 (in pairs)	p.119+120
	4	HW p.119+120 - Questions, p. 114 again, p. 117+118, p.115 again	In Class test 1 U.6
	5	HW In Class Test 1 U.6 - Questions, Test for Unit 6 + Correct in class	Listen to Unit 7 song
	6	Unit 7 Grammar p.127, 128, 129 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.122 song	p.131, 132, 133
	7	HW p.131, 132, 133 - Questions, p.122 song, p123 pron, p.125 Vocab, p.130 Yes/No ex	Grammar take-home test
	8	HW Grammar take-home test - Questions, p. 131, p.134, p.135+136 (in pairs)	p.139+140
	9	HW p.139+140 - Questions, p. 134 again, p. 137+138, p.135 again	In Class test 1 U.7
	10	HW In Class Test 1 U.7 - Questions, Test for Unit 7 + Correct in class	Listen to Unit 8 song
	11	Unit 8 Grammar p.147, 148, 149 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.142 song	p.151, 152, 153
	12	HW p.151, 152, 153 - Questions, p.142 song, p143 pron, p.145 Vocab, p.150 Yes/No ex	Grammar take-home test
	13	HW Grammar take-home test - Questions, p. 151, p.154, p.155+156 (in pairs)	p.159+160
	14	HW p.159+160 - Questions, p. 154 again, p. 157+158, p.155 again	In Class test 1 U.8
	15	HW In Class Test 1 U.8 - Questions, Test for Unit 8 + Correct in class	Listen to Unit 9 song
	16	Unit 9 Grammar p.167, 168, 169 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.162 song	p.171, 172, 173
	17	HW p.171, 172, 173 - Questions, p.162 song, p163 pron, p.165 Vocab, p.170 Yes/No ex	Grammar take-home test
	18	HW Grammar take-home test - Questions, p. 171, p.174, p.175+176 (in pairs)	p.179+180
	19	HW p.179+180 - Questions, p. 174 again, p. 177+178, p.175 again	In Class test 1 U.9
	20	HW In Class Test 1 U.9 - Questions, Test for Unit 9 + Correct in class	Listen to Unit 10 song
	21	Unit 10 Grammar p.187, 188, 189 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.182 song	p.191, 192, 193
	22	HW p.191, 192, 193 - Questions, p.182 song, p183 pron, p.185 Vocab, p.190 Yes/No ex	Grammar take-home test
	23	HW Grammar take-home test - Questions, p. 191, p.194, p.195+196 (in pairs)	p.199+200
	24	HW p.199+200 - Questions, p. 194 again, p. 197+198, p.195 again	In Class test 1 U.10
	25	HW In Class Test 1 U.10 - Questions, Test for Unit 10 + Correct in class	Listen to Unit 11 song
	26	Game day	
	27	Unit 11 Grammar p.207, 208, 209 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.202 song	p.211, 212, 213
	28	HW p.211, 212, 213 - Questions, p.202 song, p203 pron, p.205 Vocab, p.210 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p. 211, p.214, p.215+216 (in pairs)	p.219+220
	30	HW p.219+220 - Questions, p. 214 again, p. 217+218, p.215 again	In Class test 1 U.11
31	HW In Class Test 1 U.11 - Questions, Test for Unit 11 + Correct in class	Enjoy the break!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2315 yen + tax  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>*Homework and Take-Home Tests : 40%  Tests : 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III  Please keep practicing with the recordings on the website.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル[地域環境政策]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 6 Grammar p.107, 108, 109 Adj + Prepositions, Adverbs, p.102 song	p. 111, 112, 113
	2	HW p.111, 112, 113 - Questions, p.102 song, p103 pron, p.105 Vocab, p.110 Yes/No ex	Grammar take-home test
	3	HW Grammar take-home test - Questions, p. 111, p.114, p.115+116 (in pairs)	p.119+120
	4	HW p.119+120 - Questions, p. 114 again, p. 117+118, p.115 again	In Class test 1 U.6
	5	HW In Class Test 1 U.6 - Questions, Test for Unit 6 + Correct in class	Listen to Unit 7 song
	6	Unit 7 Grammar p.127, 128, 129 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.122 song	p.131, 132, 133
	7	HW p.131, 132, 133 - Questions, p.122 song, p123 pron, p.125 Vocab, p.130 Yes/No ex	Grammar take-home test
	8	HW Grammar take-home test - Questions, p. 131, p.134, p.135+136 (in pairs)	p.139+140
	9	HW p.139+140 - Questions, p. 134 again, p. 137+138, p.135 again	In Class test 1 U.7
	10	HW In Class Test 1 U.7 - Questions, Test for Unit 7 + Correct in class	Listen to Unit 8 song
	11	Unit 8 Grammar p.147, 148, 149 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.142 song	p.151, 152, 153
	12	HW p.151, 152, 153 - Questions, p.142 song, p143 pron, p.145 Vocab, p.150 Yes/No ex	Grammar take-home test
	13	HW Grammar take-home test - Questions, p. 151, p.154, p.155+156 (in pairs)	p.159+160
	14	HW p.159+160 - Questions, p. 154 again, p. 157+158, p.155 again	In Class test 1 U.8
	15	HW In Class Test 1 U.8 - Questions, Test for Unit 8 + Correct in class	Listen to Unit 9 song
	16	Unit 9 Grammar p.167, 168, 169 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.162 song	p.171, 172, 173
	17	HW p.171, 172, 173 - Questions, p.162 song, p163 pron, p.165 Vocab, p.170 Yes/No ex	Grammar take-home test
	18	HW Grammar take-home test - Questions, p. 171, p.174, p.175+176 (in pairs)	p.179+180
	19	HW p.179+180 - Questions, p. 174 again, p. 177+178, p.175 again	In Class test 1 U.9
	20	HW In Class Test 1 U.9 - Questions, Test for Unit 9 + Correct in class	Listen to Unit 10 song
	21	Unit 10 Grammar p.187, 188, 189 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.182 song	p.191, 192, 193
	22	HW p.191, 192, 193 - Questions, p.182 song, p183 pron, p.185 Vocab, p.190 Yes/No ex	Grammar take-home test
	23	HW Grammar take-home test - Questions, p. 191, p.194, p.195+196 (in pairs)	p.199+200
	24	HW p.199+200 - Questions, p. 194 again, p. 197+198, p.195 again	In Class test 1 U.10
	25	HW In Class Test 1 U.10 - Questions, Test for Unit 10 + Correct in class	Listen to Unit 11 song
	26	Game day	
	27	Unit 11 Grammar p.207, 208, 209 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.202 song	p.211, 212, 213
	28	HW p.211, 212, 213 - Questions, p.202 song, p203 pron, p.205 Vocab, p.210 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p. 211, p.214, p.215+216 (in pairs)	p.219+220
	30	HW p.219+220 - Questions, p. 214 again, p. 217+218, p.215 again	In Class test 1 U.11
31	HW In Class Test 1 U.11 - Questions, Test for Unit 11 + Correct in class	Enjoy the break!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2315 yen + tax  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>*Homework and Take-Home Tests : 40%  Tests : 60%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III  Please keep practicing with the recordings on the website.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[産業情報]	1年	*E-mail: l-shimamura@hotmail.co.jp 携帯: 080-3968-8867	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	文法にとらわれず、比較的簡単な英語を使って諸外国の人々とコミュニケーションをとれるようになることを目標とする。視聴覚教材を多く利用して授業を進め、実践的な場面を通して英語を学習させたい。	英語Ⅰに引き続き、英語Ⅱにおいてもペアワーク：グループワーク等を多く取り入れて授業を進めるのでそれらに対し、積極的に参加して欲しい。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】

到達目標	自己について、あるいは自国の諸事情について英語で表現できるようになること。また、諸外国にも興味を持ち、外国人と対等にコミュニケーションをとれるようになることを目標とする。
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (授業形態・テキスト紹介) / 講師自己紹介	特になし
	2	Viva San Francisco Chap15 / Globe Trotters (Review Game)	Mini test/ Pair work の練習
	3	Review Chapter 15: Mini test / Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	4	Viva San Francisco Chap16 / Globe Trotters (Daily English)	Mini test/ Pair work の練習
	5	Review Chapter16: Mini test / Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	6	Viva San Francisco Chap17 / Globe Trotters (Crossword / Communication Activity)	Mini test/ Pair work の練習
	7	Review Chapter17: Mini test / Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	8	Viva San Francisco Chap18 / Globe Trotters (video Script: Spain) Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	9	Review Chapter18: Mini test / Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	10	Viva San Francisco Chap19 / Globe Trotters (video Script: China) Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	11	Review Chapter19: Mini test / Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	12	Viva San Francisco Chap20/ Globe Trotters (video Script: Peru) Pair work	Mini test/ Pair work の練習
	13	Viva San Francisco (Review: Unit1 ~ Unit 20)	Viva San Francisco: Review
	14	英検過去問 (Listening ①) / Globe Trotters (video Script: Tokyo) Pair work	Pair work の練習
	15	英検過去問 (Listening ②) / Globe Trotters (video Script: New York) Pair Work	Pair work の練習
	16	英検過去問 (Listening ③) / Globe Trotters (video Script: Antarctica) Pair Work	Pair work の練習
	17	英検過去問 (Listening ④) / Globe Trotters (video Script: India) Pair Work	Pair work の練習
	18	英検過去問 (Listening ⑤) / Globe Trotters (video Script: New Zealand) Pair Work	Pair work の練習
	19	英検過去問 (Listening ⑥) / Globe Trotters (video Script: Africa) Pair Work	Pair work の練習
	20	TOEIC (Listening ①) / Globe Trotters (video Script: Cambodia) Pair work	Pair work の練習
	21	TOEIC (Listening ②) / Globe Trotters (video Script: Egypt) Pair work	Pair work の練習
	22	TOEIC (Listening ③) / Globe Trotters (video Script: Italy) Pair work	Pair work の練習
	23	TOEIC (Listening ④) / Globe Trotters (video Script: Mars) Pair work	Pair work の練習
	24	TOEIC (Listening ⑤) / Globe Trotters (Review Unit 1~Unit13)	Listening Test の準備
	25	Listening Test (英検: TOEIC)	Self Introduction 作成
	26	Conversation Practice: Self Introduction	Self Introduction 作成
	27	Conversation Practice: Self Introduction	Self Introduction 作成
	28	Conversation Practice: Self Introduction	Talk about your future 作成
	29	Conversation Practice: Talk about your future	Prepare for the presentaion
30	Prezentation 準備: power point, pictures, audio, その他 (個人・pair. group)	Prepare for the presentation	
31	Presentation	Review Presentation	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト (1) Viva San Fransisco(購入必要なし) (2) Globe Trotters (DVD付) (購入する) ¥2,400          参考文献 (1) 英検準2級・2級リスニング問題 (購入必要なし) (2) TOEIC問題 (購入必要なし)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          講義への出席状況には十分に気を付けること。やむおえない場合の遅刻・欠席はできるだけ事前に連絡すること。          Pair work 等には積極的な参加が望ましく、また高く評価される。次回の授業への準備 (pair conversation) 等は時間をかけ、内容が身に付くまで練習して欲しい。</p>
	<p>評価          評価は:(1) 平常点 (10%) (2) 毎回のMiniTestの結果・提出物 (プリント) (20%)          (3) Piar work (20%) (4) Presentation(50%) 以上で評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          この講義ではListeningとspeaking を中心に行うので、次のステップとしては、writing 及び Reading を中心にした授業を受講し、英語の4技能を習得する努力をして欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[社文・人福]	1年	メールアドレスを初日配布シラバスに記載	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育では、英語の文献を理解し、多様なバックグラウンドの研究や調査の幅が広がる。意見交換に必要な英語力を身につけるには、英文の基本構造やスタイルを理解し、様々なコンテンツを聴き自分の考えを述べる訓練が必要。テーマや重要なポイントを読み取り、論理的思考、クリティカル思考を鍛え自らの考えを発話する力を養う。</p> <p>到達目標</p> <p>コンテンツを英語で理解し発信する力を養成する事を主目的とする。英語のコンテンツを聴き、理解の確認を行い、グループメンバーと意見交換できるようになることを目指す。授業で扱うコンテンツの大意を理解し、テーマなどについて分析する力を身に付け、ディスカッションやプレゼンテーションを通して英語によるOUTPUT力を磨く。</p>	<p>特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、実用的な会話表現を学びながらコミュニケーションに必要な英文法の基本を学び、次年度必修のessay writingに求められる英語力を養成します。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	CALL 授業15	CALL教室課題
	3	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 復習1	(文法テキスト) エクササイズ
	4	CALL 授業16	CALL教室課題
	5	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 復習2	エクササイズ
	6	CALL 授業17	CALL教室課題
	7	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 復習3	エクササイズ
	8	CALL 授業18	CALL教室課題
	9	CALL 授業19	エクササイズ
	10	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 15	エクササイズ
	11	CALL 授業20	CALL教室課題
	12	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 16	エクササイズ
	13	CALL 授業21	CALL教室課題
	14	CALL 授業22	CALL教室課題
	15	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 17	エクササイズ
	16	中間テスト (プレゼンテーション)	CALL教室課題
	17	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 17	エクササイズ
	18	CALL 授業23	CALL教室課題
	19	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 18	エクササイズ
	20	CALL 授業24	CALL教室課題
	21	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 18	エクササイズ
	22	CALL 授業25	CALL教室課題
	23	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 19	エクササイズ
	24	CALL 授業26	CALL教室課題
	25	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 19	エクササイズ
	26	CALL 授業27	CALL教室課題
	27	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 20	エクササイズ
	28	CALL 授業28	CALL教室課題
	29	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 20	エクササイズ
30	期末テスト(プレゼンテーション)		
31	解説		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など  (前期から継続の場合は新規購入テキストは無し)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 第3版 (ISBN 978-4-88996-765-4)  (購入必要)</li> <li>2. (CALL教室ではソフト教材のため購入必要なテキストはありません)</li> </ol>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります (やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する)</li> <li>2 目標：英検準2級～英検2級を目指す (英語でのやり取りが基本)</li> <li>3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事 (ディスカッションなど参加型の授業などで休みが多い学生は評価が低くなります)</li> <li>4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション (1～2回) 予定</li> <li>5 頻繁な遅刻、授業態度 (私語やいねむり) の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</li> </ol>
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>Call教室視聴覚教材の課題20%、ミニテスト 20%、中間プレゼンテーション20%、  期末プレゼンテーション20%、教科書のエクササイズからの課題10%、グループワークの際の貢献、態度10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>基本的な文法や語彙力、表現力を身に着け、来年必修となるessay writingに備える。</p>

※ポリシーとの関連性 実践的な英語力と、広い思考力を身につけ、国際社会で活躍できるような、コミュニケーション能力の養成を目指す。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡慶次 マーガレット有子[経済]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語で聞き、英語で考え、英語で話す機会を多く取り入れて、コミュニケーション能力を磨く。学生が、能動的に授業に参加し、グループワークを通し、発信力、表現力や、説得力を身に付ける。経験を積み重ねることによって、目標を達成する。リスニングとスピーキングをうまく連動しながら、実践的な英語運用能力を身に付ける。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	英語はグローバル言語ともいわれています。積極的に英語を使って、授業に参加してください。グループワークやディスカッションを通し、多面的に物事を見ることで、発想力を養い、考える習慣を身につけます。自分の考えを発信することにより、話す自信が付き、会話のバリエーションが増えます。英語力をしっかり身につけて、国際社会や地域社会でも活躍してください。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ユニットのテーマについて、グループワークやディスカッションを通し、自分の意見を発信したり、エッセイや、レポートを書いたりすることができる。</li> <li>② 社会問題や、異文化などについて、英語でプレゼンテーションすることができる。</li> <li>③ 発表した内容について、質疑応答をすることができる。</li> <li>④ 文字情報に頼らず、音声情報だけで英語を聞き取り、多様なリスニング問題に答えることができる。</li> <li>⑤ グループワークを通して自発性、積極性、協調性を高め、相互の理解を深める。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	Unit 7の予習
	2	Unit7 (1) Food and Drink Grammar+Group work	U7 Listeningの予習
	3	Unit7 (2) DVD教材 Listening activities	U7 Discussionの準備
	4	Unit7 (3) Group discussion (Food and Drink)	U7 Quizの準備
	5	Unit7 (4) Quiz1, Listening activities	Unit8の予習
	6	Unit8 (1) Rules Grammar + Group work	U8 Listeningの予習
	7	Unit8 (2) DVD教材 Listening activities	U8 Discussionの準備
	8	Unit8 (3) Group discussion (Rules)	U8 Quizの準備
	9	Unit8 (4) Quiz2, Listening activities	Unit9の予習
	10	Unit9 (1) Adventure Grammar + Group work	U9 Listeningの予習
	11	Unit9 (2) DVD教材 Listening activities	U9 Discussionの準備
	12	Unit9 (3) Group discussion (Adventure)	U9 Quizの準備
	13	Unit9 (4) Quiz3, Listening activities	Unit10の予習
	14	Unit10 (1) Health Grammar + Group work	U10 Listeningの予習
	15	Unit10 (2) DVD教材 Listening activities	U10 Discussionの準備
	16	Unit10 (3) Group discussion (Health)	U10 Quizの準備
	17	Unit10 (4) Quiz4, Listening activities	Unit11の予習
	18	Unit11 (1) Comparisons Grammar+Group work	U11 Listeningの予習
	19	Unit11 (2) DVD教材 Listening activities	U11 Discussionの準備
	20	Unit11 (3) Group discussion (Comparisons)	U11 Quizの準備
	21	Unit11 (4) Quiz5, Listening activities	Unit12 の予習
	22	Unit12 (1)The modern world Grammar+Group work	U12 Listeningの予習
	23	Unit12 (2) DVD教材 Listening activities	U12 Discussionの準備
	24	Unit12 (3)Group discussion(The modern world)	U12 Quizの準備
	25	Unit12 (4) Quiz6, Listening activities	Presentationの準備
	26	Presentation	Feedbackを確認する
	27	Presentation	Feedbackを確認する
	28	DVD (educational movie)	Presentationの準備
29	Presentation	Feedbackを確認する	
30	Review Lesson	Unit 7-12を復習する	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：Breakthrough PLUS 2 (Macmillan Language House, 2014)  参考文献：授業で紹介します。  資料：適宜必要なハンドアウト（補助ハンドアウト）を配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①出席は毎回授業のはじめに取る。遅刻した場合は確認すること。全体の1/3以上欠席した場合、単位は与えられない。  ②3回遅刻=1回欠席とみなす。遅刻・欠席は成績に大きく影響するので、授業時間に間に合うように心がける。  ③予習・復習は欠かさず行い、積極的に、授業に貢献することを求める。わからないところは、事前に調べ、予備知識を持って授業に参加すると、学習した内容が定着し、理解しやすい。  ④計画を立てて学習し、アサイメントの提出期日は守るようにする。  ⑤辞書を持参する。(紙・電子・スマホなど形態は問わない。)  ※【シラバス】状況によって変更することがある。</p>
	<p>評価</p> <p>① 授業参加度、貢献度 20% 上記の到達目標 1, 2, 3, 4, 5を評価  ② クイズ (6回) 30% 上記の到達目標 1, 4 を評価  ③ プレゼンテーション 20% 上記の到達目標 1, 2, 3, 5 を評価  ④ 期末テスト 30% 上記の到達目標 1, 4 を評価  以上の割合で、総合的に判定する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>① 英字新聞や雑誌、インターネットやDVDなどを活用し、国内・国際情勢を、英語で学ぶことにもチャレンジしてみてください。  ② 海外の映画(DVD)なども、効果的な学習ツールだと思います。楽しみながら、英語の表現力、異文化理解力や、コミュニケーション能力を高めることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[産業情報]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰをさらに発展させ、英語コミュニケーションの力を日常の多くの場面で自ずから発信、受容し英語を使用できるようにするのがねらいである。よって、問題練習だけでなくさまざまな活動を通して学習者がその習得を実現かつ気づいて自信をつけるようにする。	メッセージ 英語Ⅰからさらに上の段階で、英語を発展的に口頭でやり取りができるように基礎力強化とともにともに学んでいきましょう！ 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション 英語Ⅰ振り返り学習他	英語Ⅱ概要理解と英語Ⅰ復習
	2	英語基礎力養成10とCALL教材学習11	ワークシート等での復習1と予習1
	3	英語基礎力養成11とCALL教材学習12	ワークシート等での復習2と予習2
	4	英語基礎力養成12とCALL教材学習13	ワークシート等での復習3と予習3
	5	英語基礎力養成13とCALL教材学習14	ワークシート等での復習4と予習4
	6	英語基礎力養成14とCALL教材学習15	ワークシート復習5
	7	中間テスト範囲振り返り学習 他	中間テスト準備
	8	中間テスト と 振り返り	予習5
	9	英語基礎力養成15 インタビュー準備1	ワークシート等での復習6他
	10	インタビュー準備2 Activity	インタビュー自己学習と準備
	11	英語基礎力養成15とCALL教材学習16	ワークシート等での復習8と予習8
	12	英語基礎力養成16とCALL教材学習17	ワークシート等での復習9と予習9
	13	英語基礎力養成17とCALL教材学18	ワークシート等での復10と予習10
	14	英語基礎力養成18とCALL教材学習19	ワークシート等での復習10
15	CALL教材学習20 と期末テスト範囲の振り返り学習	期末テスト準備	
16	期末テストと英語Ⅰ学習内容振り返り	定期テストの振り返り	
	テキスト・参考文献・資料など 講義オリエンテーションで指定テキストを紹介し、購入してください。また英語を自分で調べる活動が多くあります。英語辞書（電子辞書でもよい）を活用してください。なお、必要に応じて講師が参考資料やワークシートを配布し講義で用います。なくさないようにしてください。		
	学びの手立て 英語Ⅱは講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。英語の理解を促す練習問題とともに、実践的なAcitivity(成績評価にも入る)も随意取り入れて本科目はすすみます。積極的に取り組んで自分の英語力、コミュニケーションツールの英語をみにつけてください。		
	評価 定期テスト40%、CALL教材学習30%、Acitivity20%、インタビュー10% を合計し、それから欠席や遅刻、態度不良、提出物おくれ等は減点した点数が評価となります。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 次は、英語リーディングやライティングでの力を養成する英語Ⅲ・Ⅳで学ぶことをお勧めします。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[地域環境]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰに引き続き、「リスニング力」「スピーキング力」を中心に、英語を使った基礎的なコミュニケーション能力の向上を目指します。	メッセージ 英語でのコミュニケーション力アップには、2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 *英語を聞いたり話したりすることの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	Viva! San Francisco オリエンテーション	[VSF] オリエン内容の復習
	3	教科書の Lesson 10	教科書の予習および復習
	4	Viva! San Francisco Chapter 11	[VSF] 授業内容の復習
	5	教科書の Lesson 11	教科書の予習および復習
	6	Viva! San Francisco Chapter 12	[VSF] 授業内容の復習
	7	教科書の Lesson 12	教科書の予習および復習
	8	Viva! San Francisco Chapter 13	[VSF] 授業内容の復習
	9	教科書の Lesson 13	教科書の予習および復習
	10	Viva! San Francisco Chapter 14	[VSF] 授業内容の復習
	11	教科書の Lesson 14	教科書の予習および復習
	12	Viva! San Francisco Chapter 15	[VSF] 授業内容の復習
	13	中間テスト準備	前半の総復習・疑問点抽出
	14	中間テスト	前半の総復習
	15	教科書の Lesson 15	教科書の予習および復習
	16	Viva! San Francisco Chapter 16	[VSF] 授業内容の復習
	17	教科書の Lesson 16	教科書の予習および復習
	18	Viva! San Francisco Chapter 17	[VSF] 授業内容の復習
	19	教科書の Lesson 17	教科書の予習および復習
	20	Viva! San Francisco Chapter 18	[VSF] 授業内容の復習
	21	教科書の Lesson 18	教科書の予習および復習
	22	Viva! San Francisco Chapter 19	[VSF] 授業内容の復習
	23	教科書補足講義	教科書の総復習・疑問点抽出
	24	Viva! San Francisco Chapter 20	[VSF] 授業内容の復習
	25	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	26	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	27	スピーチテスト①	スピーチテスト準備
	28	スピーチテスト②	スピーチテスト準備
	29	スピーチテスト③	スピーチテスト準備
30	期末テスト	後半の総復習	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 前期と同じ教科書を使います。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が多いと単位を取得できません（オリエンテーション時に詳細を説明）。 ②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。 ③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①平常点 20% ②中間テスト 20% ③スピーチテスト 20% ④期末テスト 20% ⑤単語帳作成 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	- 空閑 洋始[日文]	1年	ptt1138@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰに引き続き、「リスニング力」「スピーキング力」を中心に、英語を使った基礎的なコミュニケーション能力の向上を目指します。	メッセージ 英語でのコミュニケーション力アップには、2つのことが大事です。1つは、「あまり細かいことにこだわらずに、元気に大きな声で話す」。もう1つは、これと矛盾するようですが、「基礎的文法を身に付け、知っている単語の数を増やす」。授業は、この2面性を常に意識しながら進めていきます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 *英語を聞いたり話したりすることの楽しさを実感する。 *英語スピーカーに突然話しかけられても、積極的に対応できるようになる。 *海外旅行に出かけた際に、必要最低限のコミュニケーションができる力を付ける。 *英語で書かれたインターネットのサイトで、世界の情報を楽しめるようになる。 *英語を学ぶことで、自分の可能性が広がることを実感する。 *英語の学習にパソコンを有効に使えるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	オリエン内容の復習
	2	Viva! San Francisco オリエンテーション	[VSF] オリエン内容の復習
	3	教科書の Lesson 10	教科書の予習および復習
	4	Viva! San Francisco Chapter 11	[VSF] 授業内容の復習
	5	教科書の Lesson 11	教科書の予習および復習
	6	Viva! San Francisco Chapter 12	[VSF] 授業内容の復習
	7	教科書の Lesson 12	教科書の予習および復習
	8	Viva! San Francisco Chapter 13	[VSF] 授業内容の復習
	9	教科書の Lesson 13	教科書の予習および復習
	10	Viva! San Francisco Chapter 14	[VSF] 授業内容の復習
	11	教科書の Lesson 14	教科書の予習および復習
	12	Viva! San Francisco Chapter 15	[VSF] 授業内容の復習
	13	中間テスト準備	前半の総復習・疑問点抽出
	14	中間テスト	前半の総復習
	15	教科書の Lesson 15	教科書の予習および復習
	16	Viva! San Francisco Chapter 16	[VSF] 授業内容の復習
	17	教科書の Lesson 16	教科書の予習および復習
	18	Viva! San Francisco Chapter 17	[VSF] 授業内容の復習
	19	教科書の Lesson 17	教科書の予習および復習
	20	Viva! San Francisco Chapter 18	[VSF] 授業内容の復習
	21	教科書の Lesson 18	教科書の予習および復習
	22	Viva! San Francisco Chapter 19	[VSF] 授業内容の復習
	23	教科書補足講義	教科書の総復習・疑問点抽出
	24	Viva! San Francisco Chapter 20	[VSF] 授業内容の復習
	25	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	26	スピーチテスト・期末テスト準備	教科書の総復習・疑問点抽出
	27	スピーチテスト①	スピーチテスト準備
	28	スピーチテスト②	スピーチテスト準備
	29	スピーチテスト③	スピーチテスト準備
30	期末テスト	後半の総復習	
31	期末テスト及び今学期の復習、単語帳提出	単語帳の作成確認・提出準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 前期と同じ教科書を使います。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出欠を確認します。欠席が多いと単位を取得できません（オリエンテーション時に詳細を説明）。 ②授業には必ず辞書を持参してください。どのようなものでもけっこうです。 ③紙のプリントよりも、学内のシステムを利用した、インターネット経由での資料配布が多くなります。機器の扱いに慣れてください。</p>
	<p>評価</p> <p>①平常点 20% ②中間テスト 20% ③スピーチテスト 20% ④期末テスト 20% ⑤単語帳作成 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英検やTOEICなどに個人的にチャレンジするのもいいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [法律・地行]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し、英語Iで学んだ内容のレベルアップを図り“発音”、“音読”に重点を置き「使える」英語を身につける。英語IIでは、さらに語彙力を養い読解力もつける。ペアやグループワークを通して英語を音読する、話す、使ってみる機会を増やし、ショートプレゼンテーションができるようになる。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。</li> <li>4. ペアやグループワークで仲間と協力して作業ができる。</li> <li>5. 説得力のあるスピーチや短めのプレゼンテーションができる。</li> </ol>	<p>英語I同様、授業を大いに活用し、クラスメートと英語を多用する機会を大切にしてください。耳と口を使って英語を訓練する場を増やし、さらなる英語能力のレベルアップを図りましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、自己紹介等	授業内容、進度、約束事等の確認
	2	Viva San Francisco 6	語彙調べ、基本文確認
	3	*Text: Unit 6	語彙、文法テストに備える
	4	Viva San Francisco 7	語彙調べ、基本文確認
	5	Text: Unit 6 ~ Unit 7	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	6	Viva San Francisco 8	語彙調べ、基本文確認
	7	Text: Unit 7	語彙、文法テストに備える
	8	World Heritage Site 2	語彙調べ、基本文確認
	9	Text: Unit 7 ~ Unit 8	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	10	World Heritage Site 2	語彙調べ、基本文確認
	11	Text: Unit 8	語彙、文法テストに備える
	12	DVD鑑賞	日常的な英語表現確認
	13	Unit 6 ~ Unit 8とCALL教材の復習、スピーチの準備	テストに向け復習、スピーチ練習
	14	第1回スピーチ	スピーチ練習
	15	中間テスト	テストに向け復習
	16	テストとスピーチ評価の返却、振り返り、Unit 9	語彙調べ
	17	Text: Unit 9	語彙、文法テストに備える
	18	BBC documentary 2	語彙調べ、基本文確認
	19	Text: Unit 9 ~ Unit 10	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	20	BBC documentary 2	語彙調べ、基本文確認
	21	Text: Unit 10	語彙、文法テストに備える
	22	World Heritage Site 3	語彙調べ、基本文確認
	23	Text: Unit 10 ~ Unit 11	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	24	DVD鑑賞	日常的な英語表現確認
	25	Text: Unit 11	語彙、文法テストに備える
	26	World Heritage Site 3	語彙調べ、基本文確認
	27	易しい時事英語	英語表現確認
	28	Text: Unit 11	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	29	Unit 9 ~ Unit 11とCALL教材の復習、スピーチの準備	テストに向け復習、スピーチ練習
30	第2回スピーチ	スピーチ練習	
31	期末テスト	テストに向け復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. 適宜配布教材ありますので、ファイルを準備すること</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと（細かい約束事はオリエンテーションでお知らせします）。</li> <li>② 授業には必ず辞書（電子辞書でも良い）を準備すること。</li> <li>③ 課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>④ 授業には前向きな積極的態で臨むこと。</li> <li>⑤ ペア、グループワークは協力して行うこと。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間、期末考査（50%）</li> <li>・ 確認クイズ等（10%）</li> <li>・ スピーチ発表（20%）</li> <li>・ 提出物、平常点等（20%）</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [経済]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。 今年はそのジinxスを打破しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	*Unit7(1) : Food & drink(可算、不可算名詞)	U7 Grammar Ref.
	3	DVD教材1 : Travel(1)	DVD Vocabulary
	4	Unit7(2) : Food & drink	U7 Digibook
	5	DVD1 : Travel(2)	DVD Vocabulary
	6	U9(1) : Adventures (Present Perfect)	U9 Grammar Ref.
	7	DVD1 : Travel(3)	DVD Vocabulary
	8	U9(1) : Adventures	U9 Digibook
	9	DVD2 : Music(1)	DVD Vocabulary
	10	U12(1) : The modern world (Present Perfect)	U12 Grammar Ref.
	11	DVD2 : Music(2)	DVD Vocabulary
	12	U12(2) : The modern world	U12 Digibook
	13	DVD2 : Music(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Clones(1)	DVD Vocabulary
	16	U10(1) : Health (Advice & Suggestions)	U10 Grammar Ref.
	17	DVD3 : Clones(2)	DVD Vocabulary
	18	U10(2) : Health	U10 Digibook
	19	DVD3 : Clones(3)	DVD Vocabulary
	20	U11(1) : Comparisons (比較級/最上級)	U11 Grammar Ref.
	21	DVD3 : Clones(4)	DVD Vocabulary
	22	U11(2) : Comparisons	U11 Digibook
	23	DVD4 : Animation(1)	DVD Vocabulary
	24	U6(1) : Celebrations (going to / will)	U6 Grammar Ref.
	25	DVD4 : Animation(2)	DVD Vocabulary
	26	U6(2) : Celebrations	U6 Digibook
	27	DVD4 : Animation(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD5 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Breakthrough PLUS 2 (Macmillan LanguageHouse, 2012年) 2, 916(税込)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。</li> <li>(2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。</li> <li>(3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)</li> <li>(4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</li> <li>(5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価)</li> <li>英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価)</li> <li>授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [日文・社文・人福 (2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し、英語Iで学んだ内容のレベルアップを図り“発音”、“音読”に重点を置き「使える」英語を身につける。英語IIでは、さらに語彙力を養い読解力もつける。ペアやグループワークを通して英語を音読する、聴く、話す等、英語を使う機会を増やし、ショートプレゼンテーションができるようになる。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。</li> <li>4. ペアやグループワークで仲間と協力して作業ができる。</li> <li>5. 説得力のあるスピーチや短めのプレゼンテーションができる。</li> </ol>	<p>英語I同様、授業を大いに活用し、クラスメートと英語を多用する機会を大切にしてください。耳と口を使って英語を訓練する場を増やし、さらなる英語能力のレベルアップを図りましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、自己紹介等	授業内容、進度、約束事等の確認
	2	Call 教室オリエンテーション、Listening activities	Call 機器利用等の確認
	3	Unit 12	語彙と文法事項予習
	4	BBC documentary 1	語彙調べ、基本文確認
	5	Unit 12	語彙復習テスト
	6	BBC documentary 1	語彙調べ、基本文確認
	7	Unit 12 ~ Unit 13	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	8	World Heritage Site 1	語彙調べ、基本文確認
	9	Unit 13	語彙復習テスト
	10	World Heritage Site 1	語彙調べ、基本文確認
	11	Unit 13	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	12	DVD鑑賞	日常的な英語表現確認
	13	Unit 12 ~ Unit 13とCALL教材の復習、スピーチ準備	テストに向け復習、スピーチ練習
	14	第1回スピーチ	スピーチ練習
	15	中間テスト	テストに向け復習
	16	テストとスピーチ評価の返却、振り返り、Unit 14	語彙調べ
	17	Unit 14	語彙復習テスト
	18	BBC documentary 2	語彙調べ、基本文確認
	19	Unit 14 ~ Unit 15	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	20	BBC documentary 2	語彙調べ、基本文確認
	21	Unit 15	語彙復習テスト
	22	World Heritage Site 2	語彙調べ、基本文確認
	23	Unit 15	Unit 復習テスト、英作文課題提出
	24	DVD鑑賞	日常的な英語表現確認
	25	World Heritage Site 2	語彙調べ、基本文確認
	26	易しい時事英語	英語表現確認
	27	World Heritage Site 3	語彙調べ、基本文確認
	28	易しい時事英語	英語表現確認
	29	Unit 12 ~ Unit 13とCALL教材の復習、スピーチ準備	テストに向け復習、スピーチ練習
30	第2回スピーチ	スピーチ練習	
31	期末テスト	テストに向け復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. 適宜配布教材ありますので、ファイルを準備すること</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと（細かい約束事はオリエンテーションでお知らせします）。</li> <li>② 授業には必ず辞書（電子辞書でも良い）を準備すること。</li> <li>③ 課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>④ 授業には前向きな積極的態で臨むこと。</li> <li>⑤ ペア、グループワークは協力して行うこと。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間、期末考査（50%）</li> <li>・ 確認、復習クイズ等（10%）</li> <li>・ スピーチ発表（20%）</li> <li>・ 提出物、平常点等（20%）</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能をバランスよく伸ばし、観光ガイドに必要な知識を習得する。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。日本文化について英語で学んでいきます。 学園祭のパフォーマンスに没頭しすぎないように、勉学にも励んでください。 【プレイズメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝えることができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの準備	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝えることができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。
-------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	*Lesson1 : Tokyo Station	L1 Exercises
	3	DVD教材1 : Travel(1)	DVD Vocabulary
	4	L2&3 : Exploring Metropolitan... /Restaurant at...	L2&3 Exercises
	5	DVD1 : Travel(2)	DVD Vocabulary
	6	L4 : Kakunodate : A Town of Samurai and...	L4 Exercises
	7	DVD1 : Travel(3)	DVD Vocabulary
	8	L5 : Old Private Houses in Takayama	L5 Exercises
	9	DVD2 : Music(1)	DVD Vocabulary
	10	L6&7 : Hacho Miso in... /Toyota Automobile...	L6&7 Exercises
	11	DVD2 : Music(2)	DVD Vocabulary
	12	L8 : Cormorant Fishing	L8 Exercises
	13	DVD2 : Music(3)	DVD Vocabulary
	14	中間テスト	Test Review
	15	DVD3 : Clones(1)	DVD Vocabulary
	16	L9 : UjiByodoin	L9 Exercises
	17	DVD3 : Clones(2)	DVD Vocabulary
	18	L10&11 : Kyoto Studio... /International Phone...	L10&11 Exercises
	19	DVD3 : Clones(3)	DVD Vocabulary
	20	L12&13 : Bakery Shops in... /White Heron Castle	L12&13 Exercises
	21	DVD3 : Clones(4)	DVD Vocabulary
	22	L14&15 : Ritsurin Park /Charms of Miyazaki	L14&15 Exercises
	23	DVD4 : Animation(1)	DVD Vocabulary
	24	L16&17 : At The Nichinan ... /Ishigaki Island	L16&17 Exercises
	25	DVD4 : Animation(2)	DVD Vocabulary
	26	L18 : Departure	L18 Exercises
	27	DVD4 : Animation(3)	DVD Vocabulary
	28	英会話テスト(1)	英会話テスト復習
	29	DVD5 : Special English	DVD Vocabulary
30	英会話テスト(2)	英会話テスト復習	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など  Discovering Japan through Tourism English [観光英語で日本発見!] (英宝社, 2010年) ?1, 890(税別)</p>
	<p>学びの手立て  (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。  (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価  中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行 [法律・地行]	1年	講義終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅱに引き続き英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ります。日本人大学生が米国留学する際に経験する英会話をラボ教材を用いて学びます。あわせて大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な英会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返しながら、大学生としての教養を身につけ、英語力を強化します。	マルチメディア教材を利用し、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。積極的に授業に取り組み、英語に親しむようにしてください。外国語学習は継続が重要です。毎回予習をし、遅刻、欠席がないよう努力することも重要です。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。</li> <li>2. 英語の語彙力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。</li> <li>3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション 普通教室での講義について、英語によるクラスメート紹介	シラバスを事前に読むこと
	2	[Viva!] Chapter 11	Chapter 11の予習
	3	[Pathway] Housing, Day 1	Unit 6の予習
	4	[Viva!] Chapter 12	Chapter 12の予習
	5	[Pathway] Housing, Day 2	Unit 6の予習
	6	[Viva!] Chapter 13	Chapter 13の予習
	7	[Pathway] Housing, Day 3	Unit 6の予習
	8	[Viva!] Chapter 14	Chapter 14の予習
	9	[Pathway] Exploring Space, Day 1	Unit 7の予習
	10	[Viva!] Chapter 15	Chapter 15の予習
	11	[Pathway] Exploring Space, Day 2	Unit 7の予習
	12	[Pathway] Exploring Space, Day 3	Unit 7の予習
	13	まとめと復習 : [Viva!] Chapters 11 ~ 15, [Pathway] Units 6 ~ 7	既習教材の復習・試験準備
	14	まとめと復習 : [Viva!] Chapters 11 ~ 15, [Pathway] Units 6 ~ 7	既習教材の復習・試験準備
	15	中間テスト	既習教材の復習・試験準備
	16	[Viva!] Chapter 16	Chapter 16の予習
	17	[Pathway] Art and Music, Day 1	Unit 8の予習
	18	[Viva!] Chapter 17	Chapter 17の予習
	19	[Pathway] Art and Music, Day 2	Unit 8の予習
	20	[Viva!] Chapter 18	Chapter 18の予習
	21	[Pathway] Art and Music, Day 3	Unit 8の予習
	22	[Viva!] Chapter 19	Chapter 19の予習
	23	[Pathway] Our Relationship with Nature, Day 1	Unit 9の予習
	24	[Viva!] Chapter 20	Chapter 20の予習
	25	[Pathway] Our Relationship with Nature, Day 2	Unit 9の予習
	26	[Pathway] Our Relationship with Nature, Day 3	Unit 9の予習
	27	[Pathway] How We Communicate, Day 1	Unit 10の予習
	28	[Pathway] How We Communicate, Day 2	Unit 10の予習
	29	[Pathway] How We Communicate, Day 3	Unit 10の予習
30	まとめと復習 : [Viva!] Chapters 16 ~ 20, [Pathway] Units 8 ~ 10	既習教材の復習・試験準備	
31	期末テスト	既習教材の復習・試験準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Ohyagi, Hiroto &amp; Timothy Kiggell. (1998). Viva! San Francisco. MacMillan. (CALL教材として利用できるため購入不要)</li> <li>2. Chase, Becky T. (2013). Pathways 1: Listening, speaking, and critical thinking. Boston, MA: Heinle-Cengage ELT. (英語Iの教科書を継続使用)</li> </ol>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。</li> <li>2. 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点(100点)から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。</li> <li>3. 予習(特にオンライン学習)を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てましょう。</li> <li>4. 学期中、1/3(10回)以上授業を欠席した場合は、学則により自動的に「不可」の成績となります。</li> <li>5. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語彙力とリスニング力養成のためのquizを実施します。(5~7回, 20%)</li> <li>2. 中間テスト(30%)</li> <li>3. 期末テスト(30%)</li> <li>4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します(20%)</li> </ol>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義で習得した英語力をいかして、英語で読む力と書く力を訓練する「英語III」および「英語IV」に繋げて欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [企業システム]	1年	学内のE-mailや、授業の前後に教室にて受けつける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	前期に引き続き後期も、大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高い教材を用いて、臨場感あふれる、生き生きとした表現を習得することを旨とする。中学・高校を通して学んだ英語のスキルを整理し、実生活（日常・職場）において活用できるようにすることを目標とする。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	クラスにおいては、ペアを組んで練習をする等の積極的な参加が期待されることを心してほしい。語学（英語）の学習の場であることを常に念頭に置いて、他の受講者との語らいを楽しんでほしい。すなわち、無気力・無関心・しらけた態度を謹んでクラスに臨むことが期待される。英語が得意な学生も、苦手な学生もいるだろうが、どちらにしても、更なる一歩前進を目指してほしい。

到達目標	1) 日常生活のあらゆる場で使われる英語の①語彙、②表現、③文法、④音声、⑤文化的側面を習得する。 2) 英語を使って自分の考えなどを表現できる。 3) 英語で表現された資料や告知文などを理解できる。 4) 他の人の意見を聞き、時にはアドバイスをしたり、自分の考えを示したりして、協力・共存できるような英語のコミュニケーション能力を高める。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション&テーマに沿ってはがきを書く：『夏休みはどう過ごしましたか』	シラバスの読み合わせ
	2	『夏休みはどう過ごしましたか』	夏休みまつわる英語表現
	3	Unit 13：機内で	アドバイスを求める・提案する
	4	Viva! San Francisco：Chapter 11	Home stay
	5	Unit 14：空港で	出会いの場面まつわる英語表現
	6	Viva! San Francisco：Chapter 12	Offering to help
	7	Unit 15：ホテル	ホテルまつわる英語表現
	8	Viva! San Francisco：Chapter13	Self-introduction
	9	Unit 16：レストランで	外食まつわる英語表現
	10	Viva! San Francisco：Chapter14	Getting advice
	11	Unit 17：ショッピング	買い物まつわる英語表現
	12	Viva! San Francisco：Chapter15	Checking out a book
	13	Unit 18：ベースボール	スポーツまつわる英語表現
	14	Viva! San Francisco：Chapter 11~15および配布教材Unit13~ 18のまとめ	後期前半のまとめ
	15	中間試験	後期前半のまとめ
	16	Viva! San Francisco：Chapter16	Opening a bank account
	17	Unit 19：ミュージカル鑑賞	携帯電話・メールについて
	18	Viva! San Francisco：Chapter17	Sending a package
	19	Unit 20：旅行案内	調べて、クラスで発表する
	20	Viva! San Francisco：Chapter18	Inviting a friend
	21	Unit 21：トラブル・シューティング	クリスマス・カードを書く
	22	Viva! San Francisco：Chapter 19	Buying medicine
	23	Unit 22：体調不良	体調管理まつわる英語表現
	24	配布教材：Christmas Holidayまつわる英会話	冬休みの過ごし方
	25	Unit 23：電話での申込	今年の目標を語る
	26	Viva! San Francisco：Chapter20	Saying good-bye
	27	Unit 24：さよなら、アメリカ！	お別れ会の計画
	28	映画のあらすじを英語でまとめてみよう	物語のあらすじを英語で書く
	29	Viva! San Francisco 16~20および配付教材19~24のまとめ	後期後半のまとめ
30	期末試験	後期後半のまとめ	
31	Unit 19 ~Unit 24のまとめ	試験の解答 & 後期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  参考文献：英語便利辞典（小学館外国語辞典編集部）  テキスト：ハンドアウト資料・教材</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て  ① 3分の1以上欠席すると、単位を取得することはできない。遅刻3回で、欠席1回とみなす。②授業中は他の学生の学習を妨げるような行為を慎む。③ペア・グループを組んでの活動では、積極的に取りくむよう心がける。④授業中、スマホや携帯電話などを使用することを禁じる。⑤辞書を活用する習慣を身につける。⑥質問はおおいに歓迎します。</p>
	<p>評価  1) Unitごとの、ミニ・クイズ（①語彙 ②表現 ③聴き取りなど）・課題：30%  2) 中間・期末テスト：60%  3) クラス・ラボ室での活動：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  英語 Iを通して学んだ知識や、辞書を活用するなどのような、語学を学習するために役立つ習慣等を日常生活で実践するよう心がける。</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [企業システム]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語を話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	9	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	16	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。          「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価          ①課題＝25％、②クイズ＝25％、③中間テスト＝25％、④期末テスト＝25％          最終成績＝(①＋②＋③＋④)×出席率</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。          「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	5	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	6	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	7	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	8	中間テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	9	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	10	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	11	リスニング、スピーチの下書き	スピーチの下書き作成
	12	リスニング、スピーチ準備	スピーチの下書き作成
	13	リスニング、スピーチ準備	スピーチを完成させ練習
	14	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	15	期末テスト (スピーキング&リスニング)	リスニングに慣れる
	16	スモールスピーチ	スピーキングの準備・練習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は、必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじる、コンピューター上で授業と無関係な事をしている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。          「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないようにして下さい。</p>
	<p>評価          ①課題＝25％，②クイズ＝25％，③中間テスト＝25％，④期末テスト＝25％          最終成績＝(①＋②＋③＋④)×出席率</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。          「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり [法律・地行(2年以上)]	2年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動(ペアワークやグループワーク)を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める。	メッセージ 互いを尊重し、共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って授業に参加しよう。出席重視はもちろんですが、積極的に授業へ参加(発言や会話の練習)できることが最も重要です。課題と事前学習(音読・暗唱の練習)ができる学生の受講を期待します。
	到達目標 (1) 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。 (2) 日常生活での情報・説明を聞きとったり、まとまりのある内容を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション(授業の進め方の説明と小テスト)	シラバスの確認
	2	イントロダクション(前期の復習) English As International Language	音読
	3	Summer Vacation (Travel, Event, Meeting, Work and etc., )	Summer Vacation 予習
	4	〃	〃
	5	Giving Advice	Gving Advve 予習
	6	〃	〃
	7	Getting Information	Getting Infromation予習
	8	〃	〃
	9	〃	〃
	10	〃	〃
	11	Comparing & Contrasting	Comparing & Contrasting 予習
	12	〃	〃
	13	〃	〃
	14	〃	〃
	15	Speakingテスト	テスト勉強&映画
	16	Speaking テスト	テスト勉強&映画
	17	Speaking テスト	テスト勉強&映画
	18	Talking about Experiences	Experience 予習
	19	〃	〃
	20	〃	〃
	21	〃	〃
	22	Orientation for Group Project	発表に向けて準備
	23	Orientation for Group Project	音読練習
	24	Presentation	発表練習
	25	Presentation	発表練習
	26	Interviewing	Interviewing 予習
	27	Interviewing	〃
	28	Interviewing	〃
	29	Interviewing	〃
30	テスト対策	テスト勉強	
31	期末テスト(後期の範囲全て)		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          学習記録（ポートフォリオ）、適宜ハンドアウトを配布          参考書・参考資料等については授業で紹介します。</p>
	<p>学びの手立て          ★履修の心構え：ペアワークやグループワーク等が毎回ある為、共同学習に協力的であること。          ★学びを深めるために：授業内容で理解が難しい場合は、直ぐに講師に質問もしくは相談してください。</p>
	<p>評価          ・授業への参加と貢献（ペア・グループワーク）ワークシート提出 40%          ・インタビュー/スピーキング テスト30 %          ・期末(リスニング)テスト 30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          (1) (できれば) 英語Ⅲ・Ⅳ (2) 文献購読やプレゼンテーションなどを学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉 [社文・人福]	1年	授業終了後または研究室（研究室の場合は事前にメールにてアポをとってください。）	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>英語Ⅰの発展教科であるこの授業では、実社会で使える英語力の養成を目指します。海外での諸場面で必要なコミュニケーション能力を伸ばすとともに、英語ネイティブスピーカーなどと沖縄・日本の文化・慣習について話せる異文化コミュニケーション力を養成します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 英語圏における日常・留学生活などの諸場面で英語を用いて意思の疎通ができる</li> <li>* 英語コミュニケーションに必要なルール（文法、語用など）を理解し、使うことができる</li> <li>* 英語を用いて異文化理解を深められる</li> <li>* 沖縄を含む日本の文化慣習について英語で説明できる</li> </ul>	<p>英語でメッセージを発信して、コミュニケーションをはかるうえで必要な知識と自信を培ってほしいと思います。授業では、インタラクティブなアクティビティを中心としたものになりますので、授業への積極的な参加が求められます。英語・日本語両文化をさらに掘り下げて学んでいきましょう！</p> <p>【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	翌週の予習
	2	Viva San Francisco (VSF) Chap 11	翌週の予習
	3	This is Japan (JP) Knowing me	翌週の予習
	4	[VSF] Chap 12	翌週の予習
	5	[JP] My hometown	翌週の予習
	6	[VSF] Chap 13	翌週の予習
	7	[JP] Japanese food	翌週の予習
	8	[VSF] Chap 14	翌週の予習
	9	[JP] Mind your manners	翌週の予習
	10	[VSF] Chap 15	翌週の予習
	11	[JP] Explaining Japanese things	レビュークイズ準備
	12	[VSF] 中間 review	翌週の予習
	13	[JP] The Japanese Language	翌週の予習
	14	[VSF] 中間点検	翌週の予習
	15	[JP] 中間 review	翌週の予習
	16	[VSF] Chap 16	翌週の予習
	17	[JP] 中間点検	翌週の予習
	18	[VSF] Chap 17	翌週の予習
	19	[JP] Visiting temples and shrines	翌週の予習
	20	[VSF] Chap 18	翌週の予習
	21	[JP] Traditional house	翌週の予習
	22	[VSF] Chap 19	翌週の予習
	23	[JP] Special days and events	翌週の予習
	24	[VSF] Chap 20	翌週の予習
	25	[JP] School and college life	翌週の予習
	26	[JP] Famous Japanese people	翌週の予習
	27	[JP] Japanese movies & TV	プレゼン準備
	28	Group presentations 1	プレゼン準備
	29	Group presentations 2	プレゼン準備
30	Group presentations 3	プレゼン準備	
31	Group presentations 4, wrap up	テスト準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*指定教科書：① This is Japan: Your culture, your life (Macmillan Language House - 学内書店にて購入要)</p> <p>② Viva! San Francisco (Macmillan Language House; ラボ室ソフト教材のため、購入不要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 講義への出欠は、評価対象となる(三分の一以上の欠席は、自動的に不可となります)とともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。</li> <li>- インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。</li> <li>- 英語力アップに予習・復習は必要不可欠なものです。予習・復習を行った前提で授業をすすめます。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>1. 授業への参加姿勢 (出欠、アクティビティなどへの積極的な参加) 10% 2. 中間点検 30% 3. Group presentation 20% 4. 期末テスト 40%</p> <p>詳細はUnit outlineに記載し、第1回講義にて配布します。併せて熟読してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを基に、英語III, IVに応用・活用しましょう。</p>

※ポリシーとの関連性 「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、語彙力や文法力にも力を入れ、総合的な基礎英語力向上を目指す。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習する。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指す。</p>	<p>【実務経験】2001年から様々な現場で英語講師をしてきた経験を活かし、様々な場面で使える英語を身につけて欲しいと思います。英語Iで学んだことを活かし、ロールプレイやアクティブラーニングを増やし、自ら考え学習したくなるような授業を目指します！</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。</li> <li>英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。</li> <li>タスクを行うための情報収集・問題解決方法を自ら考え、実行できる。</li> <li>授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。</li> <li>「英語の壁」に遭遇した場合、自分なりに解決方法を考え、モチベーション向上を図ることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & 英語I 復習	英語Iの復習& Unit 8 予習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	3	Viva! San Francisco Ch. 11	Unit 8復習& Viva SF Ch.11復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	5	Viva! San Fransisco Ch. 12	Unit 9予習& Viva SF Ch.12復習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	7	Viva! San Francisco Ch. 13	Unit 9復習& Viva SF Ch.13復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	9	Viva! San Francisco Ch. 14	Unit 10予習& Viva SF Ch.14復
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	11	Viva! San Francisco Ch. 15	Unit 10復習 Viva SF Ch.15復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習 Viva SF 11-15復習
	13	Viva! San Francisco Review Ch. 11-15	Unit 11予習
	14	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	15	Viva! San Francisco Ch. 16	Unit 11復習& Viva SF Ch.16復習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	17	Viva! San Francisco Ch. 17	Unit8-11予習& Viva SF Ch.17復習
	18	Review Unit 8-11	「英語を使う職業について」課題
	19	Viva! San Francisco Ch. 18	Unit 12予習& Viva SF Ch.18復習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	21	Viva! San Francisco Ch. 19	Unit 12復習& Viva SF Ch.19復習
	22	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	23	Viva! San Francisco Review Ch. 20	Unit 13予習& Viva SF Ch. 20復習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13復習&Viva SF Ch.16-20復習
	25	Viva! San Francisco Review Ch. 16-20	Unit 13復習
	26	Unit 13: Here and now	Unit 13復習 Viva SFプレゼン準備
	27	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14予習 Viva SFプレゼン準備
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習 Viva SFプレゼン準備
	29	Viva! San Francisco Presentations	Unit 14復習
	30	Unit 14: It's time to go!	Unit 1-14復習
31	Final Examination 期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Third Edition Level Starter Student Book with Oxford Online Skills：Oxford University Press（朝野書房やアマゾンなどで購入可）前期の英語Ⅰで購入済みなら不要。 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。</li> <li>・ほぼ毎回小テストやクイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
学	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（20%）②中間試験（20%）③期末試験（20%）④課題（20%）⑤クイズ・小テスト・Self Reflection（20%）を総合的に判断して評価する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>今後自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション向上にもなるのでチャレンジしてほしい。また産業情報学科で開講されている「ビジネス英語」や「グローバルオフィスコミュニケーション」などの受講を勧める。異文化や海外に興味のある学生は「グローバルメディアスタディーズ」や「国際理解課題研究Ⅰ、Ⅱ」も受講して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水4・土3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [日文]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、リスニング・スピーキングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	*Subtext : Lesson 8
	3	Unit 7	"
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	"
	5	Unit 7	Lesson 9
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	"
	7	Unit 7	"
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	Lesson 10
	9	Unit 8	"
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	"
	11	Unit 8	Lesson 11
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	"
	13	Unit 9	"
	14	Unit 9	Mid-term exam 準備
	15	Review Unit 7~9	"
	16	Mid-term Examination	
	17	Review Mid-term exam & Unit 10	Lesson 12
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	"
	19	Unit 10	"
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	Lesson 13
	21	Unit 10	"
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	"
	23	Unit 11	Lesson 14
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	"
	25	Unit 11	"
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	Lesson 15
	27	Unit 11 & 12	"
	28	Unit 12	"
	29	Unit 12	Final exam 準備
30	Review Unit 10~12 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストおよびサブテキストは、第一回目の講義で通知する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。</li> <li>2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20%      期末テスト：20%      クイズ：30%          提出物：10%      出席：10%          講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          英語 III &amp; 英語 IV 「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美 [経済]	1年	メールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、英語のリスニング・スピーキングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 7~12)	
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco)	Sub text, Unit 7
	3	Unit 7	" "
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	" "
	5	Unit 7	" "
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 8
	7	Unit 7	" "
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	" "
	9	Unit 8	" "
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	Sub text, Unit 9
	11	Unit 8	" "
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	" "
	13	Unit 9	" "
	14	Unit 9	Mid-term exam 準備
	15	Unit 9	" "
	16	Mid-term Examination	
	17	Unit 10	Sub text, Unit 10
	18	Chapter 16, Viva! San Francisco	" "
	19	Unit 10	" "
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	" "
	21	Unit 10	Sub text, Unit 11
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	" "
	23	Unit 11	" "
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	" "
	25	Unit 11	Sub text, Unit 12
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	" "
	27	Unit 12	" "
	28	Unit 12	" "
	29	Unit 12	Final exam 準備
30	Review Unit 10-12 and Final Examination		
31	Review Final Examination & Make-up Exam		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストおよびサブテキストは、第一回目の講義で通知する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>15分までの遅刻は、三回で一回の欠席とみなす。30分までの遅刻は、二回で一回の欠席とみなす。</li> <li>講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>中間テスト：20%      期末テスト：20%      クイズ：30%          提出物：10%      出席：10%          講義への貢献度：10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 III, 英語 IV「上位科目」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジョーン ターバート [英米]	1年	Joan Tarbert Uezu ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills. Students will learn new vocabulary and how to use the vocabulary they already know in daily conversation. They will also study grammar as it is used in daily conversation. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to practice speaking in English. In general, I will only speak in English in class. Japanese will sometimes be used on quizzes, but I will do what I can to help students who are not Japanese.</p>
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally.</li> <li>• You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly.</li> <li>• You will be able to use the vocabulary and grammar you learn in daily conversation.</li> <li>• You will be able to give a short presentation in English.</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Summer vacation activity	Review classroom English
	2	Unit 8 (Review)	Study for quiz
	3	Quiz / Correct common mistakes	Finish correcting mistakes
	4	Unit 9 (Time)	Review time
	5	Unit 9 (Time)	Study for quiz
	6	Quiz / Unit 10 (Numbers)	p. 70-73
	7	Unit 10 (Numbers)	Study for quiz
	8	Quiz / Unit 10 (Numbers)	Population questions
	9	Numbers	Study for quiz
	10	Quiz / Unit 11 (Comparative)	p. 78-81
	11	Unit 11 (Comparative)	Study for quiz
	12	Quiz / Unit 12 (Superlative)	Comparative handout
	13	Unit 12 (Superlative)	Wh-questions handout
	14	How often	Write sentences
	15	How often	Study for quiz
	16	Quiz / Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	17	Quiz / Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	18	Quiz / Unit 14 (Future)	p. 104
	19	Unit 14 (Future)	p. 105
	20	Unit 14 (Future)	Prepare conversation
	21	Eating out	Food questionnaire
	22	New Year's resolutions	Resolutions handout
	23	Christmas/New Year	Christmas/New Year handout
	24	Christmas activity	Winter vacation homework
	25	Winter vacation activity	Prepare for interview
	26	Work on speech/interview	Work on speech/interview
	27	Review	Prepare for speech
	28	Speech	Prepare for interview
	29	Interview test	Review for exam
30	Final exam	Review for listening test	
31	Listening test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English II will cover the second half of the text, <i>On Your Marks!</i> (Intercom Press). In addition, the instructor will provide handouts. Please buy an A4 file for this class. Also, students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 30 minutes late to class= 1 absence / Being late twice= 1 absence</li> <li>• Less than 66% attendance= 不可</li> <li>• Homework must be done on time. Late homework=0</li> <li>• If you are absent when homework is due, please hand it in at the beginning of the next class.</li> <li>• If you are absent when there is a quiz, there will be no makeup quiz.</li> <li>• Students should use English in class as much as possible.</li> <li>• Cell phones cannot be used in class. They should be set to silent mode and put away during class.</li> <li>• Students should be quiet when the instructor is speaking.</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes/homework (60%)  Interview test (20%)  Class participation (10%)  Presentation (10%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in classes such as Oral Communication III.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 中学校教諭としての経験を活かし、英語Ⅰでの指導内容を踏まえ、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit139の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 15の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎力養成 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25(期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材e-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②インタビューテスト (20%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [社文・人福]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 中学校教諭としての経験を活かし、英語Ⅰでの指導内容を踏まえ、基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ英語表現 (12) の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ英語表現 (13) の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ (1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ英語表現 (14) の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ英語表現 (15) の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ (2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ英語表現 (16) の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ (3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ英語表現 (17) の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19 (中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ英語表現 (18) の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ英語表現 (19) の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ英語表現 (20) の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現 (1)	役立つ英語表現 (21) の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現 (2)	役立つ英語表現 (22) の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	インタビューテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	インタビューテスト	同上
30	英語の基礎 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②インタビューテスト (20%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (35%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子 [法律・地行]	1年	akooshiro@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰをさらに発展させ、英語コミュニケーションの力を日常の多くの場面で自ずから発信、受容し英語を使用できるようにするのがねらいである。よって、問題練習だけでなくさまざまな活動を通して学習者がその習得を実現かつ気づいて自信をつけるようにする。	メッセージ 英語Ⅰからさらに上の段階で、英語を発展的に口頭でやり取りができるように基礎力強化とともにともに学んでいきましょう！ 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 日常生活で英語コミュニケーションができる	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション 英語Ⅰ振り返り学習他	英語Ⅱ概要理解と英語Ⅰ復習
	2	英語基礎力養成10とCALL教材学習11	ワークシート等での復習1と予習1
	3	英語基礎力養成11とCALL教材学習12	ワークシート等での復習2と予習2
	4	英語基礎力養成12とCALL教材学習13	ワークシート等での復習3と予習3
	5	英語基礎力養成13とCALL教材学習14	ワークシート等での復習4と予習4
	6	英語基礎力養成14とCALL教材学習15	自己紹介練習とワークシート復習5
	7	中間テスト範囲振り返り学習 他	中間テスト準備
	8	中間テスト と 振り返り	予習5
	9	英語基礎力養成15 インタビュー準備1	ワークシート等での復習6他
	10	インタビュー準備2 Activity	インタビュー自己学習と準備
	11	英語基礎力養成16とCALL教材学習17	ワークシート等での復習8と予習8
	12	英語基礎力養成16とCALL教材学習17	ワークシート等での復習9と予習9
	13	英語基礎力養成18とCALL教材学19	ワークシート等での復10と予習10
	14	英語基礎力養成19とCALL教材学習20	ワークシート等での復習10
15	期末テスト範囲の振り返り学習 と 英語Activity	期末テスト準備	
16	期末テストと英語Ⅰ学習内容振り返り	期末テストと英語Ⅰの振り返り	
	テキスト・参考文献・資料など 講義オリエンテーションで指定テキストを紹介し、購入してください。また英語を自分で調べる活動が多くあります。英語辞書（電子辞書でもよい）を活用してください。なお、必要に応じて講師が参考資料やワークシートを配布し講義で用います。なくさないようにしてください。		
	学びの手立て 英語Ⅱは講義と演習の混合です。その点を念頭に、お休みをせず、継続して学んでください。英語の理解を促す練習問題とともに、実践的なAcitivity(成績評価にも入る)も随意取り入れて本科目はすすみます。積極的に取り組んで自分の英語力、コミュニケーションツールの英語をみにつけてください。		
	評価 定期テスト40%、CALL教材学習30%、Acitivity20%、インタビュー10% を合計し、それから欠席や遅刻、態度不良、提出物おくれ等は減点した点数が評価となります。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 次は、英語リーディングやライティングでの力を養成する英語Ⅲ・Ⅳで学ぶことをお勧めします。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の dictation を行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法・異文化理解に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、pair/group に分かれて自己表現活動に取り組みます。	メッセージ 自分の英語を駆使して、表現する楽しさを味わおう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 sentence-level の英文を即座に reproduce できる。 日常生活に関わる事柄を discourse-level で表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	syllabus の熟読
	2	Worksheet 1	quiz予習, 課題学習
	3	Worksheet 2	quiz予習, 課題学習
	4	Worksheet 3	quiz予習, 課題学習
	5	Worksheet 4	quiz予習, 課題学習
	6	Worksheet 5	quiz予習, 課題学習
	7	Worksheet 6	quiz予習, 課題学習
	8	Worksheet 7	quiz予習, 課題学習
	9	Worksheet 8	quiz予習, 課題学習
	10	Worksheet 9	quiz予習, 課題学習
	11	Worksheet 10	quiz予習, 課題学習
	12	Worksheet 11	quiz予習, 課題学習
	13	Worksheet 12	quiz予習, 課題学習
	14	Worksheet 13	quiz予習, 課題学習
	15	Review (worksheets 1-13)	worksheets 総復習
	16	Worksheet 14	quiz予習, 課題学習
	17	Worksheet 15	quiz予習, 課題学習
	18	Worksheet 16	quiz予習, 課題学習
	19	Worksheet 17	quiz予習, 課題学習
	20	Worksheet 18	quiz予習, 課題学習
	21	Worksheet 19	quiz予習, 課題学習
	22	Worksheet 20	quiz予習, 課題学習
	23	Worksheet 21	quiz予習, 課題学習
	24	Worksheet 22	quiz予習, 課題学習
	25	Worksheet 23	quiz予習, 課題学習
	26	Worksheet 24	quiz予習, 課題学習
	27	Worksheet 25	quiz予習, 課題学習
	28	Worksheet 26	quiz予習, 課題学習
	29	Worksheet 27	quiz予習, 課題学習
30	Review (worksheets 14-27)	worksheets 総復習	
31	Final	packet 提出	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義内で配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 複数の辞書を活用して答えを導きだそう。 English-English dictionary を役立てる。</p>
	<p>評価 ① 授業参加度 20% ② quick response / homework 30% ③ 期末試験 30% ④ 課題提出 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 Oral Communication II と関連づける。 English III につなげる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>“普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監督)」の手法を用いて、さらに日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室でもさらに、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽にITを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。”</p>	<p>英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。やり方は前期同様。Learning Management System (LMS)にアクセスして予習・復習を行う。欠席したり教材プリントを紛失したりした場合も、そこから自分でプリントアウトしてテストなどに備える。 【プレースメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検2級程度までの英語力を身につけることができる。</li> <li>・海外のホームステイなど、いろんな場面で困らない英語表現が身につく。</li> <li>・日本人の苦手な発音を克服する。</li> <li>・英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。</li> <li>・e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。</li> <li>・英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる</li> </ul>
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンスⅠ_普通教室での講義について	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンスⅡ_ CALL教室での講義について	CALLやLMSの活用
	3	つぶやきS1を演習。座席確認。ペア練習の心得。洋楽合唱。	LMSを使って学習する
	4	**Viva Ch.11 & 洋楽#01を演習。洋楽合唱。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS9を演習。S1を小テスト。	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch.12 & 洋楽#02を演習。洋楽#01を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS16を演習。S9を小テスト。	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch.13、洋楽#03を演習。洋楽#02を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS23を演習。S16を小テスト。	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch.14、洋楽#04を演習。洋楽#03を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS24を演習。S23を小テスト。	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch.15、洋楽#05を演習。洋楽#04を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義Ⅰ@普通教室 S24を小テスト。	LMSを使って学習する
	14	特別講義Ⅰ@CALL教室	Vivaの練習問題をLMSで解く
	15	追試セッションⅠ：前半つぶやきテスト5回分・・・S1, S9, S16, S23, S24	LMSを使って学習する
	16	追試セッションⅠ：前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	Vivaの練習問題をLMSで解く
	17	つぶやきS29を演習	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch.16、洋楽#06を演習。中間成績発表。洋楽合唱。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS32を演習。S29を小テスト。	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch.17、洋楽#07を演習。洋楽#06を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS37を演習。S32を小テスト。	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch.18、洋楽#08を演習。洋楽#07を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS43を演習。S37を小テスト。	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch.19、洋楽#09を演習。洋楽#08を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	特別講義Ⅱ@普通教室。S43を小テスト。採点済返却。成績集計・確認。	LMSを使って学習する
	26	Viva Ch.20、洋楽#10を演習。洋楽#09を小テスト。	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	追試セッションⅡ：後半つぶやきテスト5回分・S26, S29, S32, S37, S43	LMSを使って学習する
	28	特別講義Ⅱ@CALL教室：実力テスト、授業評価アンケートの実施	Vivaの練習問題をLMSで解く
	29	特別講義Ⅲ：総合演習 + 洋楽合唱 + 最終成績発表	LMSを使って学習する
30	追試セッションⅡ：後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#09	Vivaの練習問題をLMSで解く	
31	特別講義Ⅲ：総合演習 + 追試調整 + 最終成績調整 / 補講	LMSを使って学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材プリントを配布する。さらにそれらの教材すべてをLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>”e-learning教材を学習する際には、必ず”microsoft internet explorer”からLMSに入ること。間違ってほかのブラウザから入って学習すると、成績記録が残らないので注意する。”Viva Sanfrancisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の”Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違っただけは何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。”</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト(つぶやき英語)25%、小テスト(洋楽)35%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、実力テスト10%、授業参加度10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースの履修後は、本学のカリキュラムに組み込まれた英語講読系やその他上級のコース「英語Ⅳ・Ⅵ・Ⅷ」などを履修し、さらに発展させることを希望する。また扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語の復習が一生涯できる。是非その機会を生かし、またカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、一生涯楽しく英語を学んでほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
また、サブテキストを用いて法律に関連のある用語をまなぶ。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サブテキストの基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。グループ・プレゼンテーションでは英語でのプレゼンを経験し、慣れる。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 法律関連の基礎的な用語を英語で認知できる。3. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	*Funny Laws : Chapter 7	予習テストの準備 7課
	3	Viva! SF : Chapter 11	11課の復習
	4	Funny Laws : Chapter 7	ディスカッションの準備
	5	Viva! SF : Chapter 12	12課の復習
	6	Funny Laws : Chapter 8	予習テストの準備 8課
	7	Viva! SF : Chapter 13	13課の復習
	8	Funny Laws : Chapter 8	ディスカッションの準備
	9	Viva! SF : Chapter 14	14課の復習
	10	Funny Laws : Chapter 9	予習テストの準備 9課
	11	Viva! SF : Chapter 15	15課の復習
	12	Funny Laws : Chapter 9	ディスカッションの準備
	13	Viva! SF : Review Chapter 11-15	11-15課の復習
	14	Mid-term Examination : Viva SF Chapter 11-15	中間試験の準備
	15	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	16	Special Program	課題の関連事項リサーチ
	17	Funny Laws : Chapter 10	予習テストの準備 10
	18	Viva! SF : Chapter 16	16課の復習
	19	Funny Laws : Chapter 10	ディスカッションの準備
	20	Viva! SF : Chapter 17	17課の復習
	21	Funny Laws : Chapter 11	予習テストの準備 11
	22	Viva! SF : Chapter 18	18課の復習
	23	Funny Laws : Chapter 11	ディスカッションの準備
	24	Viva! SF : Chapter 19	19課の復習
	25	Funny Laws : Chapter 12	予習テストの準備 12
	26	Viva! SF : Chapter 19	19課の復習
	27	Funny Laws : Chapter 12	ディスカッションの準備
	28	Viva! SF : Chapter 20	20課の復習
	29	Funny Laws : Review	7-12課の重要事項確認
30	Viva! SF : Review	11-16課のまとめ	
31	Final Examination : Viva! Chapter 6-10	期末試験の準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>副教材用教科書：Funny Laws in the World（南雲堂）2015 1700円 主教材のViva! San Franciscoについては、教科書の購入は必要ない。LMSなどを通じての自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。Funny Lawsの予習テストは各チャプター毎に行うので、準備をすること。Vivaについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によっては、シラバスを変更する可能性があります。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>Mid-term and Final Examination：25% × 2 = 50%      Group Presentation：20%      Prep Quiz：30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

※ポリシーとの関連性

英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
また、BBCの映像教材を使用して世界各地の地域事情を学ぶ。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [経済・地環・企シ・産情(2年以上)]	2年	shinjotomoko@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、英語学習の基礎を確立する。ラボ室ではビデオ教材の使用、ペアワークでの会話練習などを通じてコミュニケーション能力を高める。3分間スピーチではパブリックスピーチの基礎を習得する。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外の自主学習を充実させること。授業中のスマホ使用は厳禁。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 大勢の人の前で英語で自己表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	リハスをきちんと確認する
	2	BBC WPD : Unit 10 Bali's Temples	単語予習 10課
	3	BBC WPD : Unit 10 Bali's Temples	10課の復習・単語テスト準備
	4	Special Program:Film	関連事項のリサーチ
	5	Special Program:Film	コメントのまとめ
	6	Test: Unit 10, Comments on the Film	10課テストの準備
	7	BBC WPD : Unit 11 Car Recycling	単語予習 11課
	8	BBC WPD : Unit 11 Car Recycling	11課の復習・単語テスト準備
	9	BBC WPD : Unit 12 Hi-Tech Farming	単語予習 12課
	10	BBC WPD : Unit 12 Hi-Tech Farming	12課の復習・単語テスト準備
	11	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	12	Special Program: Film	コメントのまとめ
	13	Test: Unit 11, 12 Comments on the Film	11, 12課テストの準備
	14	BBC WPD : Unit 13 Honolulu	単語予習 13課
	15	BBC WPD : Unit 13 Honolulu	13課の復習・単語テストの準備
	16	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	17	Special Program: Film	コメントのまとめ
	18	Test: Unit 13, Comments on the Film	13課テストの準備
	19	BBC WPD : Unit 14 Life on Volcanoes	単語予習 14課
	20	BBC WPD : Unit 14 Life on Volcanoes	14課の復習・単語テストの準備
	21	Special Program: Film	関連事項のリサーチ
	22	Special Program: Film	コメントのまとめ
	23	Test: Unit 14	14課テストの準備
	24	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	25	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	26	Group Presentation	プレゼンテーションの準備
	27	Memorization	会話暗記の練習
	28	Memorization	会話暗記の練習
29	Memorization	会話暗記の練習	
30	General Review	総復習	
31	Conclusion	総復習	

	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：「BBC World Profile on DVD」 (南雲堂) 2014年 2500円</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て 語学科目は教室でのペアワークやグループワークを通じてのコミュニケーション能力の強化が重視されるので、まず欠席をしないこと。出欠の確認は毎回行うので、遅刻・欠席する場合は必ず事前に連絡すること。やむを得ず連絡ができなかった場合は、後日欠席届を提出する。単語テストが各課毎にあるので、毎回準備をすること。特別課題の映画に関しては、映画評と関連事項のリサーチ、コメントを必須とする。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。</p>
	<p>評価 Tests: 50% Vocabulary Quiz: 20% Group Presentation: 10% Comments on the Films: 20%</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目 英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュエヨル デビット [社文・人福]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
到達目標	Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"	
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr.Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p> <p>Grading system*Attendance: 25%, Test: 25% Homework:25% Class Partocopation; 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 ジュエヨル デビット [企業システム]	1年	Itokazu_david@yahoo.com 090-3797-8665	

学びの準備	ねらい The purpose of the English Class is to learn the basic English Grammar and basic English Conversation in order to communicate globally among the community of nations. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	メッセージ Learning English as a second language will give students a tremendous advantages in terms of personal growth and career opportunist date, there are about 122 countries in the world that can speak English. In other words, by just learning and acquiring just one additional language: English could make students "global citizens". Japanese language + English
	到達目標 Students should continue learning English and develop the skill for global communication. The English skill could be utilized to help manage Japanese business abroad. It could contribute to Japanese multinational corporations in Japan with international market. Aside from the overseas opportunity, Japanese students with English as second language could apply jobs in international organizations funded by the Japanese government such as WHO, UN, and Asian Development Bank to name a few. The English knowledge acquired by the students could support revive the economy of Japan and contribute to the global economy.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	Dialogue Introduction: First day of Class; Countable Nouns; When to use "a" and "an"	Study Introduction Dialogue
	2	Personal Pronouns; Simple Present Tense; Verb "To Be"; Present Cont.Tense; Rules for	Get a partner and practice
	3	Helping Verbs: Can and Do; Verbs of Emotion	Prepare for Summary Test
	4	Unit 1 Summary Test	Study second Dialogue with a
	5	Dialogue: Meeting with Classmate's Mother; Uncountable Nouns; Countable Nouns; Unit	Choose an interesting News on
	6	Verb "To Want"; Use of "Would Like"; Some vs. Any; Some more vs. Any more	Local News, National or
	7	Unit 2 Summary Test	Based on your Major Subject or
	8	Dialogue: Talking to Mon after School	Try to give us the Importance
	9	Adjectives: Used with Verb "To Get"; Comparative Adjectives; Comparisons using "than"	Research on "Why Study
	10	Superlatives Adjectives; Adjectives that are Exceptions	Make a report: Why Study
	11	Unit 3 Summary Test	Continue Discussion
	12	Dialogue: A New Student	How to Make English as a
	13	Simple Past Tense of Regular and Irregular Verbs, Verbs "To Be"	Health and Aging Society
	14	Past Continuous Tense; Simple Past; Use of "ago"; Use vs Used to; Have vs Have to	Economic Impact to Society
	15	Unit 4 Summary Test	Economic Impact to Internat
	16	Verb + Intinitive; Pronouns; Prepositions	News that you Can Use on:
	17	Prepositions + Pronouns; Adjective / Verb + Preposition	Economics, Education, Health and
	18	Unit 5 Summary Test	and Life Expectancy
	19	Dialogue: Talking to a Friend	Report and Discussion
	20	Adjectives + Prepositions; Adverbs vs Adjectives; Adverbs of Frequency; Well vs Good	Memorize a Dialogue for
	21	Unit 6 Summary Test	Continue for Final Oral
	22	Dialogue: Nice Surprise	Preparation for the Final
	23	Possessive Pronouns; Absolute Possessive Pronouns, Commands with "Don't/Be/Let's"	End-Preparation for Final Exam
	24	Commands with "Start/Stop	"
	25	Future Tense; Helping Verb "will"; Think + Will	"
	26	Unit 7 Summary Test	"
	27	Passive Voice; Past Participles; Passive Voice: Present/Past/Future Tense; Passive	"
	28	Use of "Should and Ought to"	"
	29	Unit 8 Summary Test	"
	30	Dialogue: Missing Home; Song: Springtime is Here	"
31	Song: Summer Plans	"	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers By Beni Fogel and Dr. Gary Rasof World English (National Geographic)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Students are expected to come on time. Three 15 minutes late is equivalent to one absence. No talking during class hours except class discussion.</p>
	<p>評価</p> <p>Grading system*Attendance: 25%, Test: 25% Homework:25% Class Partocopation; 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Continue English II</p>

※ポリシーとの関連性 読む・書く・聞く・話すの4技能のうち、主に「聞く」「話す」を中心に、簡単な日常会話で聞き手と話し手が双方向に理解できる。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小橋川 里美 [地域環境]	1年	E-mail: ptt016@okiu.ac.jp もしくは授業終了後、教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	ペアを組んで英語でquestion & answerの練習を多く行い、「聞く」「話す」を中心に、基礎英会話程度の使える英語を身につける。また基礎的な文法と発音、語彙力にも力を入れる。さらにDVDを観て米国の文化に触れる機会を持つ。学期最後に一人ずつ英語で2分間のスピーチをクラスの前でやってもらう(テーマは自由)。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	語学学習では反復練習と、自ら考えて話す練習が必要です。ペアの会話練習では恥ずかしがらずに必ず声を出して練習すること！予習→授業でのペアレッスン→練習問題などの反復練習で英語を身につける→unit毎の小テストで理解度を確認。宿題(復習)も成績に反映される。集大成としての英語のスピーチは学生同士で採点評価し、優秀者を決定する。普段からそれを意識して勉強して下さい。
到達目標	基礎的な日常会話のやり取りや自分の言いたいことを英語で表現できる。発音がよくなり語彙力も増え、基礎的な文法も身につけ、主語、動詞のある完全な英文で質問したり、答えたりすることができる。自分の伝えたいことを的確に英文で表現し、口頭でクラスの前で2分間発表することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 5 song, vocabulary、[文法：感覚動詞、動詞+不定詞 / ~ing] *教科書持参	Unit 5 予習、homework
	2	Unit 5 [文法：代名詞]、会話練習、文法問題	take-home test
	3	Unit 5 挿絵を見て、listening comprehension	take-home test
	4	Unit 5 文法問題、読解	summary tests
	5	Unit 5 Review unit 5、unit 5 小テスト	Unit 5 復習、Unit 6 予習
	6	Unit 6 song, vocabulary、[文法：形容詞+前置詞]、会話練習	homework
	7	Unit 6 [文法：形容詞、副詞]、会話練習、文法問題	take-home test
	8	Unit 6 文法問題、読解	take-home test
	9	Unit 6 挿絵を見て、listening comprehension	summary tests
	10	Unit 6 Review unit 6、unit 6 小テスト	Unit 6 復習、Unit 7 予習
	11	Unit 7 song, vocabulary、[文法：所有代名詞、命令形]、会話練習	homework
	12	Unit 7 [文法：未来形]、会話練習、文法問題	take-home test
	13	Unit 7 挿絵を見て、listening comprehension	summary tests
	14	Unit 7 Review unit 7、unit 7 小テスト	Unit 7 復習、Unit 8 予習
	15	Unit 8 song, vocabulary、[文法：受動態、助動詞]、会話練習	homework
	16	Unit 8 [文法：受動態 part 2]、挿絵を見て、listening comprehension	take-home test
	17	Unit 8 文法問題、読解	summary tests
	18	Unit 8 Review unit 8、unit 8 小テスト	Unit 8 復習、Unit 9 予習
	19	Unit 9 song, vocabulary、[文法：“the”の使い方、“if”節]、会話練習	homework
	20	American culture (DVD)	take-home test
	21	Unit 9 [文法：動詞 make の使い方]、会話練習、文法問題	次回の予習
	22	Unit 9 挿絵を見て、listening comprehension	summary tests
	23	Unit 9 Review unit 9、unit 9 小テスト	Unit 9 復習、Unit 10 予習
	24	Unit 10 song, vocabulary、[文法：現在完了形、現在完了進行形]、会話練習	homework
	25	Unit 10 [文法：“ever”, “never”, “since”などの使い方]、会話練習、文法問題	take-home test
	26	Unit 10 Review unit 10、unit 10 小テスト	スピーチのテーマを決める
	27	Placement test	スピーチの内容を英語で書く
	28	preparation of speech: 英文下書きの校正→覚えるまで何度も練習	覚えるまで口頭練習、英文原稿作成
29	スピーチ(1) 聞き手は審査員として発表内容と英語力の採点を行う	覚えるまで口頭練習、英文原稿作成	
30	スピーチ(2) 聞き手は審査員として発表内容と英語力の採点を行う	今学期の自己評価	
31	スピーチの結果と表彰式、今学期のフィードバック	今学期の振り返り	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers (前期英語Iで使用したテキストと同じ)          (Red Bird Books Publishing. Beni Fogel, Dr. Cary Rasof)          *講義初日から使用します! 忘れずに持ってきてください。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>&lt;履修の心構え&gt;講義中の私語・携帯/スマホの使用を堅く禁ずる。電子辞書はOK。毎回、出席を確認し、遅刻3回で1回の欠課とみなします。欠席が10回になると単位は与えません。&lt;学びを深めるために&gt;講義前に単語や基本的な表現などは調べて、練習問題もやっておくこと(予習)。英語は毎日少しずつ学習することが言語能力を高めることにつながるので、宿題(復習)も必ずやること。それが成績に反映します。理解度を確認するためユニット毎にテストを実施。2分間の英語スピーチで自分の力が出せるよう、普段から懸命に勉強して下さい。*上記の授業計画は進捗状況により変更する場合があります。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト(ユニット毎): 60%          英語によるスピーチ(一人ずつ): 30%          授業への貢献度: 10%</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>目標を掲げて英検やTOEICなどを受験するのもよいと思います。</p>

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。                  2) 基本語1,000~2,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。                  3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。                  4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場真紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1／3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試 験 50%</li> <li>・ 小テスト 30%</li> <li>・ 発 表 10%</li> <li>・ 平 常 点 10%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Ⅳ（後期開講クラス）の受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。”</li> </ol>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科 (全学年)]	1年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では日常会話の表現を覚え、「読む」活動では400語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活レベルの会話ができる。</li> <li>状況に応じた表現を使用できる。</li> <li>中級レベルの語が理解できる。</li> <li>読解のコツを活用できる。</li> <li>中級レベルの文章を理解できる。</li> <li>中級レベルの英文法が理解できる。</li> <li>英文の基本構成が理解できる。</li> <li>平易な英文が書ける。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit 1: A World of Color	教科書Unit1を事前に読む
	3	Unit 1 & Unit 2: The Olympics	教科書Unit1&2を事前に読む
	4	LMS Orientation & Unit 2	教科書Unit2を読む
	5	Unit 1 Quiz & Unit 3: Power Foods	教科書Unit3を事前に読む
	6	Unit 2 Quiz & Unit 3	教科書Unit3を読む
	7	Unit 3 Quiz & Unit 4: With a Little Help from Animals	教科書Unit4を事前に読む
	8	Unit 4	教科書Unit4を読む
	9	Unit 4 Quiz & Unit 5: You Know My Name	教科書Unit5を事前に読む
	10	Unit 5	教科書Unit5 を読む
	11	Unit 5 Quiz & Unit 6: The Quest for Beauty	教科書Unit6を事前に読む
	12	Watching a DVD(Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	13	Watching a DVD (Writing an essay) & Unit 6	DVDに関連した資料チェック
	14	Unit 6 Quiz & Unit 7: Social Networking	教科書Unit7を事前に読む
	15	Unit 7 & Preparation for the Mid-term Exam	教科書Unit7を読む
	16	Mid-term exam (Unit1-7)	試験対策をする
	17	中間試験返却 & Unit 8: Coming of Age	教科書Unit8を事前に読む
	18	Unit 8	教科書Unit8を読む
	19	Unit 8 Quiz & Unit 9: Hidden Messages	教科書Unit9を事前に読む
	20	Unit 9	教科書Unit9を読む
	21	Unit 9 Quiz & Unit 10: Boys and Girls	教科書Unit10を事前に読む
	22	Unit 10	教科書Unit10を読む
	23	Unit 10 Quiz & Unit 11: The Art of Monet	教科書Unit11を事前に読む
	24	Unit 11	教科書Unit11を読む
	25	Unit 11 Quiz & Unit 12: Extreme Sports	教科書Unit12を事前に読む
	26	Unit 12	教科書Unit12を読む
	27	Unit 12 Quiz & Unit 13: Life of an Astronaut	教科書Unit13を事前に読む
	28	Unit 13	教科書Unit13を読む
	29	Unit 13 Quiz & Unit 14: Cycling-friendly Cities	教科書Unit 14 を事前に読む
30	Unit 14 & Preparation for the final exam	期末試験対策をする	
31	Fianl Exam (期末試験) Unit 8-14	期末試験対策をする	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 3 (2018年) 佐藤明彦 / Valerie Tidwell 成美堂 2,000円 (税込:2,160円) 参考文献: プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上(このクラスは10回以上)を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 教室では携帯電話の電源を切ることを。</li> <li>6. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30%(宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上(このクラスは10回以上)を欠席すると、大学の規定により成績評価は「不可」となります。 20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力(話す、読む、書く、聞く)の習得を目指し、さらなる英語の運用能力(特にリーディングとライティング)の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	総合的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に「話す」、「読む」、「書く」、「聞く」事に関連した様々な形での学習を行う。「話す」活動では、日常会話の表現を覚え、「読む」活動では400語程度の英文の精読をする。また「書く」事に関しては文法・表現を学ぶ活動をする。さらに「聞く」事に関しては本文のリスニング等により英語の音声に慣れていく。	皆さんの中には、英語が好き、嫌い、どちらでもない。また、英語が得意、苦手な人もいます。英語が好き、得意な方々はそれをどんどん伸ばしていきましょう。苦手意識のある方はその苦手意識をちょっと側に置いてみてください。一緒に英語に触れ、使い、そして少しでも英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活レベルの会話ができる。</li> <li>状況に応じた表現を使用できる。</li> <li>中級レベルの語が理解できる。</li> <li>読解のコツを活用できる。</li> <li>中級レベルの文章を理解できる。</li> <li>中級レベルの英文法が理解できる。</li> <li>英文の基本構成が理解できる。</li> <li>平易な英文が書ける。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit 1 A Word of Color	教科書Unit1を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2: The Olympics	教科書Unit1&2を事前に読む
	4	LMS Orientation & Unit 2	教科書Unit2を読む
	5	Unit 1 Quiz & Unit 3: Power Foods	教科書Unit3を事前に読む
	6	Unit 2 Quiz & Unit 3	教科書Unit3を事前に読む
	7	Unit 3 Quiz & Unit 4: With a Little Help from Animals	教科書Unit4を事前に読む
	8	Unit 4	教科書Unit4を読む
	9	Unit 4 Quiz & Unit 5 : You Know My Name	教科書Unit5を事前に読む
	10	Unit 5	教科書Unit5を読む
	11	Unit 5 Quiz & Unit 6: The Quest for Beauty	教科書Unit6を事前に読む
	12	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	13	Watching a DVD (Writing an essay) & Unit 6	DVDに関連した資料チェック
	14	Unit 6 Quiz & Unit 7: Social Networking	教科書Unit7を事前に読む
	15	Unit 7 & Preparation for the Mid-term Exam	教科書Unit7を読む
	16	Mid-term exam (Unit1-7)	中間試験対策をする
	17	中間試験返却&Unit 8: Coming of Age	教科書Unit8を事前に読む
	18	Unit 8	教科書Unit8を読む
	19	Unit 8 Quiz & Unit 9: Hidden Messages	教科書Unit9を事前に読む
	20	Unit 9	教科書Unit9を読む
	21	Unit 9 Quiz & Unit 10: Boys and Girls	教科書Unit10を事前に読む
	22	Unit 10	教科書Unit10を読む
	23	Unit 10 Quiz & Unit 11: The Art of Monet	教科書Unit11を事前に読む
	24	Unit 11	教科書Unit11を読む
	25	Unit 11 Quiz & Unit 12: Extreme Sports	教科書Unit12を事前に読む
	26	Unit 12	教科書Unit12を読む
	27	Unit 12 Quiz & Unit 13: Life of an Astronaut	教科書Unit13を事前に読む
	28	Unit 13	教科書Unit13を読む
	29	Unit 13 Quiz & Unit 14: Cycling-friendly Cities	教科書Unit14を事前に読む
30	Unit 14 & Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Unit 8-14	期末試験対策をする	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 3 (2018年) 佐藤明彦 / Valerie Tidwell 成美堂 2,000円 (税込: 2,160円) 参考文献: プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上 (このクラスは10回以上) を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 教室では携帯電話の電源を切ることを。</li> <li>6. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30% (宿題・小テスト・レポート・授業への参加度)、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。 総授業時数の3分の1以上 (このクラスは10回以上) を欠席すると、大学の規定により成績評価は「不可」となります。 20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力 (話す、読む、書く、聞く) の習得を目指し、さらなる英語の運用能力 (特にリーディングとライティング) の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け；musakaori8@gmail.com	

学びの準備	ねらい 本講義においては、法律・地域行政を学ぶ学生を対象に、世界各地で起こっている様々な出来事を通じてその問題を考えながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。特に社会問題、歴史、カルチャー等の様々な現代の話題に触れながらリーディングスキルを磨きます。さらに、本文中の重要構文を覚えながら、自分の伝えたいことを英語で表現できるようライティングスキルを学びます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語長文を正しく読み取ることができる。②自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	ガイダンス：文法基礎 サイトトランスレーション・スラッシュリーディングについて	
	3	UNIT1 Japan: Unusual Rental Universe—You can Even Rent a Famil	UNIT 予習および復習
	4	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	5	UNIT2 Is Coffee the Secret to a Longer Life	UNIT 予習および復習
	6	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	7	UNIT3 Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	UNIT 予習および復習
	8	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	9	UNIT4 Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Ye	UNIT 予習および復習
	10	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	11	UNIT5 Your Smartphone is Making You a Workplace Slacke	UNIT 予習および復習
	12	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	13	UNIT6 Do Happy People Live Long?	UNIT 予習および復習
	14	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	15	UNIT7 Selling Charit	UNIT 予習および復習
	16	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	17	UNIT8 The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer’s Patients’ Memories	UNIT 予習および復習
	18	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	19	UNIT9 A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	UNIT 予習および復習
	20	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	21	UNIT10 How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	UNIT 予習および復習
	22	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	23	UNIT11 True Meaning of Christmas Found in Family’s Magical Reunion	UNIT 予習および復習
	24	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	25	UNIT12 The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	UNIT 予習および復習
	26	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	27	UNIT13 High Schooler’s “Sit With Us” App Tackles Lunchtime Bullying	UNIT 予習および復習
	28	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	29	UNIT14 Japan Battles Population Decline with Robot	UNIT 予習および復習
30	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初回講義にて提示</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ユニット毎の小テストをする.</li> <li>②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす.</li> <li>③10回以上の欠席は単位を与えない.</li> <li>④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事.</li> </ul>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③宿題および講義参加率 20%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、さらに様々な分野に関心を持ち世界に目を向け、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-前原 直子 [法律・地行]	2年	ptt756@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この授業の目的は、4つの社会的なテーマに関する英文を読む・書く・話す・聞く活動とおして、総合的な英語の運用能力を身につけるとともに、実生活およびアカデミックな場において必要な思考力・判断力・表現力を鍛えることです。クラス内での協働作業とおして、自律的な学びを体得します。	メッセージ 色々な人が集まる教室という場でしかできない学びができるというなと思っています。
	到達目標 社会的な話題についての英文を読み、(辞書を含め) 支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉えることができる。社会的な話題についての英文を読んだり聞いたりしたことを、自分の言葉で英語で言い換えたり、話題について自分の考えを効果的に英語でアウトプットしたり、伝え合うことができる。主体的に英語を学び、他者と協働して課題に取り組むことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス & online workbook登録 ※必ず出席してください	Unit1① 語い&問題に取り組む
	2	Unit1 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit1① サイトラ音読練習
	3	Reading 1 Sight translation & Retelling	Unit1① Collaboration予習
	4	Reading 1 Collaboration (Make lists of 10 good/bad things about living in a city)	Unit1② 語い&問題に取り組む
	5	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit1② サイトラ音読練習
	6	Reading 2 Sight translation & Retelling	Unit1② Collaboration予習
	7	Reading 2 Collaboration (Describe your hometown/village)	Unit1 Language Development
	8	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	Unit2① 語い&問題に取り組む
	9	Unit2 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit2① サイトラ音読練習
	10	Reading 1 Sight translation & Retelling	Unit2① Collaboration予習
	11	Reading 1 Collaboration (Write/speak about a holiday)	Unit2② 語い&問題に取り組む
	12	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit2② サイトラ音読練習
	13	Reading 2 Sight translation & Retelling	Unit2② Collaboration予習
	14	Reading 2 Collaboration (Make a list of 5 festivals around the world)	Unit2 Language Development
	15	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	Unit3① 語い&問題に取り組む
	16	Unit3 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit3① サイトラ音読練習
	17	Reading 1 Sight translation & Retelling	Unit3① Collaboration予習
	18	Reading 1 Collaboration (Share your opinions on online adds)	Unit3② 語い&問題に取り組む
	19	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit3② サイトラ音読練習
	20	Reading 2 Sight translation & Retelling	Unit3② Collaboration予習
	21	Reading 2 Collaboration (Do a survey on university students' online habits)	Unit3 Language Development
	22	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	Unit4① 語い&問題に取り組む
	23	Unit4 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit4① サイトラ音読練習
	24	Reading 1 Sight translation & Retelling	Unit4① Collaboration予習
	25	Reading 1 Collaboration (Give a report on a natural disaster)	Unit4② 語い&問題に取り組む
	26	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	Unit4② サイトラ音読練習
	27	Reading 2 Sight translation & Retelling	Unit4② Collaboration予習
	28	Reading 2 Collaboration (Make a survival guide for an extreme weather situation)	Unit4 Language Development
	29	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	Revision
30	Preparing for a short speech	Preparing for a short speech	
31	Giving/evaluating a short speech		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト名 : Prism Reading Level 1 Student's Book with Online Workbook, SBN:9781108556194          Author(s) : Michele Lewis, Richard O' Neill          Publisher : Cambridge University Press</p> <p>※2回目の授業までに必ず購入し、オンライン登録してください。後期(英語IV) も同じテキストを使います。          ※オンライン登録にはActivation Code (テキスト表紙裏に記載) 及びemailアドレスが必要です。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①予習が必要です。テキストのリーディングや問題は、授業前にあらかじめ自分1人で取り組むこと。          ②毎回授業では、クラス内での学び合い活動があります。仲の良い友人だけでなく、全員との学び合い活動を主体的に取り組む、自らの学びを拡げ・深めることが求められます。          ③無断欠席や遅刻、授業に関係ない私語などはマナー違反(厳禁)です。</p>
	<p>評価</p> <p>Performance tests・・・30% ※各授業への参加度・学びの過程を評価します(主にspeaking &amp; writing)          Unit Quizzes (4回)・・・60% ※Cambridge LMS (オンライン)で行います。          A short speech (最終日)・・・10% ※前もってお渡しするルーブリックを基に評価します。          ※出席が3分の2に満たない場合は「不可」となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続は力なり。自分に合った学習方法でこつこつと続けていくことをお勧めします。          上位科目：英語IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」「書き」の演習活動に焦点をあてる。	外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。

到達目標
(1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになる。そのために有効なskimming, scanningなどのreading skillsを身につけることができる。(2)期間中、Vocab-Notebookとよぶ「単語ノート」を自主作成し、継続的に語彙力増強に努めることができる。(3)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有することができる。(4)毎週実施する語彙クイズでは、8割以上の正答率をめざし努力する。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	・開講時に配布されるシラバスをよく読んで理解すること。不明な点があれば曖昧にせず、講師に質問を行い自ら解決すること。
	2	Unit 1: A World of Color -Task 1, 2, 3 & 4	
	3	Task 6, 7 & 8, Quiz 01	
	4	Unit 2: The Olympics -Task 1, 2, 3 & 4	
	5	Task 6, 7 & 8, Quiz 02	
	6	Unit 3: Power Foods -Task 1, 2, 3 & 4	
	7	Task 6, 7 & 8, Quiz 03	学期を通して以下の自主学習を行う
	8	Unit 4: With a Little Help from Animals -Task 1, 2, 3 & 4	・毎回、単語ノート(10語)を作成する。
	9	Task 6, 7 & 8, Quiz 04	・大学ポータルサイトより音声教材にアクセスし、2回以上本文の音読をすませて毎回の授業にのぞむ。
	10	Unit 5: You Know My Name -Task 1, 2, 3 & 4	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	11	Task 6, 7 & 8, Quiz 05	・週1回のクイズに備え、8割以上の得点獲得を目標にする。
	12	Unit 6: The Quest for Beauty -Task 1, 2, 3 & 4	・正答率の低いクイズ問題を復習し、定期テストに備える。
	13	Task 6, 7 & 8, Quiz 06	
	14	Unit 7: Social Networking -Task 1, 2, 3 & 4	
	15	Task 6, 7 & 8, Quiz 07	
	16	Review the Quizzes 1, Midterm Examination	
	17	Unit 8: Coming of Age -Task 1, 2, 3 & 4	
	18	Task 6, 7 & 8, Quiz 08	
	19	Unit 9: Hidden Messages -Task 1, 2, 3 & 4	
	20	Task 6, 7 & 8, Quiz 09	
	21	Unit 10: Boys and Girls -Task 1, 2, 3 & 4	
	22	Task 6, 7 & 8, Quiz 10	
	23	Unit 11: The Art of Monet -Task 1, 2, 3 & 4	
	24	Task 6, 7 & 8, Quiz 11	
	25	Unit 12: Extreme Sports -Task 1, 2, 3 & 4	
	26	Task 6, 7 & 8, Quiz 12	
	27	Unit 13: Life of an Astronaut -Task 1, 2, 3 & 4	
	28	Task 6, 7 & 8, Quiz 13	
	29	Unit 14: Cycling-friendly Cities -Task 1, 2, 3 & 4	
30	Task 6, 7 & 8, Quiz 14		
31	Review the Quizzes 2, Final Examination		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Success 3 (リーディング・サクセス3), Akihiko Sato &amp; Valerie Tidwell (成美堂), 2018 ※朝野書房にて販売。全受講生必携。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。②授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。なお初回の講義では、大事な確認事項があるので、正当な理由がない限り欠席しないこと。④積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマートフォン等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠り、ガム嚙および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および退席</p>
実践	<p>評価</p> <p>①Examinations -40%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class Contributions etc.-10% ※重要！単位取得には、①～④のすべての課題に取り組んでいることが必須。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育では、英語の文献を理解し、多様なバックグラウンドの研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効。テーマや重要なポイントを読み取り、論理的思考、クリティカル思考を鍛え自らの考えを英文でまとめる力を養う。</p>	<p>基本的テキストとして購読用(「星の王子さま」の英語版)、英作文用の2冊購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や文章力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又エッセイの書き方のノウハウを学び毎週英作文の課題を提出する。文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に付け、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(この講座を受講するのに必要な重要情報の共有:初日出席必須!!)	シラバス熟読
	2	購読講義開始:The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A / エッセイ1講義開始	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP 単語クイズ, ディスカッション / エッセイ1を書き上げる	エッセイテキストから課題
	4	購読:The TLP reading, listening, Q&A /エッセイ2講義	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ2講義続き	エッセイテキストから課題
	6	TLP ディスカッション, プレゼンテーション	エッセイテキストから課題
	7	購読:TLP reading, listening, Q&A/エッセイ3講義	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ3講義続き	エッセイテキストから課題
	9	購読:The TLP reading, listening, Q&A /エッセイ3書き上げる	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ4講義	エッセイ課題
	11	購読:The TLP reading, listening, Q&A /	単語テスト (V-test)対策
	12	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ4講義続き	エッセイテキストから課題
	13	購読:The TLP reading, listening, Q&A /エッセイ4書き上げる	単語テスト (V-test)対策
	14	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ5講義	エッセイテキストから課題
	15	購読:The TLP reading, listening, Q&A /	単語テスト (V-test)対策
	16	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ5講義続き	エッセイ課題
	17	購読:The TLP reading, listening, Q&A /エッセイ5書き上げる	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/	エッセイ課題
	19	購読:The TLP reading, listening, Q&A /	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ6講義	エッセイ課題
	21	購読:The TLP reading, listening, Q&A /	単語テスト (V-test)対策
	22	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/ エッセイ6講義続き	エッセイ課題
	23	購読:The TLP reading, listening, Q&A /エッセイ6書き上げる	単語テスト (V-test)対策
	24	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/	プレゼンテーションレビュー
	25	購読:The TLP reading, listening, Q&A /	単語テスト (V-test)対策
	26	TLP 単語クイズ, ディスカッション, プレゼンテーション/	プレゼンテーションレビュー
	27	購読:The TLP reading, listening, Q&A /	プレゼン準備
	28	ディスカッション, プレゼンテーション/	プレゼンテーションレビュー
	29	ディスカッション, プレゼンテーション/	プレゼンテーションレビュー
30	期末テスト	期末レビュー	
31	Evaluation	なし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>購読用の基本テキスト(“The Little Prince”)及びエッセイ学習用のテキスト(“Writing from Within”)を各自購入する事(初日に詳細説明)。両方とも前期・後期通して使用予定。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります(やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する)</li> <li>2 対象:英検準2級~英検2級程度(英語でのやり取りが基本)</li> <li>3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事(ディスカッションなど参加型の授業なので休みが多い学生は評価が低くなります)</li> <li>4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション(1~2回)、エッセイ提出(6回程度)予定。</li> <li>5 頻繁な遅刻、授業態度(私語やいねむり)の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エッセイ提出(6回程度) 20%</li> <li>2. 単語テスト(10回程度) 20%</li> <li>3. 中間プレゼンテーション 20%</li> <li>4. 期末プレゼンテーション) 20%</li> <li>5. ディスカッションへの貢献、態度、提出物 20%</li> </ol>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイの発展クラスで更に書く力を伸ばすことが望ましい。又、購読の授業で論理思考、クリティカル思考を高める。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Email: realrealgone123@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい 英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。時事的なトピックを扱ったメディア英語の基礎になれるようにする。	メッセージ 多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強く課題（新聞や短編小説）を読んで授業に臨んでください。積極的に授業に参加することを心がけてください。
	到達目標 文法的に平易な英文（口語的な英文）の長文を読むことができるようになる。アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	English Song Lyrics 1	ライティングとリーディングの課題
	3	Composition Preposition 1	リーディングの課題
	4	English Song Lyrics 2	ライティングとリーディングの課題
	5	Composition Preposition 2	リーディングの課題
	6	English Song Lyrics 3	ライティングとリーディングの課題
	7	Composition Preposition 3	リーディングの課題
	8	English Song Lyrics 4	ライティングとリーディングの課題
	9	Composition Infinitives and Gerund 1	リーディングの課題
	10	Newspaper Articles 1	ライティングとリーディングの課題
	11	Composition Infinitives and Gerund 2	リーディングの課題
	12	Newspaper Articles 2	リーディングの課題
	13	Composition Infinitives and Gerund 3	ライティングとリーディングの課題
	14	Newspaper Articles 3	ライティングとリーディングの課題
	15	Composition Infinitives and Gerund 4	中間試験の準備
	16	Midterm Exam 中間試験	
	17	Film School of Rock	リーディングの課題
	18	Film School of Rock	ライティングとリーディングの課題
	19	Newspaper Articles 4	リーディングの課題
	20	Composition Conjunction 1	ライティングとリーディングの課題
	21	Newspaper Articles 5	リーディングの課題
	22	Composition Conjunction 2	ライティングとリーディングの課題
	23	Short Story A Rose for Emily 1	リーディングの課題
	24	Composition Conjunction 3	ライティングとリーディングの課題
	25	Short Story A Rose for Emily 2	リーディングの課題
	26	Composition Relative Pronoun 1	ライティングとリーディングの課題
	27	Short Story The Moths 1	リーディングの課題
	28	Composition Relative Pronoun 2	ライティングの課題
	29	Short Story The Moths 2	ライティングとリーディングの課題
30	Composition Relative Pronoun 3	ライティングの課題	
31	Final Exam 期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など        Meet the World: English through Newspapers 2017 (若手 保彦 編著 成美堂 2017年)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て        ① 履修の心得： 「英語I」と「英語Ii」の単位を取得していることが望ましい。クラスの最初の20分間で、12回のクイズあるいはパラグラフ・ライティングをほぼ毎回実施するので、できるだけ出席をするように心がけてほしい。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために： 講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価        中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポート（テキスト・映画の感想文）20% クイズとライティングの課題 20% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験の両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目        (1) 関連科目：英語IV（後期学期提供）を受講を勧めます。(2) 次のステージ：英語の長編小説、文量の多い雑誌記事（特集記事）などを読む努力をすることが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子[法律・地行]	2年	学内メールや授業の前後に教室にて受け付ける。	

学びの準備	ねらい 高校までに学んだ英語の知識を整理しつつ、学生の専攻に添った読物、今日的な話題を取り入れた新聞や雑誌の記事、フィクション・ノンフィクションなどを幅広く読み進める。	メッセージ 毎回ミニ・クイズを行いますので、当該の教材を予習してクラスに臨んでください。質問を大いに歓迎します。一回一回が大切です。
	到達目標 生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力・辞書を活用する力を身につける。	

学びの準備	到達目標 生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力・辞書を活用する力を身につける。
-------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	英語で自己紹介文を書く
	2	センテンス・リーディング 1	関連する英作文
	3	センテンス・リーディング 2	関連する英作文
	4	センテンス・リーディング 3	関連する英作文
	5	センテンス・リーディング 4	関連する英作文
	6	パラグラフ・リーディング 1	関連する英作文
	7	パラグラフ・リーディング 2	関連する英作文
	8	パラグラフ・リーディング 3	関連する英作文
	9	パラグラフ・リーディング 4	関連する英作文
	10	パラグラフ・リーディング 5	関連する英作文
	11	新聞記事 1	関連する英作文
	12	新聞記事 2	関連する英作文
	13	新聞記事 3	関連する英作文
	14	新聞記事 4	関連する英作文
	15	雑誌記事 1	感想を英語で書く
	16	雑誌記事 2	感想を英語で書く
	17	雑誌記事 3	感想を英語で書く
	18	雑誌記事 4	感想を英語で書く
	19	雑誌記事 5	感想を英語で書く
	20	ノン・フィクション 1	感想を英語で書く
	21	ノン・フィクション 2	感想を英語で書く
	22	ノン・フィクション 3	感想を英語で書く
	23	ノン・フィクション 4	感想を英語で書く
	24	ノン・フィクション 5	感想を英語で書く
	25	フィクション 1	感想を英語で書く
	26	フィクション 2	感想を英語で書く
	27	フィクション 3	感想を英語で書く
	28	フィクション 4	感想を英語で書く
	29	フィクション 5	感想を英語で書く
30	フィクション 6	感想を英語で書く	
31	期末試験	前期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：配布教材          参考文献は随時紹介する。</p>						
び の 実 践	<p>学びの手立て          辞書を使いながら、英文読解・英作文をする。身の回りの事や興味があることに関して、英語で理解したり、説明したりできるように、コツコツと小さなトライを重ねていこう。</p>						
	<p>評価</p> <table data-bbox="127 533 446 609"> <tr> <td>毎回のミニ・クイズ</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>期末テスト</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>英語レポート</td> <td>10%</td> </tr> </table>	毎回のミニ・クイズ	40%	期末テスト	50%	英語レポート	10%
毎回のミニ・クイズ	40%						
期末テスト	50%						
英語レポート	10%						
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          後期に提供される英語IV。          ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。</p>						

※ポリシーとの関連性

様々な分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。  
また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~2,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1／3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 試験 (50%)</li> <li>2) 小テスト (30%)</li> <li>3) 発表 (10%)</li> <li>4) 平常点 (10%)</li> </ol>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Ⅳ（後期開講クラス）の受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。                  2) 基本語3,000~4,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。                  3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。                  4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場真紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1／3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試 験 50%</li> <li>・ 小テスト 30%</li> <li>・ 発 表 10%</li> <li>・ 平 常 点 10%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Vの受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Emai : l_realrealgone123@yaoao.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。英語I及び英語IIで学んだ英会話・コミュニケーション表現を多く含むベストセラーHOW-to 本 Skinny Bitch (2009) を講読することによって、平易な英文理解を強化していきます。	多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキスト Skinny Bitch (2009) を繰り返し読んで授業に臨んでください。また、このクラスは全学の学生が受講するクラスなので、クラスメートと友人なって楽しい授業になるように、積極的に授業に参加することを心がけてください。
到達目標	現代アメリカ英文の長文を読むことができるようになる。現代アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。現代社会における食の安全と環境破壊などの社会問題を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	Skinny Bitch Chater 1	リーディングの課題
	3	Skinny Bitch Chater 1	ライティングの課題
	4	Composition	リーディングの課題
	5	Skinny Bitch Chater 2	ライティングの課題
	6	Composition	リーディングの課題
	7	Skinny Bitch Chapaer 3	リーディングの課題
	8	Skinny Bitch Chapter 3 Supersize Me (2008)	リーディングとライティングの課題
	9	Skinny Bitch Chapaer 3	ライティングの課題
	10	Composition	リーディングの課題
	11	Skinny Bitch Chapter 4	リーディングの課題
	12	Skinny Bitch Chapter 4 King Corn (2008)	リーディングとライティングの課題
	13	Skinny Bitch Chapter 4	ライティングの課題
	14	Composition	リーディングの課題
	15	Skinny Bitch Chapter 5	リーディングの課題
	16	Skinny Bitch Chapter 5	ライティングの課題
	17	Composition	中間試験の準備学習
	18	Midterm Exam	リーディングの課題
	19	Skinny Bitch Chapter 6	リーディングの課題
	20	Skinny Bitch Chapter 6 Food Inc. (2009)	リーディングとライティングの課題
	21	Skinny Bitch Chapter 6	ライティングの課題
	22	Composition	リーディングの課題
	23	Skinny Bitch Chapter 7 & 8	ライティングの課題
	24	Composition	リーディングの課題
	25	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	26	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	27	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	28	Skinny Bitch Chapter 10 Forks Over Knives	リーディングとライティングの課題
	29	Skinny Bitch Chapter 10	リーディングの課題
30	Skinny Bitch Chapter 10	期末試験の準備学習	
31	Final Exam	ライティングの課題	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Skinny Bitch Roy Fredman and Barnouin Running Press (2009)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ① 履修の心得：「英語III」の単位を取得していること。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために：講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポートと（テキスト・映画の感想文）と各章毎のクイズ40% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験のの両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目：英語 V, 英語 VI、英語 VII、英語VIII のクラスを継続して受講して、英語力をアップせるように努力してほしい。(2) 次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。特に、Skinny Bitch はビジネス英語の語彙が頻出するので、TOEICテストを大学卒業までに受験してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かのり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け または musakaori8@gmail.com	

学びの準備	ねらい 本講義においては、アメリカの3大ネットワークの一つ、CBS看板ニュース報道番組の”CBS Evening News”と”CBS This Morning”の中で取り上げられた様々なニュースをもとに講義を行う。アメリカの家庭でアメリカ人が実際に生きている生の新しいニュースを視聴することで、英語をより身近なものとして感じ、英語に対する興味を高めながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。英文を返り読みすることなしに、意味の切れ目ごとに、左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語を正しく聞き取ることができる。 ②英文を正しく読み取ることができる ③自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	ガイダンス：文法基礎 サイトトランスレーション・スラッシュリーディングについて	
	3	UNIT1 What’s for Lunch? In Japanese Schools It’s Always Healthy	UNIT 予習および復習
	4	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	5	UNIT2 BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	UNIT 予習および復習
	6	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	7	UNIT3 How a Dog Can Improve Your Health	UNIT 予習および復習
	8	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	9	UNIT4 The Shoe That Grows: Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids’ Growing Feet	UNIT 予習および復習
	10	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	11	UNIT5 “Cat Library” Offers Purrfect Solution to Stress	UNIT 予習および復習
	12	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	13	UNIT6 The Evolution of Comic Books in the Digital Age	UNIT 予習および復習
	14	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	15	UNIT7 Can Drinking Soda Make You Age Faster?	UNIT 予習および復習
	16	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	17	UNIT8 What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	UNIT まとめ 小テスト
	18	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	19	UNIT9 Is Sitting the New Smoking?	UNIT まとめ 小テスト
	20	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	21	UNIT10 Matcha Madness Sparks New Tea Craze	UNIT まとめ 小テスト
	22	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	23	UNIT11 Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	UNIT まとめ 小テスト
	24	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	25	UNIT12 One Man’s Long Journey to Help a Stranger Walk Again	UNIT まとめ 小テスト
	26	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	27	UNIT13 Slurping to Success: A Look into the Growing American Ramen Culture	UNIT まとめ 小テスト
	28	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
	29	UNIT14 Peddling Pedaling: Bikes Become the Latest Peer-to-Peer Success Story	UNIT まとめ 小テスト
	30	UNIT まとめ 小テスト	UNIT まとめ 小テスト
31	期末テスト		

	<p>テキスト・参考文献・資料など CBS News Break 3 SEIBIDOU</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>①ユニット毎の小テストをする。 ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。 ③10回以上の欠席は単位を与えない。 ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。 注意：第1週目ガイダンスにてグループ分けを行い、ユニットごとの訳の割り当てを行うので必ず出席すること！</p>
	<p>評価</p> <p>①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③宿題および講義参加率 20%</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、英語で発信されている様々な情報に関心をもち、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [全学科 (全学年)]	1年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した400語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎英文法が理解できる。</li> <li>2. 英語の基本表現が使用できる。</li> <li>3. 400語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。</li> <li>4. 簡単な英文のリスニングができる。</li> <li>5. 簡単な英文の文章が書ける。</li> </ol>	<p>授業の中でわからないことは、質問して下さい。グループワーク等がありますのでその中でも積極的に活動してください。他者との関わりの中には、自分自身の新たな発見、成長の鍵が隠されています。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit1 Are You Ready for a Pet?	教科書Unit1を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2 Gap Year	教科書Unit1&2を事前に読む
	4	Unit2	教科書Unit2を読む
	5	Unit3 What Is Wealth?	教科書Unit3を事前に読む
	6	Unit3 & Unit4 Globalization	教科書Unit3&4を事前に読む
	7	Unit4	教科書Unit4を読む
	8	Unit5 What I Learned in College	教科書Unit5を事前に読む
	9	Unit5 & Unit6 How Paper Is Recycled	教科書Unit5&6を事前に読む
	10	Unit6	教科書Unit6を読む
	11	Unit7 Life Expectancy	教科書Unit7読む
	12	Unit7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Unit1-7	中間試験対策をする
	14	Unit8 From "Snail Mail" to PDAs in Barely Thirty Years	教科書Unit8を事前に読む
	15	Unit8 & Unit9 Rules for Success	教科書Unit8&9を事前に読む
	16	Unit9	教科書Unit9を読む
	17	Unit10 Paid Leave and Public Holidays	教科書Unit10を事前に読む
	18	Unit10 & Unit 11 A Suitable Hotel	教科書Unit10&11を事前に読む
	19	Unit11	教科書Unit11を読む
	20	Unit12 Another Earth?	教科書Unit12を事前に読む
	21	Unit12 & Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	22	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	23	Unit13 An Interview with a New Student Union President	教科書Unit13を事前に読む
	24	Unit13 & Unit14 Modern Writing: Be Brief!	教科書Unit13&14を事前に読む
	25	Unit14	教科書Unit14を読む
	26	Unit15 Rent Control Board Hears Local Concerns	教科書Unit15を事前に読む
	27	Unit15 & other reading materials	教科書Unit15を読む
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Unit8-15	期末試験対策をする	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Stream: Pre-intermediate (2018年) 竹内理 他 金星堂 1,800円(税別)  ※ただし、英語IIIにおける受講生の状況を考慮し、教科書を選定する予定。そのため教科書を変更する可能性や上記授業計画に変更の可能性もあるので講義最初のオリエンテーションでしっかり確認すること。</p> <p>参考文献：プリントを随時使用する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 教室では携帯電話の電源を切ること。</li> <li>6. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。  総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）をを欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。  20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力（特にリーディングとライティング）を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した400語程度の英文の精読（時には音読も）をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基礎英文法が理解できる。</li> <li>2. 英語の基本表現が使用できる。</li> <li>3. 400語程度の英文を読み（音読も含む）、理解できる。</li> <li>4. 簡単な英文のリスニングができる。</li> <li>5. 簡単な英文の文章が書ける。</li> </ol>	<p>授業の中でわからないことは、質問して下さい。グループワーク等がありますのでその中でも積極的に活動してください。他者との関わりの中には、自分自身の新たな発見、成長の鍵が隠されています。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit1 Are You Ready for a Pet?	教科書Unit1を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2 Gap Year	教科書Unit1& 2を事前に読む
	4	Unit 2	教科書Unit2を読む
	5	Unit3 What Is Wealth?	教科書Unit3を事前に読む
	6	Unit3 & Unit4 Globalization	教科書Unit3&4を事前に読む
	7	Unit4	教科書Unit4を読む
	8	Unit5 What I Learned in College	教科書Unit5を事前に読む
	9	Unit5 & Unit6 How Paper Is Recycled	教科書Unit5&6を事前に読む
	10	Unit6	教科書Unit6を読む
	11	Unit7 Life Expectancy	教科書Unit7を事前に読む
	12	Unit7 & Preparation for the Mid-term exam	中間試験対策をする
	13	中間試験 Unit1-7	中間試験対策をする
	14	Unit8 From "Snail Mail" to PDAs in Barely Thirty Years	教科書Unit8を事前に読む
	15	Unit8 & Unit9 Rules for Success	教科書Unit8&9を事前に読む
	16	Unit9	教科書Unit9を読む
	17	Unit10 Paid Leave and Public Holidays	教科書Unit10を事前に読む
	18	Unit10 & Unit 11 A Suitable Hotel	教科書Unit10&11を事前に読む
	19	Unit11	教科書Unit11を読む
	20	Unit12 Another Earth?	教科書Unit12を事前に読む
	21	Unit12 & Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	22	Watching a DVD (Writing an essay)	DVDに関連した資料チェック
	23	Unit13 An Interview with a New Student Union President	教科書Unit13を事前に読む
	24	Unit13 & Unit14 Modern Writing: Be Brief!	教科書Unit13&14を事前に読む
	25	Unit14	教科書Unit14を読む
	26	Unit15 Rent Control Board Hears Local Concerns	教科書Unit15を事前に読む
	27	Unit15 & Other reading materials	教科書Unit15を読む
	28	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
	29	Other reading materials	リーディング教材を事前に読む
30	Preparation for the Final Exam	期末試験対策をする	
31	Final Exam (期末試験) Unit8-15	期末試験対策をする	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Stream: Pre-intermediate (2018年) 竹内理 他 金星堂 1,800円(税別)  ※ただし、英語IIIにおける受講生の状況を考慮し、教科書を選定する予定。そのため教科書を変更する可能性や上記授業計画に変更の可能性もあるので講義最初のオリエンテーションでしっかり確認すること。</p> <p>参考文献：プリントを随時使用する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 教室では携帯電話の電源を切ること。</li> <li>6. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>出席点20%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。  総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。  20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力（特にリーディングとライティング）を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-前原 直子 [法律・地行]	2年	ptt756@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業の目的は、4つの社会的なテーマに関する英文を読む・書く・話す・聞く活動をとおり、総合的な英語の運用能力を身につけるとともに、実生活およびアカデミックな場において必要な思考力・判断力・表現力を鍛えることです。クラス内での協働作業をとおり、自律的な学びを体得します。	色々な人が集まる教室という場でしかできない学びができるというなと思っています。

到達目標	社会的な話題についての英文を読み、(辞書を含め) 支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉えることができる。社会的な話題についての英文を読んだり聞いたりしたことを、自分の言葉で英語で言い換えたり、話題について自分の考えを効果的に英語でアウトプットしたり、伝え合うことができる。主体的に英語を学び、他者と協働して課題に取り組むことができる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス ※必ず出席してください	語い&問題に取り組む
	2	Unit5 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	3	Reading 1 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	4	Reading 1 Collaboration	語い&問題に取り組む
	5	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	6	Reading 2 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	7	Reading 2 Collaboration	Language Development
	8	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	語い&問題に取り組む
	9	Unit 6 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	10	Reading 1 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	11	Reading 1 Collaboration	語い&問題に取り組む
	12	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	13	Reading 2 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	14	Reading 2 Collaboration	Language Development
	15	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	語い&問題に取り組む
	16	Unit 7 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	17	Reading 1 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	18	Reading 1 Collaboration	語い&問題に取り組む
	19	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	20	Reading 2 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	21	Reading 2 Collaboration	Language Development
	22	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	語い&問題に取り組む
	23	Unit 8 Reading 1 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	24	Reading 1 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	25	Reading 1 Collaboration	語い&問題に取り組む
	26	Reading 2 Key vocabulary & Reading comprehension	サイトラ音読練習
	27	Reading 2 Sight translation & Retelling	Collaboration予習
	28	Reading 2 Collaboration	Language Development
	29	Language Development & Unit Quizzes (Cambridge LMS) ⇒CALL教室(5-213)	Revision
30	Preparing for a short speech	Preparing for a short speech	
31	Giving/evaluating a short speech		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 前期で使用するPrism Reading (Cambridge University Press)を引き続き使います。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①予習が必要です。テキストのリーディングや問題は、授業前にあらかじめ自分1人で取り組むこと。 ②毎回授業では、クラス内での学び合い活動があります。仲の良い友人だけでなく、全員との学び合い活動を主体的に取り組む、自らの学びを拡げ・深めることが求められます。 ③無断欠席や遅刻、授業に関係ない私語などはマナー違反（厳禁）です。</p>
	<p>評価 Performance tests・・・30% ※各授業への参加度・学びの過程を評価します（主にspeaking &amp; writing） Unit Quizzes (4回)・・・60% ※Cambridge LMS（オンライン）で行います。 A short speech（最終日）・・・10% ※前もってお渡しするルーブリックを基に評価します。 ※出席が3分の2に満たない場合は「不可」となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 継続は力なり。自分に合った学習方法でこつこつと続けていくことをお勧めします。 上位科目：英語V</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	水2・土2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科 (全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、Reading Skillsのさらなる向上をめざす。	メッセージ 外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大切です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。
	到達目標 (1)比較的長めの英文エッセイであっても躊躇せず読み通すことができる。(2)グループで単元を担当し、演習問題の解説およびエッセイ内容について読後の感想を短い文章にまとめクラスで発表することができる。(3)期間中、三行日記(仮称)を毎日書きつづけることができる。(4)毎週実施するクイズで8割以上の正答率をめざし、語彙力増強に努める。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction	・開講時に配布されるシラバスをよ読んで理解すること。不明な点があれば、曖昧なままにせず必ず理解するまで質問すること。
	2	Vocabulary-size Check 1, Reading Skill Exercise 1	
	3	Unit 1: Scanning 1	
	4	Unit 2: Predicting 1, Quiz 01	
	5	Unit 3: Skimming 1	
	6	Unit 4: Recognizing Sequence of Events, Quiz 02	学期を通して以下の自主学習を行う
	7	Unit 5: Identifying Main Ideas 1	・三行日記を毎日つける。
	8	Review the Units (1), Quiz 03	・少なくとも2回音読をすませ
	9	Unit 6: Predicting 2	て毎回の授業にのぞむ。
	10	Unit 7: Scanning 2, Quiz 04	・課題問題は、事前に解いて発表に備える。
	11	Unit 8: Skimming 2-1,	・週1回のクイズに備え、毎回8割以上の得点獲得を目標にする。
	12	Skimming 2-2, Quiz 05	・正答率の低いクイズ問題を復習し定期テストに備える。
	13	Unit 9: Identifying Main Ideas 2	
	14	Unit 10: Skimming 3, Quiz 06	
	15	Review the Units (2), Reviewing the quizzes 1	
	16	Midterm Examination	
	17	Review the Midterm	
	18	Unit 11: Skimming & Scanning for Faster Reading 1	
	19	Unit 12: Skimming & Scanning for Faster Reading 2, Quiz 07	
	20	Unit 13: Reading without a Dictionary 1	
	21	Unit 14: Reading without a Dictionary 2, Quiz 08	
	22	Unit 15: Inferring	
	23	Review the Units (3), Quiz 09	
	24	Unit 16: Looking for Specific Information 1	
	25	Unit 17: Looking for Specific Information 2, Quiz 10	
	26	Unit 18: Reading for Pleasure 1 -picture books	
	27	Unit 19: Reading for Pleasure 2 -lyrics, Quiz 11	
	28	Unit 20: Paragraph Reading -news articles	
	29	Reading Skill Exercise 2, Quiz 12	
30	Review the Quizzes 2, Vocabulary-size Check 2		
31	Final Examination		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>英語Ⅲにおける受講生の理解度・到達度等を考慮に入れて、テキストを選定する予定。よって上記授業計画に変更の可能性もあるので、開講時のCourse Orientationでしっかり確認すること。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①「三行日記」用に学習ノートを一冊準備すること。サイズ等問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。② 授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。なお初回の講義では大事な確認事項があるので、正当な理由がない限り欠席しないこと。④ 積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマホ等)については誤認を避けるため講義中の使用を認めない。⑤ 定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥ 以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む：遅刻、私語、居眠、ガム嚙および飲食、携帯通信機器の使用、理由不明の離席および退席</p>
	<p>評価</p> <p>①Examinations -30%, ②Quizzes -30%, ③3-Line Diary -20%, ④Chapter Contributor -10% ⑤In-Class Contributions etc.-10% ※重要！単位取得には、①～⑤のすべての課題に取り組んでいることが必須。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>大学教育においては、英語の文献を理解し、外国の学生や研究者との意見交換などができるようになることで、各専門分野の研究や調査の幅が広がる。必要最低限の読解力や文章を書く力を身につけるには、英文独特の構造やスタイルを理解し、様々な読み物を多読、熟読する訓練が有効だと考える。テーマや重要なポイントを読み取り、その要旨を自ら英文でまとめる練習を行い英語力強化を図る。</p>	<p>基本的テキストとして「星の王子さま」の英語版を用いる。又、各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speakingに自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation & skill check	シラバス熟読
	2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	6	Test 1/ TLP reading	テキスト復習
	7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	8	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	10	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	11	Test 2/ TLP reading	テキスト復習
	12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	13	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	15	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	16	Test 3/ TLP reading	テキスト復習
	17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	18	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	20	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	21	Test 4/ TLP reading	テキスト復習
	22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	23	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	25	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	26	Test 5/ TLP reading	テキスト復習
	27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
	28	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
	29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
31	Evaluation	なし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>“基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。”</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>“1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本）  2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください）  3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可）  4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です）  5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語）  6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意”  *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）”</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エッセイ提出（6回程度）20%</li> <li>2. 単語テスト（10回程度）20%</li> <li>3. 中間プレゼンテーション 20%</li> <li>4. 期末プレゼンテーション 20%</li> <li>5. ディスカッションへの貢献、態度、提出物 20%</li> </ol>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子[法律・地行]	2年	学内のe-mailや授業の前後に教室にて受け付ける。	

学びの準備	ねらい 英語IIIで学んだ英語の知識をさらに深める。読む速度を早くし、読む量を増やし、英語を読み書きする楽しさを覚える。	メッセージ 毎回ミニ・クイズを実施しますので、当該の教材を予習してクラスに臨んでください。質問を大いに歓迎します。学生の皆さん一人一人が英語III・IVを通して身につけた読解力・作文力を感じることができることを期待します。
	到達目標 辞書なしでも、生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	夏休みに関する英作文
	2	センテンス・リーディング および 英作文 1	関連する英作文
	3	センテンス・リーディング および 英作文 2	関連する英作文
	4	センテンス・リーディング および 英作文 3	関連する英作文
	5	センテンス・リーディング および 英作文 4	関連する英作文
	6	パラグラフ・リーディング 1	関連する英作文
	7	パラグラフ・リーディング 2	関連する英作文
	8	新聞記事 1	感想を英語で書く・音読
	9	新聞記事 2	感想を英語で書く・音読
	10	新聞記事 3	感想を英語で書く・音読
	11	新聞記事 4	感想を英語で書く・音読
	12	新聞記事 5	感想を英語で書く・音読
	13	雑誌記事 1	感想を英語で書く・音読
	14	雑誌記事 2	感想を英語で書く・音読
	15	雑誌記事 3	感想を英語で書く・音読
	16	雑誌記事 4	感想を英語で書く・音読
	17	雑誌記事 5	感想を英語で書く・音読
	18	物語を読む 1	感想を英語で書く・音読
	19	物語を読む 2	感想を英語で書く・音読
	20	物語を読む 3	感想を英語で書く・音読
	21	物語を読む 4	感想を英語で書く・音読
	22	物語を読む 5	感想を英語で書く・音読
	23	物語を読む 6	感想を英語で書く・音読
	24	物語を読む 7	感想を英語で書く・音読
	25	実話を読む 1	感想を英語で書く・音読
	26	実話を読む 2	感想を英語で書く・音読
	27	実話を読む 3	感想を英語で書く・音読
	28	実話を読む 4	感想を英語で書く・音読
	29	実話を読む 5	感想を英語で書く・音読
30	実話を読む 6	感想を英語で書く・音読	
31	期末試験	後期のまとめ	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：配布教材          参考文献：随時紹介する</p>					
	<p>学びの手立て          辞書を活用する力と同時に、辞書がなくても読み物の概要を把握する力を身につけることを目指したい。そのためには、様々な英語に出会うことが有効なので、幅広く多読する。</p>					
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>毎回のミニ・クイズ</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>期末試験</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>英語のレポート</td> <td>10%</td> </tr> </table>	毎回のミニ・クイズ	40%	期末試験	50%	英語のレポート
毎回のミニ・クイズ	40%					
期末試験	50%					
英語のレポート	10%					
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。          生活の中で必要とされる時、英語を活用できる。</p>					

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバラエティーを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。                  2) 基本語3,000~4,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。                  3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。                  4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場真紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1／3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験 50%</li> <li>・ 小テスト 30%</li> <li>・ 発表 10%</li> <li>・ 平常点 10%</li> </ul>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Vの受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫[全学科]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ペア活動を中心にしながら、英検2級レベルの総合的な英語力の向上を目指すと共に、オーラルコミュニケーションの育成の指導にも力を入れる。	メッセージ 総合的な英語力を高め、英検2級の取得を目指したい人は、一緒に勉強しましょう。
	到達目標 ・英検2級レベルの総合的な英語力の育成を目指す。 ・英語による自己表現力の向上を図る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	よくシラバスを読むこと
	2	Quiz, Grammar & Listening (1)	文で覚える単熟語 (1)
	3	Quiz, Grammar & Listening (2)	文で覚える単熟語 (2)
	4	Quiz, Grammar & Listening (3)	文で覚える単熟語 (3)
	5	Quiz, Grammar & Listening (4)	文で覚える単熟語 (4)
	6	Quiz, Grammar & Listening (5)	文で覚える単熟語 (5)
	7	Quiz, Grammar, Listening & Reading (1)	文で覚える単熟語 (6)
	8	Quiz, Grammar, Listening & Reading (2)	文で覚える単熟語 (7)
	9	Quiz, Grammar, Listening & Reading (3)	文で覚える単熟語 (8)
	10	Quiz, Grammar, Listening & Reading (4)	文で覚える単熟語 (9)
	11	Quiz, Grammar, Listening & Reading (5)	文で覚える単熟語 (10)
	12	Quiz, Grammar, Listening & Reading (6)	文で覚える単熟語 (11)
	13	Quiz, Grammar, Listening & Reading (7)	文で覚える単熟語 (12)
	14	Quiz, Grammar, Listening & Reading (8)	文で覚える単熟語 (13)
	15	Quiz, Grammar, Listening & Reading (9)	文で覚える単熟語 (14)
	16	中間テスト	これまでの総復習をすること
	17	Quiz, Grammar, Listening & Reading (10)	文で覚える単熟語 (15)
	18	Quiz, Grammar, Listening & Reading (11)	文で覚える単熟語 (16)
	19	Quiz, Grammar, Listening & Reading (12)	文で覚える単熟語 (17)
	20	Quiz, Grammar, Listening & Reading (13)	文で覚える単熟語 (18)
	21	Quiz, Grammar, Listening & Reading (14)	文で覚える単熟語 (19)
	22	Quiz, Grammar, Listening & Reading (15)	文で覚える単熟語 (20)
	23	スピーチテスト	スピーチ原稿の作成
	24	Quiz, Grammar, Listening & Reading (16)	文で覚える単熟語 (21)
	25	Quiz, Grammar, Listening & Reading (17)	文で覚える単熟語 (22)
	26	Quiz, Grammar, Listening & Reading (18)	文で覚える単熟語 (23)
	27	Quiz, Grammar, Listening & Reading (19)	文で覚える単熟語 (24)
	28	Quiz, Grammar, Listening & Reading (20)	文で覚える単熟語 (25)
	29	Quiz, Grammar, Listening & Reading (21)	文で覚える単熟語 (26)
30	Quiz, Grammar, Listening & Reading (22)	これまでの総復習をすること	
31	期末テスト	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英検 2 級 文で覚える単熟語 (旺文社)</li> <li>2. 参考書等をオリエンテーションの時間に連絡する。</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合には、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・ 講義時間以外にも、Quizの準備等、英語学習に積極的に取り組むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>単語クイズ (25%)、スピーチテスト (20%)、中間テスト (25%)、期末テスト (30%) の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義で学んだことを活かし、英検準 1 級レベルの学習をする英語VIや、より高度な英語VII、英語VIIIを履修してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	前期	火3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	津波 聡 [全学科]	1年	satoshi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、総合的な英語力の向上を目指します。	メッセージ 積極的に英語を使い運用能力の向上に努めよう。 【実務経験】中学校教諭としての現場経験を活かして、4技能を総合的に鍛える言語活動を提供します。
	到達目標 英検2級レベル以上の英語運用力	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Proficiency Test, Speaking 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	3	Reading 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	4	Reading 2	Grammar & Vocabulary Drills 1
	5	Grammar & Vocabulary Quiz 1, Listening 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	6	Reading 4	Worksheets Review
	7	Reading 5	Worksheets Review
	8	Review Quiz 1, Speaking & Writing 1	Grammar & Vocabulary Drills 2
	9	Reading 5	Grammar & Vocabulary Drills 2
	10	Reading 6	Grammar & Vocabulary Drills 2
	11	Grammar & Vocabulary Quiz 2, Listening 2	Worksheets Review
	12	Reading 7	Worksheets Review
	13	Reading 8	Worksheets Review
	14	Review Quiz 2, Speaking & Writing 2	Grammar & Vocabulary Drills 3
	15	Reading 9	Grammar & Vocabulary Drills 3
	16	Reading 10	Grammar & Vocabulary Drills 3
	17	Grammar & Vocabulary Quiz 3, Listening 3	Worksheets Review
	18	Reading 11	Worksheets Review
	19	Reading 12	Worksheets Review
	20	Review Quiz 3, Speaking & Writing 3	Grammar & Vocabulary Drills 4
	21	Reading 13	Grammar & Vocabulary Drills 4
	22	Reading 14	Grammar & Vocabulary Drills 4
	23	Grammar & Vocabulary Quiz 4, Listening 4	Worksheets Review
	24	Reading 15	Worksheets Review
	25	Reading 16	Vocabulary Drills
	26	Review Quiz 4, Speaking & Writing 4	Grammar & Vocabulary Drills 5
	27	Reading 17	Grammar & Vocabulary Drills 5
	28	Reading 18	Grammar & Vocabulary Drills 5
	29	Grammar & Vocabulary Quiz 5, Listening 5	Worksheets Review
30	Review Quiz 5, Speaking & Writing 5	Worksheets Review	
31	Review, Final Test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など オリジナル教材を配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          (1) 授業外ドリルを活用し英語学習を継続する習慣を身につけよう。          (2) 授業では積極的に英語を使おう。</p>
	<p>評価          授業参加・・・・・・・・・・・・・30%          クイズ・・・・・・・・・・・・・50%          提出物・・・・・・・・・・・・・20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          English VI～VIII</p>

※ポリシーとの関連性

本学ポリシーの「社会に貢献する人材育成」として必要な英語ツールの習得を目的とし、様々な学習機会を通じて本科目を提供する。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[全学科]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できるように様々な学習を通して、学習者が自ずから学び向上、成長できるようにするのが本科目の狙いである。	本科目では、英検準1級レベルの英語力養成を目的としています。当該試験の内容把握と練習問題に取り組むほか、受講生の総合英語力を上げながらも、弱点を補強する様々な取り組みを行います。英語学習方法は多種多様であることを念頭に、1学期間これらの取り組みを積極的に行いながら本科目終了後に自ら学ぶ力をつけるように、ともに挑戦していきましょう！
到達目標	英語準1級レベルの英語総合力をつける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語 I オリエンテーション CALL教室およびLMS使用オリエンテーション テキスト導入	英語VI、テキスト概要を把握する
	2	英語力測定（初期） テキスト1, Speed Reading 1	復習1
	3	Quiz1 初期英語力測定把握、 Speed Reading 2 , テキスト	復習と Quiz1準備
	4	Speed Reading 3 テキスト	復習3
	5	Quiz2 Speed Reading 4 テキスト	復習4 Quiz2準備
	6	Speed Reading 5 テキスト	復習5
	7	Quiz3 Speed Reading 6 テキスト WritingNo.1	復習6 Quiz3準備
	8	Speed Reading 7 テキスト WritingNo.1返却と振り返り	復習7
	9	Quiz4 Speed Reading 8 エキスト WritingNo.2	復習8 Quiz4準備
	10	Speed Reading 9 テキスト テキスト WritingNo.2府フェードバックと振り返り	復習9
	11	Quiz5 Speed Reading 10 テキスト	復習10 Quiz5準備
	12	Speed Reading 11 テキスト	復習11
	13	Quiz6 Speed Reading 12 テキスト	復習12 Quiz6準備
14	Speed Reading 13 テキスト	復習13	
15	期末英語力測定 SpeedReading14 テキスト概観	復習14	
16	Speed Reading 測定 期末英語力測定の把握と学習記録シート仕上げおよび提出	学習者の今後学習計画設定	
	テキスト・参考文献・資料など		
	本科目で用いるテキストについてはオリエンテーションで紹介しますので必ず購入してください。また必要に応じて講師が参考資料、ワークシート等を配布します。自分で調べたり学ぶ時間を持ちますので、英語辞書（電子辞書可）や英語VI用テキスト、講師用配布資料を保存するファイル等も準備しておいてください。		
	学びの手立て		
	まずは、自分の英語力を知り総合英語力に必要なことを把握しよう。そのうえで、本科目の英検準1級養成において、高い語彙力、表現力の必要性に準じてクイズや様々な学習機会を積極的かつ継続して行っていくことが、学習者の学びの土台であり必須事項である。		
	評価		
	本科目目標到達を測る期末英語力測定20%、Quiz40%、Writing提出判定（2回）20%、Reading測定10%、学習記録シート10% の合計から 遅刻、欠席、態度不良、提出物おくれ等の減点をひいた最終合計を大学規則にそった成績評価となる。		

学びの継続	次のステージ・関連科目
	次のステージとしては、英語VII（おもにTOEIC高得点取得を目指した英語総合力養成）や英語VIII（おもにTOEFL高得点取得を目指した英語総合力養成）で、速さ、複雑さを伴う英語への対応をこなせる力を培うことをすすめる。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢[全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英検準1級の教材を使い、英語力を身につけ、合格を目指す。自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	【実務経験】外資・グローバル企業での英語講師経験を活かし、英検1級保持者の担当教員自ら問題傾向を調査・分析し、対策を練り、皆さんを合格へ導きます。しっかり学習すれば、合格は見えてきます！一緒に「英検まみれ」になりましょう！
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度第3回試験の合格を目指す。</li> <li>・英検準1級の教材を用いて、総合的な英語力をつける。</li> <li>・英検準1級の試験結果を用いて、自分の英語力を分析し、学習に活かすことができる。</li> <li>・学習を継続し、学習課題を自身で見つけ、自立した学習者になる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（英検学習についての心構え）	英語アンケート&プロフィール
	2	学習プランニング・4技能について	学習プランニングシート
	3	英検2級Review	英検2級の語彙・文法の復習
	4	英検2級Review	英検2級の問題の復習
	5	Listening についてのLecture & Self Reflection	自身のListening力について考える
	6	英検準1級 Listening	Listening練習
	7	英検準1級 Listening	Listening練習
	8	英検準1級 Listening	Listening練習・テスト準備
	9	英検準1級 Listening Test	Self- Reflection
	10	Reading & Writing についてのLecture	Reading&Writing力についての課題
	11	英検準1級 Reading & Writing	Reading & Writing 練習
	12	英検準1級 Reading & Writing	Reading & Writing 練習
	13	英検準1級 Reading & Writing	Reading & Writing 練習
	14	英検準1級 Reading & Writing	Reading&Writing練習・テスト準備
	15	英検準1級 Reading & Writing Test	Self- Reflection
	16	Speaking についてのLecture	自身のSpeaking力について考える
	17	英検準1級 Speaking	Speaking 練習
	18	英検準1級 Speaking	Speaking 練習
	19	英検準1級 Speaking	Speaking 練習・テスト準備
	20	英検準1級 Speaking Test	Self-Reflection
	21	Practice Test 1次	Practice Test 1次復習
	22	Practice Test 2次	Practice Test 2次復習
	23	Practice Test 1次	Practice Test 1次復習
	24	Practice Test 2次	Practice Test 2次復習
	25	Practice Mini Test 1次&2次	Practice Mini Test復習
	26	Practice Mini Test 1次&2次	Practice Mini Test復習
	27	Self-Reflection	Self-Reflection
	28	Practice Mini Test 1次&2次	Practice Mini Test復習
	29	Practice Mini Test 1次&2次	Practice Mini Test復習
30	Self Reflection & 終確認	本番に向けて復習&準備	
31	英検準1級フィナーレ（振り返り）		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：CD2枚付 改訂新版 図解でわかる！ はじめての英検準1級総合対策（著：和泉有香） 紫色の本です。 その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>【重要】受講希望者は必ず初日（オリエンテーション）に出席すること。止むを得ず出席できない場合は、必ず事前に教員に連絡すること。受講は、2019年度第3回試験を受験予定の学生を優先する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・小テストや単語クイズを行い、学習経過をチェックするので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性（25%）②課題・Study Log（25%）③小テスト・単語クイズ（25%）④個人目標達成度・Self Reflection（25%）を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>準1級取得後はさらに上の1級を目指すか、TOEICなどの他の資格を目指すかなど、今後の学習計画を立てると良い。国際関係、異文化に興味のある学生は国際理解課題研修Ⅰ、Ⅱも受講すると良いだろう。自身でモチベーションを維持し、目的をもって英語を学習・活用する機会を増やしてほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的でより高度な英語力の向上を図るべく、それに沿った学習方法を学び、実践する。」

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	【実務経験】外資・グローバル企業での英語・TOEIC講師経験を活かし、学生の皆さんが目標スコアを獲得できるようお手伝いします。講師自ら990点(満点)を取得しており、ほぼ毎回受験しているので分析・解説・アドバイスはお任せください。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう!
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開テストで50～100点以上スコアアップを目指す。</li> <li>TOEICの教材を用いて、総合的な英語力をつける。</li> <li>TOEICテストを用いて、自分の英語力を分析し、学習に活かすことができる。</li> <li>学習を継続し、学習課題を自身で見つけ、自立した学習者になる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (TOEIC学習についての心構え)	模試実施・採点
	2	学習プランニング・基礎文法	模試実施・採点
	3	模試結果分析・解説	Part 2予習
	4	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	5	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	6	Listening Part 2	Part 2問題作成、「やる単」Unit 2
	7	Listening Part 2 (まとめ・小テスト)	Reading予習、「やる単」Unit 2
	8	Reading 問題のアプローチ方法、Part 5 イントロ	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	9	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	10	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	11	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	12	Reading Part 5 (品詞問題・まとめ、小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	13	Reading Part 5 (動詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	14	Reading Part 5 (語彙問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 6
	15	Reading Part 5 (その他の問題)	Part 5問題作成「やる単」Unit 6
	16	Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 2&5復習、「やる単」Unit 7
	17	中間テスト (Listening Part 2 & Reading Part 5)	Part 1予習、「やる単」Unit 7
	18	Listening Part 1	Part 1復習、「やる単」Unit 8
	19	Listening Part 1	Part6 予習、「やる単」Unit 8
	20	Reading Part 6	Part6 復習、「やる単」Unit 9
	21	Reading Part 6 (文章挿入型問題)	Part 7予習、「やる単」Unit 9
	22	Reading Part 7 (チャット・シングルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	23	Reading Part 7 (ダブルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	24	Reading Part 7 (マルチプルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 1-2
	25	Reading Part 7 (まとめ・小テスト)	Part 3&4 予習「やる単」Unit 3-4
	26	Listening Part 3	Part 3&4 復習「やる単」Unit 5-6
	27	Listening Part 4	Part 3&4 復習「やる単」Unit 7-8
	28	「やる単」Review Unit 1-5、Listening Part 3 & 4	Part 3&4復習「やる単」Unit 9-10
	29	「やる単」Review Unit 6-10、Listening Part 3 & 4	全パート復習
30	直前対策・全パート復習	全パート復習	
31	TOEICフェスタ (振り返り)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①「(新形式問題対応/CD ROM付) TOEIC(R) L&amp;Rテスト至高の模試600問 ヒロ前田、テッド寺倉、ロスタロック著(アルク) ②TOEIC(R)テストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&amp;上原ちとせ共著(アルク) *両方必要です。各自で購入すること。(朝野書房の販売はありません。)</p> <p>参考書：「CD-ROM付 TOEIC(R) L&amp;Rテスト 直前の技術」ロバート・ヒルキ、相澤 俊幸、ヒロ前田(著)</p> <p>*参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版(2018年2月出版)を勧める。その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p><b>【重要】</b>受講希望者は必ず初日(オリエンテーション)に出席すること。出席できない場合は教員に事前に連絡すること。2019年5月26日、7月28日TOEIC公開テスト受験予定の学生を優先する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・ほぼ毎回単語クイズを行い、学習経過を確認するので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> <li>・目標スコアを設定し、モチベーションを維持し、学習を継続すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業態度、授業への参加・積極性(20%) ②課題・Study Log(20%) ③小テスト(20%) ④単語クイズ(20%) ⑤個人目標達成度・Self Reflection(20%)を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>目標スコア取得後はさらに高得点を目指すか、英検などの他の資格を目指すかなど、今後の学習計画を立てると良い。英検は英語V、VI、TOEFLは英語VIIIで受講できる。興味のある学生は海外インターンシップや海外留学などにも積極的にチャレンジし、英語を活用する機会を増やしてほしい。就活を見据えて、職種や業界で求められている英語レベルを把握し、それに向かって学習を継続すれば英語力を大いにアピールできるだろう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅷ	後期	火3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	津波 聡[全学科]	1年	satoshi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、総合的な英語力向上を目指します。	メッセージ 中級以上(2級以上)の英語力を要します。 【実務経験】中学校教諭としての現場経験を活かして、4技能を総合的に鍛える活動を提供します。
	到達目標 To acquire pre-1st-grade-level(TOEFL 500-Level) proficiency through listening, reading, speaking, and writing activities	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Drill 1	Out-of-Class Exercise 1
	3	Drill 2	Out-of-Class Exercise 2
	4	Drill 3	Out-of-Class Exercise 3
	5	Drill 4	Out-of-Class Exercise 4
	6	Quiz 1, Speaking 1	Out-of-Class Exercise 5
	7	Drill 5	Out-of-Class Exercise 6
	8	Drill 6	Out-of-Class Exercise 7
	9	Drill 7	Out-of-Class Exercise 8
	10	Drill 8	Out-of-Class Exercise 9
	11	Quiz 2, Speaking 2	Out-of-Class Exercise 10
	12	Drill 9	Out-of-Class Exercise 11
	13	Drill 10	Out-of-Class Exercise 12
	14	Drill 11	Out-of-Class Exercise 13
	15	Drill 12	Out-of-Class Exercise 14
	16	Quiz 3, Speaking 3	Out-of-Class Exercise 15
	17	Drill 13	Out-of-Class Exercise 16
	18	Drill 14	Out-of-Class Exercise 17
	19	Drill 15	Out-of-Class Exercise 18
	20	Drill 16	Out-of-Class Exercise 19
	21	Quiz 4, Speaking 4	Out-of-Class Exercise 20
	22	Drill 17	Out-of-Class Exercise 21
	23	Drill 18	Out-of-Class Exercise 22
	24	Drill 19	Out-of-Class Exercise 23
	25	Drill 20	Out-of-Class Exercise 24
	26	Quiz 5, Speaking 5	Out-of-Class Exercise 25
	27	Drill 21	Out-of-Class Exercise 26
	28	Drill 22	Out-of-Class Exercise 27
	29	Drill 23	Out-of-Class Exercise 28
30	Drill 24	Out-of-Class Exercise 29	
31	Quiz 6, Speaking 6		

学	テキスト・参考文献・資料など Worksheets will be distributed in class.
び の 実 践	学びの手立て (1) All the worksheets must be filed in a portfolio. (2) Out-of-class exercises must be done on a regular basis. (3) Most of in-class activities are to be done in pairs. (4) Class will be conducted in English.
	評価 Class participation . . . . . 30% Quizzes/Out-of-class exercises . . . . . 50% Portfolio . . . . . 20%
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目 英語専門科目、原書講読

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究（英語圏）Ⅰ	後期	月3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[全学科]	1年	授業後に受け付けますが、それ以外にもメールでアポをとって行くことも可能です。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本教科では、英語圏への留学を計画・予定している学生を対象としています。短期・長期留学にかかわらず、留学生活（日常生活ならびに学業）で直面しがちな主要問題を教室で仮想体験してもらい、その解決策について協働学習を通して学んでもらいます。</p>	<p>文化が異なる国への留学では、想定外のシチュエーションに遭遇することが多いです。本教科で学んでいることが、実際の留学の他の場面でどのように役立つのかも念頭に置きつつ、タスク・アクティビティにのぞんでください。長年海外で留学・仕事をしてきた者として、様々なエピソードも交えながら、サポートしていきます！</p>
到達目標	<p>1) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題を主体的に把握・分析できる                  2) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題に対する効果的な解決策を主体的に考案し、講じることができる                  3) 上記1)2)の問題解決において、クラスメートと建設的な協働作業が行える                  4) 上記1)2)の問題解決において、これまで習得した英語の主要4スキルを応用できる                  5) 問題解決に必要な情報収集を主体的かつ適切に行える</p>	

学びの実践	学びのヒント																																																			
	授業計画																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>時間外学習の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Introduction to the unit</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>2</td><td>Destination ? where are you going?</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>3</td><td>Accommodation and issues</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>4</td><td>Dealing with illnesses/ home sickness/ troubles</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>5</td><td>Cross-cultural issues and interpersonal skills</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>6</td><td>How to deal with academic readings 1</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>7</td><td>How to deal with academic readings 2</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>8</td><td>Taking notes during lectures</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>9</td><td>Writing essays 1</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>10</td><td>Writing essays 2</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>11</td><td>Discussion skills</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>12</td><td>Debating skills</td><td>翌週の予習</td></tr> <tr><td>13</td><td>Presentation skills</td><td>プレゼン準備</td></tr> <tr><td>14</td><td>Group presentations</td><td>プレゼン準備</td></tr> <tr><td>15</td><td>Group presentations</td><td>プレゼン準備</td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	回	テーマ	時間外学習の内容	1	Introduction to the unit	翌週の予習	2	Destination ? where are you going?	翌週の予習	3	Accommodation and issues	翌週の予習	4	Dealing with illnesses/ home sickness/ troubles	翌週の予習	5	Cross-cultural issues and interpersonal skills	翌週の予習	6	How to deal with academic readings 1	翌週の予習	7	How to deal with academic readings 2	翌週の予習	8	Taking notes during lectures	翌週の予習	9	Writing essays 1	翌週の予習	10	Writing essays 2	翌週の予習	11	Discussion skills	翌週の予習	12	Debating skills	翌週の予習	13	Presentation skills	プレゼン準備	14	Group presentations	プレゼン準備	15	Group presentations	プレゼン準備	16		
	回	テーマ	時間外学習の内容																																																	
1	Introduction to the unit	翌週の予習																																																		
2	Destination ? where are you going?	翌週の予習																																																		
3	Accommodation and issues	翌週の予習																																																		
4	Dealing with illnesses/ home sickness/ troubles	翌週の予習																																																		
5	Cross-cultural issues and interpersonal skills	翌週の予習																																																		
6	How to deal with academic readings 1	翌週の予習																																																		
7	How to deal with academic readings 2	翌週の予習																																																		
8	Taking notes during lectures	翌週の予習																																																		
9	Writing essays 1	翌週の予習																																																		
10	Writing essays 2	翌週の予習																																																		
11	Discussion skills	翌週の予習																																																		
12	Debating skills	翌週の予習																																																		
13	Presentation skills	プレゼン準備																																																		
14	Group presentations	プレゼン準備																																																		
15	Group presentations	プレゼン準備																																																		
16																																																				
<p>テキスト・参考文献・資料など                  指定教科書はありません。資料をmoodleに随時アップしますので、活用してください。</p>																																																				
<p>学びの手立て                  本教科では、皆さんが主役となって積極的に学習をしてもらいます。授業時間外での情報収集や熟考なども極めて重要になるので、自主性をもってのぞみましょう。</p>																																																				
<p>評価                  平常点（クラスへの貢献度も含む）10%（到達目標との関係性：すべて）                  Reflective diary 25%（1, 2, 5）                  グループプレゼンテーション 30%（すべて）                  Essay 35%（1, 2, 4, 5）</p>																																																				

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目                  留学で学んだことを大いに活用しましょう。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究（英語圏）Ⅰ	前期	水2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉	1年	授業後に受け付けますが、それ以外にもメールでアポをとって行くことも可能です。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本教科では、英語圏への留学を計画・予定している学生を対象としています。短期・長期留学にかかわらず、留学生活（日常生活ならびに学業）で直面しがちな主要問題を教室で仮想体験してもらい、その解決策について協働学習を通して学んでもらいます。</p>	<p>文化が異なる国への留学では、想定外のシチュエーションに遭遇することが多いです。本教科で学んでいることが、実際の留学の他の場面でどのように役立つのかも念頭に置きつつ、タスク・アクティビティにのぞんでください。長年海外で留学・仕事をしてきた者として、様々なエピソードも交えながら、サポートしていきます！</p>
到達目標	<p>1) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題を主体的に把握・分析できる                  2) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題に対する効果的な解決策を主体的に考案し、講じることができる                  3) 上記1)2)の問題解決において、クラスメートと建設的な協働作業が行える                  4) 上記1)2)の問題解決において、これまで習得した英語の主要4スキルを応用できる                  5) 問題解決に必要な情報収集を主体的かつ適切に行える</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	翌週の予習
	2	Destination - where are you going?	翌週の予習
	3	Accommodation and issues	翌週の予習
	4	Dealing with illnesses/ home sickness/ troubles	翌週の予習
	5	Cross-cultural issues and interpersonal skills	翌週の予習
	6	How to deal with academic readings 1	翌週の予習
	7	How to deal with academic readings 2	翌週の予習
8	Taking notes during lectures	翌週の予習	
9	Writing essays 1	翌週の予習	
10	Writing essays 2	翌週の予習	
11	Discussion skills	翌週の予習	
12	Debating skills	翌週の予習	
13	Presentation skills	プレゼン準備	
14	Group presentations	プレゼン準備	
15	Group presentations	プレゼン準備	
16			
実践	テキスト・参考文献・資料など	指定教科書はありません。資料をmoodleに随時アップしますので、活用してください。	
	学びの手立て	本教科では、皆さんが主役となって積極的に学習をしてもらいます。授業時間外での情報収集や熟考なども極めて重要になるので、自主性をもってのぞみましょう。	
	評価	平常点（クラスへの貢献度も含む）10%（到達目標との関係性：すべて） Reflective diary 25%（1, 2, 5） グループプレゼンテーション 30%（すべて） Essay 35%（1, 2, 4, 5）	

学びの継続	次のステージ・関連科目
	学んだことを外国語研究Ⅱ、留学で大いに活用してください。